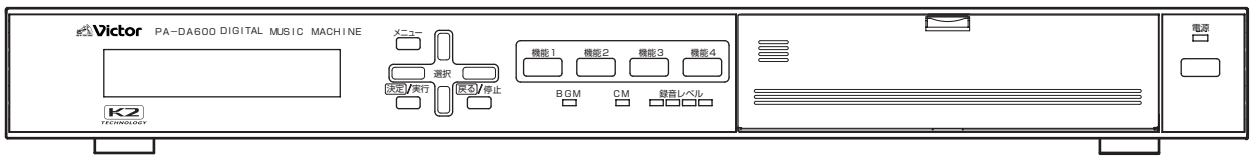
デジタルミュージックマシン

型名 PA-DA600

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

著作権について

本製品を使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声を録音してご利用いただくことができますが、第三者の著作物などをご利用になる場合には、著作権法その他により、お客様の責任で、権利者の許諾を得ていただく必要があります。

LST0478-001A

特長

年間 / 週間スケジュールタイマー搭載

週間スケジュールを基本に、特別な日に対応した年間スケジュールの設定が可能です。

プログラム総数は 4000 ステップ

多くのステップ(スケジュールの実行単位)に対応しているので、細かなスケジュール設定が可能です。

音声圧縮と大容量デジタルメモリーカードによる長時間の ＢＧＭ 再生が可能

・WMA フォーマットに準拠して記録された音声を、最大 999 種類、約 30 時間(デジタルメモリーカード 512 MB を使用時)再生できます。
・ＢＧＭ ファイルは、すべてデジタルメモリーカード(以降、メモリーカードと呼びます。)に記録しますので、メモリーカードを差し換えることによって楽曲を変更できます。

ＰＣＭ による高音質 CM 録音再生

・音楽 CD と同等の 16 bit LPCM(非圧縮)の録音 / 再生に対応。用途に応じて、μ-law 圧縮形式も選択可能です。
・最大ファイル数 999、最長約 6 時間(メモリーカード容量が 512 MB 時)の音声を記録できます。
・録音したCMファイルをCMプレイリストに登録することで、最大 100 ファイルを組み合わせて 1 つのメッセージとして再生できます。
・ＣＭ ファイルおよび本機の設定データは、すべてメモリーカードに記録しますので、メモリーカードを差し換えるだけで運用形態を変更できます。

CC コンバーター搭載

ビクター独自のデジタル高音質化技術である K2 テクノロジー。その技術により、圧縮音楽データの音質を改善する CC コンバーターを BGM 再生部に搭載しました。
これにより、音楽データの圧縮時に失われた情報を、独自のアルゴリズム処理によって補完し、元の音楽データに近い自然な音質での再生を実現します。

BGM と CM のミキシング再生が可能

BGMを再生したまま、CMをミックスして再生出力することができます。CM をミックスして出力する場合、BGM の音量調節を自動的に行います。

メカレスによる高信頼性、長寿命

半導体メモリーカードの採用により、回転や駆動のメカを使用しない高信頼性設計です。メンテナンスフリーで長寿命、繰り返しの使用にも音質の劣化がありません。

外部制御入力端子を 6 端子装備

・センサーなど、制御機器からの外部制御入力を 6 回路装備しています。
・スケジュールの変更、プレイリストの再生、フェードアウト動作などを設定できます。

制御出力端子を 7 端子装備

・外部機器の制御が可能な、下記の制御出力端子を装備しています。
　・ タイマー制御可能な制御出力端子（5 回路）
　・ パワーアンプ電源制御端子（2 回路）

ミキシング出力可能な外部入力端子を装備

BGM 機器などを接続し、本機の再生音とミックスして出力できます。また、フェードイン / アウト時間、ミキシングレベルを設定可能です。

ワンタッチ再生が可能な機能ボタンを 4 個装備

本機前面に機能ボタンを 4 個装備しています。臨時のメッセージなどをワンタッチでマニュアル再生できます。

パソコンを使って編集が可能

デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア(PA-ZS600A、別供給品)を使用して、パソコンで下記のようなことができます。
・本機の各種機能やスケジュール設定、プレイリストの設定を行う。
・パソコン内の音声ファイルをメモリーカードに登録する。

非常用電源(DC 24 V)に対応

非常電源ユニットから電源(DC 24 V)を供給して、停電時にも本機を動作させることができます。

正しくお使いいただくための ご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かないでください。
誤動作や故障の原因になります。
- 許容動作温度（0 ℃～ 40 ℃）範囲外の 暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（30% ～ 80%）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

■工事、設定は専門業者に依頼する
本機の設置、接続や設定には、技術を必要とします。
販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

■機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤作動、故障、火災の原因となります。

■通気孔をふさがない
通気孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本システムを横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。

■本システムの上に物を置かない
テレビモニターなどの重いものや、本システム各機からはみでるような大きなものを置くと、バランスが崩れて倒れたり、落下し、ケガの原因となります。

■本システムの上に乗らない、ぶら下がらない
倒れたり壊したりしてケガの原因となります。特に小さいお子様には注意してください。

■本システムの上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない
機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

■内部に物を入れない
通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

■停電補償の電池について
本機には停電補償の電池が内蔵されています。電池がフル充電の状態で約３０日の停電補償となっています。また、設置時に電池がフル充電の状態になるまで約５０時間かかります。

■時刻自動補正について
長時間電源を遮断したあとに再び使用を開始するときは、手動操作で内部時計の時刻を合わせてください。内部時計の誤差は月差±５秒（+25 ℃）ですが、電源遮断中に誤差が累積して時刻自動補正の範囲を超えている場合があります。

■時刻修正に使用する親時計について
時刻修正の親時計は３０秒式のものをお使いください。本機は１秒式親時計では時刻補正ができません。

■時刻修正に使用する外部機器について
- ＦＭチューナーを接続した場合は、ＮＨＫ-ＦＭに正しく同調させてください。出力ボリュームがあるときは、ボリュームを最大にし、受信モード（MONO-STEREO）はMONO にしてください。
- ビデオデッキを接続した場合は、NHK教育番組チャンネルを正常に受信していることを確認してください。

お手入れについて

■ 本機はやわらかい布でふいてください。
シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

移動について

■ 移動するときは接続コード類を外してください。
移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

省エネについて

■ 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源コードについて

■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

メモリーカードについて

■ 本機を使用するには、必ずメモリーカード 2 枚（CM 用、BGM 用）が必要です。

■ 本機で使用するメモリーカードは、必ず指定の「デジタルメモリーカード」（別売）をお使いください。
指定のメモリーカード以外での動作保障はいたしません。
指定品：
「デジタルメモリーカード」（サービスパーツ扱い）
品番 QAM0961-001（128 MB）
QAM0961-002（512 MB）

著作権について

■ 本製品を使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声を録音してご利用いただくことができますが、第三者の著作物などをご利用になる場合には、著作権法その他により、お客様の責任で、権利者の許諾を得ていただく必要があります。

もくじ

はじめに

特長 2
正しくお使いいただくためのご注意 3
もくじ 4
各部の名称とはたらき 6
・ 前面 6
・ 背面 8
電源の入れかた / 切りかた 10
・ 電源を入れる 10
・ 電源を切る 10

システムの実行と停止

スケジュールの実行と停止 11
・ スケジュールを実行する 11
・ スケジュールを停止する 11
機能ボタン、制御入力端子に割り当てた動作の実行と停止 12
・ 機能ボタン、制御入力端子の動作を実行する 12
・ 機能ボタン、制御入力端子の動作を停止する 13
ボタンのロックと解除 14
・ ボタンをロックする 14
・ ボタンのロックを解除する 14
LCD 画面表示を切り換える 15
・ 実行中の画面表示 15
・ 詳細表示画面に切り換える 15
メモリーカードを本機から取り出す 16

準備

準備の流れ 18
Step1: 本機を設置する 19
・ 本機をラックに取り付ける場合 19
Step2: 外部機器を接続する 20
・ システム構成例 20
・ アンプを接続する 21
・ 外部音声機器を接続する 23
・ 時刻補正機器を接続する 24
・ スイッチなどから本機を制御する(制御入力端子へ接続) 26
・ 本機で外部接続機器を制御する(連動出力端子へ接続) 28
・ 本機で外部接続機器を制御する(制御出力端子へ接続) 29
・ 録音する機器を接続する 30
・ ヘッドホンを接続する 31
・ パソコンから本機の設定をする 31
・ 非常電源ユニット(EM-N112) を接続する 32
Step3: メモリーカードを入れる 33
Step4：動作確認をする 34
・ 時刻補正の確認をする 34
・ 制御出力端子に接続した外部機器を動作させる 35

基本設定

メニュー画面の構成 36
基本設定の手順 38
Step1：基本的な設定をする 39
・ 時計設定 39
・ LCD バックライト設定 40
・ オートスタート設定 41
・ 再生ウェイト時間設定 41
Step2：CM を録音する（CM プレイリストの作成）... 42
・ 録音手順 42
・ 録音の音質について 43
・ step1:録音の音質を設定する 44
・ step2:録音をする 44
Step3：BGM プレイリストを作成する 46
・ BGM プレイリストの再生例 47
・ 新規の ＢGM プレイリストを作成する 48
・ ＢGM プレイリスト名を変更する 50
・ ミュージックを追加する 52
・ ミュージックを修正する 54
・ ミュージックを削除する 56
・ 再生音量レベルを設定する 58
・ ＢGM プレイリストをコピーする 59
・ BGM プレイリストを消去する 60
Step4: 再生をする 62
・ ＣM プレイリストを再生する 62
・ BGM プレイリストを再生する 64
・ ＣM ファイルを再生する 66
・ ＢGM ファイルを再生する 68
Step5: 設定した内容を保存する 69
その他の設定 70
・ CC コンバーター設定 70
・ BGM 出力、CM 出力のレベルを設定する 71

スケジュール設定

スケジュール設定作業の手順 72
Step1: スケジュール設定チャートを作成する 73
・ パターン(1 日のスケジュール)チャート記入例 73
・ 週間スケジュールチャート記入例 73
・ 年間スケジュールチャート記入例 74
Step2: パターン（1日のスケジュール）を設定する ... 74
・ パターンに名前をつける 74
・ ステップを追加する 77
・ ステップを修正する 81
・ ステップを削除する 83
・ パターンをコピーする 84
・ パターンを削除する 85
Step3: 週間スケジュールを設定する 86
Step4: 年間スケジュールを設定する 88
Step5: 設定した内容を保存する 90
Step6: 設定したスケジュールの動作確認をする 91
・ リハーサル 1(パターンの動作確認) 91
・ リハーサル 2(日付指定の動作確認) 92

応用設定

CM ファイルを編集する 94
・ 無音部を消去する 94
・ 音量のバラツキを補正する(ゲイン補正) 96
・ ファイル形式を変更する(フォーマット変換) 98
・ CM ファイルをコピーする 100
・ CM ファイルを消去する 101
CM プレイリストを設定する 102
・ CM プレイリストによる再生例 103
・ CM プレイリスト名を変更する 104
・ メッセージを追加する 106
・ メッセージを修正する 108
・ メッセージを削除する 110
・ 再生音量レベルを設定する 112
・ CM プレイリストをコピーする 113
・ CM プレイリストを消去する 114
制御入力端子に動作を割り当てる 116
・ 制御入力端子の機能設定について 116
・ 制御入力端子に動作を割り当てる 116
・ 制御入力の優先順位について 121
機能ボタンに動作を割り当てる 122
連動出力端子で外部機器を制御する 126
・ 外部機器の制御例 126
・ BGM 連動出力設定をする 126
・ CM 連動出力設定をする 127
BGM、CM アンプ電源端子の動作を設定する 128
・ ブランク / インターバル期間の
BGM アンプ電源制御を設定する 128
・ ブランク / インターバル期間の
CM アンプ電源制御を設定する 129
BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声を
ミキシング出力する 130
・ 優先音源を設定する 130
・ 外部入力レベルを設定する 131
・ ミキシングの設定をする 132
離れた場所から CM 録音の制御をする 135
・ 制御入力端子に消去と録音の機能を設定する 135
・ CM 連動端子にビジー設定をする 137
・ CM ファイルを消去する 137
・ CM ファイルを録音する 138
離れた場所から本機の出力音声を
フェードアウトする 140
・ 制御入力端子に『フェード』機能を設定する 141

その他

工場出荷時の設定に戻す 142
・ 工場出荷状態に戻す(CM カードを初期化する) 142
・ 設定メニュー内の設定を初期化する 143
・ すべてのプログラムを初期化する 143
・ スケジュールデータを初期化する 144
・ すべての CM ファイルを消去する 145
バージョン表示 145
ログ管理について 146
・ 動作ログを確認する 146
・ 動作ログを削除する 147
・ 動作ログパターン表 147
・ エラーログを確認する 148
・ エラーログを削除する 149
・ エラーログパターン表 149
こんなときは 150
各種エラー表示 151
・ 動作中のエラー表示 151
・ 録音中のエラー表示 151
・ 設定、編集中のエラー表示 152
保証とアフターサービスについて 154
仕様 155

プレイリスト設定シート 157
1日のスケジュールチャート 158
週間スケジュールチャート 159
年間スケジュールチャート 159

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意 操作上の注意が書かれています。

メモ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ 参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

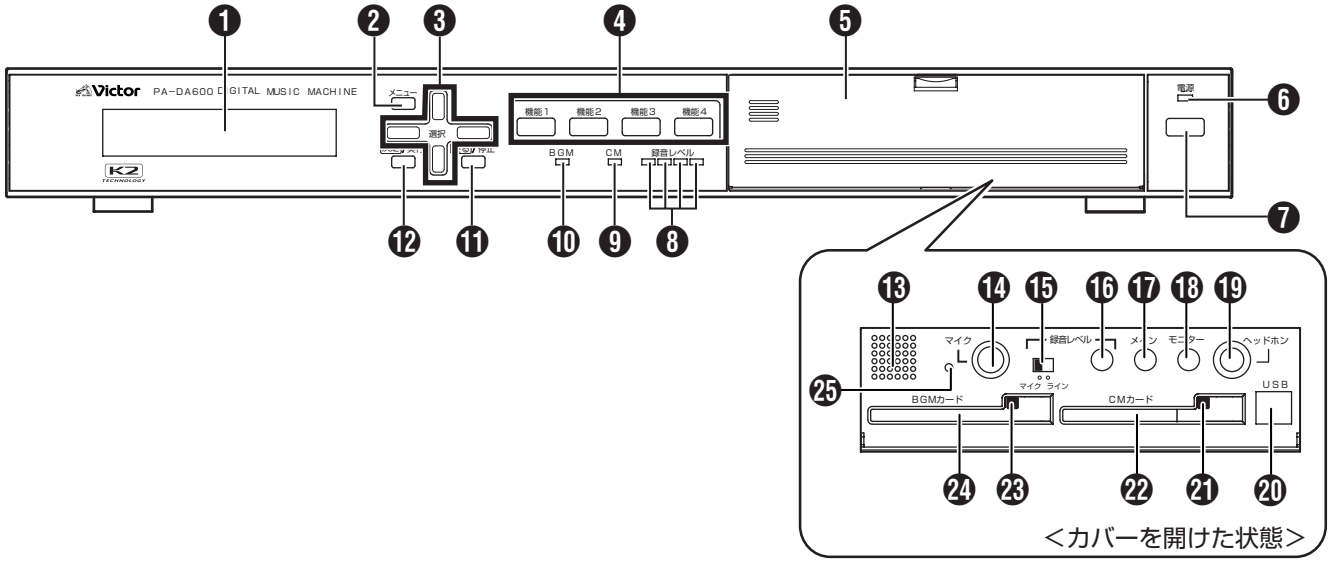
●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。

●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。

●本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

各部の名称とはたらき

前面



❶ LCD 画面
待機画面、実行中画面、設定画面などの各種画面が表示されます。

❷【メニュー】メニューボタン
設定画面のメインメニューに切り換えるときにこのボタンを押します。

❸【選択】選択上、下、左、右ボタン
設定をするときに使用します。
上、下ボタン：ＬＣＤ 画面に表示されるメニューを上下にスクロールできます。
左、右ボタン：ＬＣＤ 画面上のカーソルを左右に移動します。

❹【機能 1、2、3、4】機能 1,2,3,4 ボタン
特別な動作（例えば、祝祭日用のスケジュール、マニュアル操作で再生したいプレイリスト）を割り当て、本機が実行状態のときにこのボタンを押すと、特別な動作を実行することができます。
（☞ 12 ページ「機能ボタン、制御入力端子の動作を 実行する」参照）

❺ カバー
メモリーカードの出し入れやＵＳＢケーブル、ヘッドホンを接続するとき、ボリュームを調節するときに、カバーを開けて使用します。

❻【電源】電源表示灯
電源を入れると、緑色に点灯します。

❼ 電源ボタン
電源の入 / 切をするときに押します。

❽【録音レベル】録音レベル表示灯
録音時に、⓮ マイク入力端子からの録音音量レベルを表示します。

❾【CM】CM 表示灯
CM プレイリスト再生中、緑色に点灯します。

❿【BGM】BGM 表示灯
ＢＧＭ プレイリスト再生中、オレンジ色に点灯します。

⓫【戻る / 停止】戻る / 停止ボタン
実行中の動作を停止するときや、設定中に上位メニューに戻るときに、このボタンを押します。

⓬【決定 / 実行】決定 / 実行ボタン
カーソルのある項目を決定または動作を実行するときに、このボタンを押します。

⓭ モニタースピーカー
モニター用の内蔵スピーカーです。⓲ モニターボリュームで音量調節できます。⓳ ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、モニタースピーカーからは音が出なくなります。

⓮【マイク】マイク入力端子
録音するときに、マイクまたは外部音声機器などを接続します。

⓯【マイク / ライン】マイク / ライン切換スイッチ
⓮ マイク入力端子に接続する機器に応じて、録音入力ゲインを切り換えます。

⑯【録音レベル】録音レベル調節ボリューム
録音レベルを調節します。
右にまわすと、録音レベルが大きく、左にまわすと、録音レベルが小さくなります。

⑰【メイン】メインボリューム
㉖ ライン出力端子から出力する音の音量を調節します。
右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

⑱【モニター】モニターボリューム
⑲ ヘッドホン端子および ⑬ モニタースピーカーから出力する音の音量を調節します。
右にまわすと音が大きく、左にまわすと音が小さくなります。

⑲【ヘッドホン】ヘッドホン端子
モニター用のヘッドホンを接続します。

⑳【USB】ＵＳＢ 端子
パソコンを使用して本機の設定を行うときに接続します。
（☞ 31 ページ「パソコンから本機の設定をする」参照）

㉑ CM カード取出しボタン
CM用メモリーカードを㉒CMカード挿入口から取り出すときに、取出しボタンを押します。
（☞ 16 ページ「メモリーカードを本機から 取り出す」参照）

㉒【CM カード】CM 用メモリーカード挿入口
CM 用のメモリーカードの出し入れをします。
（☞ 33 ページ「Step3: メモリーカードを入れる」参照）

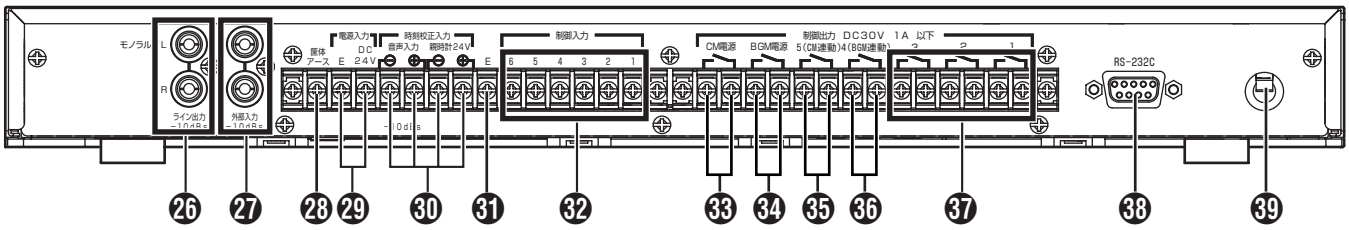
㉓ ＢGM カード取出しボタン
ＢGM 用メモリーカードを ㉔ＢGM カード挿入口から取り出すときに、取出しボタンを押します。
（☞ 16 ページ「メモリーカードを本機から 取り出す」参照）

㉔【BGM カード】BGM 用メモリーカード挿入口
BGM 用のメモリーカードの出し入れをします。
（☞ 33 ページ「Step3: メモリーカードを入れる」参照）

㉕ リセットスイッチ
本機をリセットするときに使用します。
通常は触らないでください。

各部の名称とはたらき（つづき）

背面



㉖【ライン出力】ライン出力端子（【モノラル /L】モノラル /L 端子、【R】 R 端子）

本機の再生音声や ㉗ 外部入力端子に接続した外部機器の音声を出力します。
モノラルアンプを使用する場合は、モノラル/L端子に接続すると、L/R の信号がミックスされます。
（☞ 22 ページ「音声出力の接続」参照）

㉗【外部入力】外部入力端子

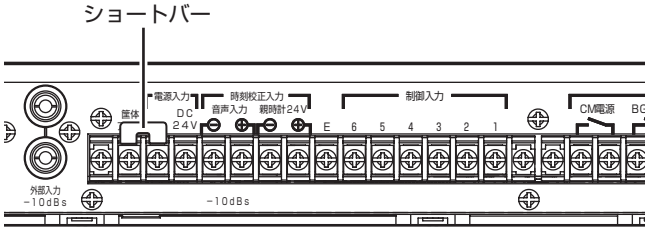
外部音声機器（BGM 機器など）を接続します。
モノラル音声機器の場合は、モノラル /L 端子に接続すると、㉖ ライン出力 L、R の両端子から音声が出力されます。
（☞ 23 ページ「外部音声機器を接続する」参照）

㉘【筐体アース】筐体アース端子

本機に接続した外部機器の筐体アース端子またはラックのアース端子に接続してください。
安全アースではありません。

ご注意

- 工場出荷時は、ショートバーにより筐体アースと信号系アース（E 端子）が接続されています。本機をラックに組み込んだとき、信号系アースが２点アースとなりノイズが発生する場合や、信号系アースを筐体に接続しないほうが有利な場合は、ショートバーをはずしてください。



㉙【DC24V】DC24V 端子、【E】DC24V 用 E 端子

㊲電源コードからのAC100 V電源供給をせずに、DC24 V電源を供給したいときや、停電時でも動作させたいときに接続します。
（☞ 32 ページ「非常電源ユニット(EM-N112) を 接続する」参照）

㉚【時刻校正入力】時刻校正入力端子（【音声入力】音声入力端子、【親時計 24V】親時計 24V 端子）

音声入力端子を使用する場合：
FM ラジオチューナーやビデオデッキの音声出力端子と接続します。放送波中の時報信号を受信し、本機内部時計の時刻補正します。

親時計 24V 端子を使用する場合：
３０秒式の親時計と接続します。親時計からの 24V 信号を受信し、本機内部時計の時刻補正を行います。
（☞ 24 ページ「時刻補正機器を接続する」参照）

㉛【制御入力 E】制御入力 E 端子

㉜制御入力１～６端子に、接続する機器のコモンまたは E 端子を接続します。

㉜【制御入力１～ 6】制御入力１～ 6 端子

スイッチ、センサーなど、本機を制御する機器を接続します。
（☞ 26 ページ「スイッチなどから本機を制御する（制御入力端子へ接続）」参照）

㉝【CM 電源】CM アンプ電源端子

アンプの電源起動端子と接続し、本機の CM 再生動作に連動してアンプの電源を制御します。
（☞ 21 ページ「アンプを接続する」参照）

㉞【BGM 電源】BGM アンプ電源端子

アンプの電源起動端子と接続し、本機の BGM 再生動作に連動してアンプの電源を制御します。
（☞ 21 ページ「アンプを接続する」参照）

㉟【5(CM 連動)】制御出力 5(CM 連動) 端子

・接続した外部機器を制御することができます。
・設定により、「連動出力」、「緊急出力」、「録音 / 消去ビジー出力」、「制御出力」のいずれかを選択できます。
(☞ 28 ページ「本機で外部接続機器を制御する (**連動出力端子へ接続**)」参照)

㊱【4(BGM 連動)】制御出力 4(BGM 連動) 端子

・接続した外部機器を制御することができます。
・設定により、「連動出力」、「制御出力」のどちらかを選択できます。
(☞ 28 ページ「本機で外部接続機器を制御する (**連動出力端子へ接続**)」参照)

㊲【制御出力 1 ～ 3】制御出力 1 ～ 3 端子

接続した外部機器を制御することができます。
(☞ 29 ページ「本機で外部接続機器を制御する (**制御出力端子へ接続**)」参照)

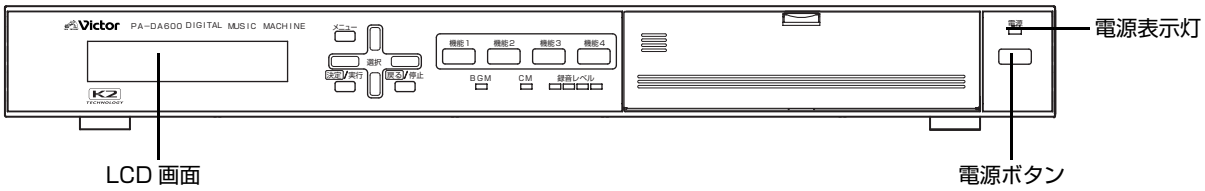
㊳【RS-232C】RS-232C ポート

メンテナンス時に、パソコンなどを接続します。

㊴ 電源コード

AC100 V の電源を供給します。
指定以外の電源は使用しないでください。

電源の入れかた / 切りかた



電源を入れる

・本機に接続している周辺機器が正しく接続されていることを確認してから電源ボタンを押します。
・ＬＣＤ 画面に、『キドウチュウ..』と表示後、待機中画面または実行中画面が表示されます。

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾀｲｷﾁｭｳ
```

＜待機中画面＞

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾍｲｼﾞｯﾂ
```

＜実行中画面＞

ご注意

- エラー表示(『*ＣＦ カクニン』、『CM カードイジョウ』など)が表示される場合は、正常に動作しません。
  各種エラー表示を参照し、対応してください。
  (☞ 151 ページ「各種エラー表示」参照)
- 時計設定を行なっていない(工場出荷時の設定のまま)場合、LCD画面に『トケイヲセッテイシテクダサイ』と表示されます。設定については、販売店またはビクターサービスにご相談ください。
- １つもスケジュール設定がされていない場合は、LCD画面に『スケジュールヲセッテイシテクダサイ』と表示されます。決定/実行ボタンを押すと、メインメニュー画面になります。設定については、販売店またはビクターサービスにご相談ください。

メモ

- 「2-5.オートスタート」の設定により、電源を入れたときの状態が変わります。
  (☞ 41 ページ「オートスタート設定」参照)
- 下記の条件がそろった状態になると、電源投入と同時にBGM プレイリストが再生されます。
  ・ 電源投入時に、スケジュール動作が実行状態になる設定。
  ・ スケジュールに、BGM プレイリスト再生の開始・終了時間を指定して設定している。
  ・ スケジュールに設定した、BGM プレイリスト再生の開始時間と終了時間の間に電源を入れる。

電源を切る

・電源ボタンを１秒以上押します。
・電源表示灯と ＬＣＤ 画面の表示が消えて電源が切れます。

メモ

- ＬＣＤ 画面右上に『Ｌ』が表示されているときは、ボタンがロックされています。ボタンのロックを解除してから操作を行なってください。
  (☞ 14 ページ「ボタンのロックを解除する」参照)

```
  2006/12/15 Fri (L)
13:02:03 ﾀｲｷﾁｭｳ
```

ロック表示

- 本機の動作状態(録音中、再生中)にかかわらず、電源を切ることができます。誤操作により電源を切らないようにするために、ボタンをロックすることができます。
  (☞ 14 ページ「ボタンをロックする」参照)

スケジュールの実行と停止

スケジュールを実行または停止するには、あらかじめスケジュールを設定する必要があります。スケジュールの設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

メモ

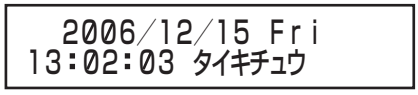
- LCD 画面に『L』が表示されているときは、ボタンがロック(ボタン操作無効)されています。ボタンのロックを解除してから操作を行なってください。(☞ 14 ページ「ボタンのロックを解除する」参照)

スケジュールを実行する

あらかじめ設定してあるスケジュールを実行したいときに行います。

1. スケジュールが停止されていることを確認する

スケジュールが停止されていると、LCD 画面に『タイキチュウ』と表示されます。

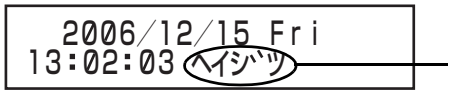


ご注意

- メモリーカード未挿入またはエラーで認識できない場合は、LCD 画面に『*CF カクニン』と表示されますので、下記の対応を行なってください。
  - ・ メモリーカード未挿入の場合は、本機にメモリーカードを挿入してください。
  - ・ エラーの場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

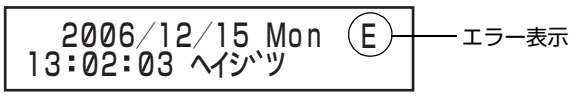
2. 決定 / 実行ボタンを押す

スケジュールが実行されると、LCD画面に実行中のパターン名が表示されます。スケジュール開始直後は、次に実行するステップが登録されているパターン名を表示します。



ご注意

- スケジュール実行中(LCD 画面に、実行中のパターン名または『ジッコウチュウ』と表示されているとき)に、プレイリスト重複またはリレー重複などでエラーが発生した場合や、機能ボタン、制御入力にステップが 1 つも設定されていないパターンを割り付け、そのパターンを実行した場合、下図のようにLCD 画面に『E』と表示されます。スケジュールの設定内容をご確認ください。



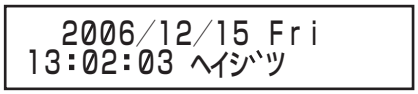
メモ

- スケジュール実行中でも、週間、年間スケジュールに 1 つもパターンを設定していない場合は、LCD 画面に『ジッコウチュウ』と表示されます。
- スケジュール実行開始以降に、当日実行するステップがない場合は、LCD 画面に『パターンナシ』と表示されます。
- 下記の条件がそろっている場合に、スケジュールを実行すると、同時に BGM プレイリストが再生されます。
  - ・ スケジュールに、BGM プレイリスト再生が開始・終了時間指定で設定されている。
  - ・ スケジュールに設定した、BGM プレイリスト再生の開始時間と終了時間の間にスケジュールを実行する。

スケジュールを停止する

1. 実行中画面になっていることを確認する

LCD 画面に、下記のいずれかが表示されています。
・実行中のパターン名。
・『ジッコウチュウ』または『パターンナシ』のメッセージ。



<実行中画面>

2. 戻る / 停止ボタンを押す

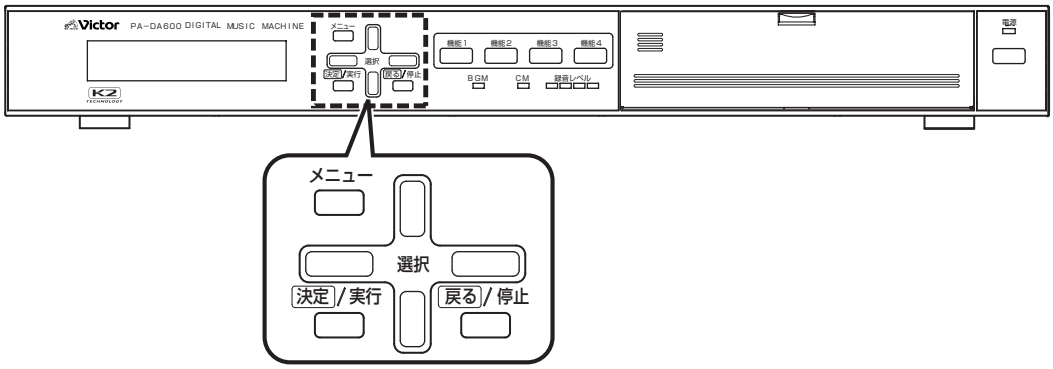
停止確認画面が表示されます。

<停止確認画面>

3. 選択左、右ボタンで「ハイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押す

スケジュールを停止し、LCD 画面は待機中画面になります。次のことを行うと、スケジュールは停止されずに実行中画面に戻ります。
・停止確認画面で『イイエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。
・停止確認画面を表示中に戻る / 停止ボタンを押す。

機能ボタン、制御入力端子に割り当てた動作の実行と停止



機能ボタン、制御入力端子の動作を実行する

・通常のスケジュール実行時に、あらかじめ機能ボタン、制御入力端子に設定しておいた特別な動作を実行することができます。
・機能ボタン、制御入力端子へ割り当てる動作設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

ご注意

- 機能ボタン、制御入力端子に割り付けた、BGM同士、CM同士のプレイリスト再生、同一のリレー端子の制御、スケジュール設定の動作は同時に実行することができません。一番最後に入力された機能または制御入力の動作を実行します。
- スケジュールに開始･終了時間指定で設定した BGM プレイリストを再生中に、機能ボタンや制御入力による BGM プレイリスト再生が実行された場合、機能ボタンや制御入力による BGM プレイリスト再生が終了しても、スケジュールに設定した BGM プレイリストの再生を再開しません。
  スケジュールに設定したBGMプレイリストの再生を再開したい場合は、スケジュールを一度停止してから実行しなおしてください。

■機能ボタンに割り当てた動作を実行する場合

1. 実行中画面になっていることを確認する

LCD 画面に、下記のいずれかが表示されています。
・実行中のパターン名。
・『ジッコウチュウ』または『パターンナシ』のメッセージ。

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾍｲｼﾞｯﾂ
```

＜実行中画面＞

2. 実行したい動作を設定してある機能ボタンを押す

実行中の機能ボタン、制御入力端子がLCD画面に表示されます。『F』が機能ボタン、『E』が制御入力端子を示しています。

```
  2006/12/15 Fri
13:04:05F1---E------
```

実行中の機能ボタン

（例：機能ボタン１を実行中）

■制御入力端子に割り当てた動作を実行する場合

制御入力端子に接続された外部機器から本機に信号が入力されると、動作を実行します。

```
  2006/12/15 Fri
13:04:05F----E1----
```

実行中の制御入力端子

（例：制御入力１を実行中）

メモ

- プレイリスト再生を割り当てている場合は、設定した再生ウェイト時間後に再生します。
  「再生ウェイト時間」の設定については、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

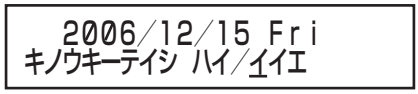
機能ボタン、制御入力端子の動作を停止する

実行中の機能ボタン、制御入力端子の動作を停止し、通常のスケジュール実行状態に戻します。

1. 戻る / 停止ボタンを押す

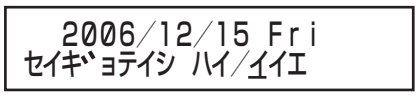
機能ボタン、制御入力端子の動作を実行中に戻る / 停止ボタンを押すと、機能停止画面または制御停止画面になります。

機能停止画面：機能ボタンの動作を実行中または機能ボタンと制御入力端子の動作を実行中に、戻る / 停止ボタンを押すと表示されます。



＜機能停止画面＞

制御停止画面：制御入力端子のみの動作を実行中に、戻る / 停止ボタンを押すと表示されます。



＜制御停止画面＞

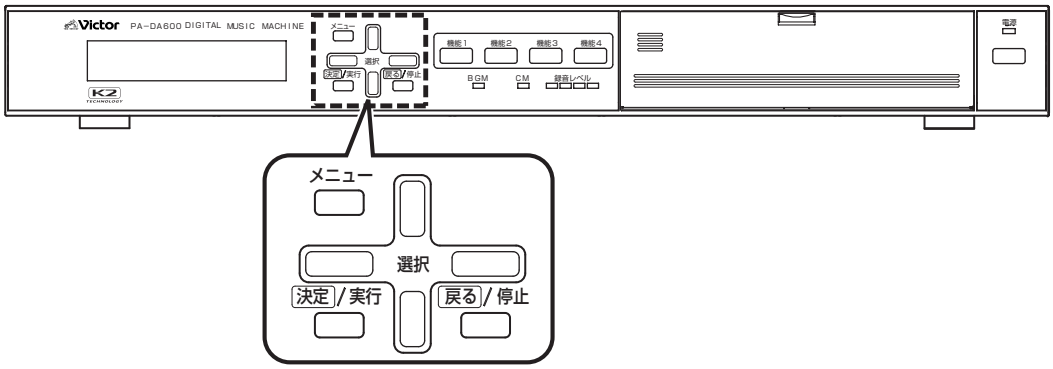
2. 選択左、右ボタンで「ハイ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押す

- 機能ボタン、制御入力端子の動作を停止します。LCD　画面は待機中画面または実行中画面になります。
- 次のことを行うと、機能ボタン、制御入力端子の動作は停止されません。
  - 機能停止画面または制御停止画面で「イイエ」を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。
  - 機能停止画面または制御停止画面を表示中に戻る / 停止ボタンを押す。

ご注意

- 機能ボタン、制御入力端子にプレイリスト再生、制御出力端子の制御を割り当てている場合は、戻る / 停止ボタンを押すと、ただちに割り当てている動作が停止します。

ボタンのロックと解除



ボタンをロックする

1. 待機中画面または実行中画面になっていることを確認する。

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾀｲｷﾁｭｳ
```

＜待機中画面＞

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾍｲｼﾞｯ
```

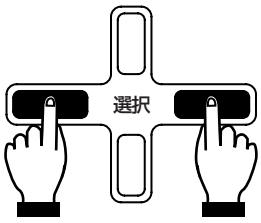
＜実行中画面＞

ご注意

- メニューの設定中(メニュー画面の表示中)に、ボタンのロック設定はできません。
- ロック中は、すべてのボタンがロックされます。
- 停電などで本機の電源が切れてもロック状態は保持されます。

2. 選択左、右ボタンを同時に長押し(約３秒)する

ボタンがロックされ、LCD 画面に『L』と表示されます。



同時に長押し(約３秒)

```
  2006/12/15 Fri (L)
13:02:03 ﾀｲｷﾁｭｳ
```

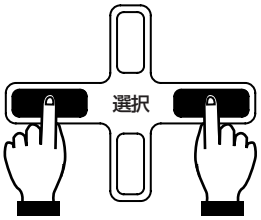
ロック表示

ボタンのロックを解除する

- ボタンがロック中(LCD 画面に『L』と表示されている状態)に、選択左、右ボタンを同時に長押し(約３秒)します。
- ボタンのロックが解除され、LCD 画面の『L』表示が消えます。

```
  2006/12/15 Fri (L)
13:02:03 ﾀｲｷﾁｭｳ
```

『L』が表示されている状態



同時に長押し(約３秒)

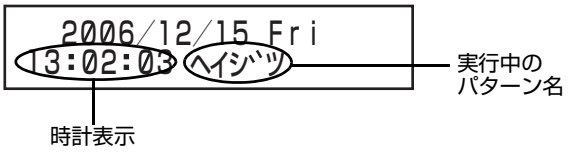
```
  2006/12/15 Fri ( )
13:02:03 ﾀｲｷﾁｭｳ
```

『L』表示が消える

LCD 画面表示を切り換える

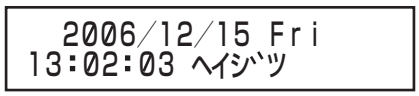
実行中の画面表示を切り換えて、詳細を確認することができます。

実行中の画面表示

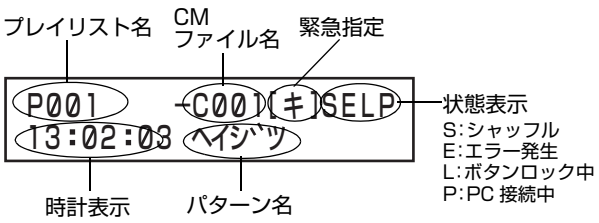


詳細表示画面に切り換える

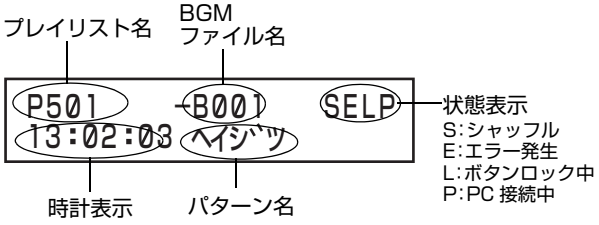
再生中に、選択上、下ボタンを押すと詳細表示に切り換わります。ボタンを押すごとに実行画面表示→ CM 詳細表示→ BGM 詳細表示→リレー詳細表示と切り換わります。



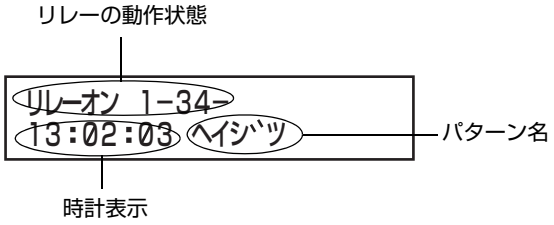
＜実行画面表示＞



＜ CM 詳細表示＞



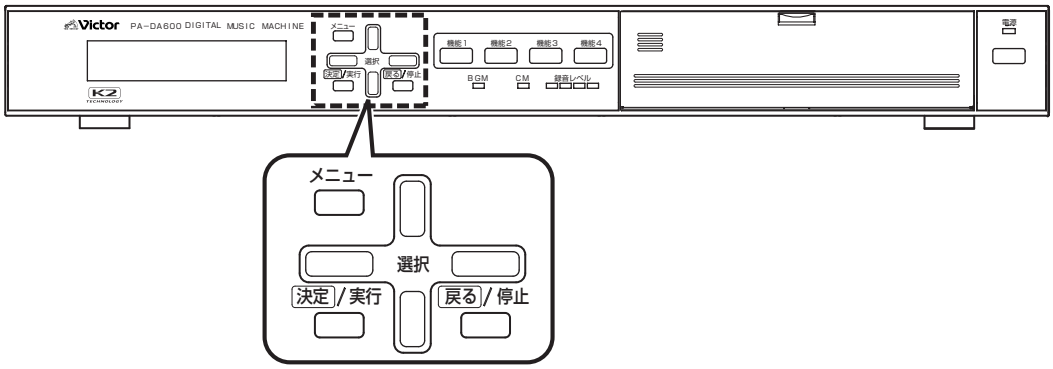
＜ BGM 詳細表示＞



＜リレー詳細表示＞

メモリーカードを本機から取り出す

メモリーカードの動作を停止し、取り出します。



ご注意

- メモリーカードは本機を動作させるために重要なものです。本機を動作させたいときには、必ず動作させたいデータが記録されたメモリーカードを本機に挿入してください。
- メモリーカードを本機から取り出すときは必ず下記の操作を行なってください。下記の操作を行わずに取り出すと、メモリーカードが破損する原因となります。
- メモリーカードを挿入する場合は、33 ページ「Step3: メモリーカードを入れる」を参照ください。
- メモリーカードは精密な電子部品で作られています。静電気による破壊を防ぐため、メモリーカードを取り出す前に金属部分(ラックまたは本機上面など)に手を触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。

用語について

CM カード　：アナウンスなどのメッセージデータ、スケジュール、設定データ、CMプレイリスト、BGMプレイリストを保存するメモリーカード。

BGM カード　：音楽などのミュージックデータを保存するメモリーカード。

1. メインメニュー画面を表示する

・スケジュール実行中の場合は、必ずスケジュール停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. メモリーカード停止確認画面を表示する

メンテナンスメニューから『5-1.CF テイシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5-1.CFﾃｲｼ
CFｶｰﾄﾞｦﾃｲｼｼﾏｽ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

<メモリーカード停止確認画面>

4. メモリーカードの動作を停止する

・メモリーカード停止確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・メモリーカードの動作が停止し、メモリーカード停止画面が表示されます。
・メモリーカード停止確認画面で『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、メモリーカードを停止せずにメンテナンスメニュー画面(手順 **2.**)に戻ります。

```
CFｶｰﾄﾞｦﾃｲｼｼﾏｼﾀ
```

<メモリーカード停止画面>

5. メモリーカードを取り出す

・本機前面のカバーにあるつまみに指をかけ、カバーを手前に開きます。

・取出しボタンを押し、メモリーカードを取り出します。

・2 枚のメモリーカードを取り出すと、LCD 画面にメモリーカードの挿入を促すメッセージ 1 が表示されます。
メッセージ 1 表示後に、2 枚のメモリーカードを挿入すると、自動的に再起動します。

CMｶｰﾄﾞﾖｿｳﾆｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ BGMｶｰﾄﾞﾖｿｳﾆｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ

＜メッセージ 1 ＞

・CM カードだけを取り出すと、LCD 画面に CM カード挿入を促すメッセージ 2 が表示されます。
メッセージ 2 表示後に、CM カードを挿入すると、LCD 画面に再起動を促すメッセージ 3 が表示されます。
メッセージ 3 表示時に、実行 / 決定ボタンを押すと、再起動します。

CMｶｰﾄﾞﾖｿｳﾆｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ

＜メッセージ 2 ＞

CMｶｰﾄﾞｶﾞｿｳﾆｭｳｻﾚﾏｼﾀ ｻｲｷﾄﾞｳﾃﾞｷﾏｽ[ｹｯﾃｲ]

＜メッセージ 3 ＞

・BGM カードだけを取り出すと、LCD 画面に BGM カード挿入を促すメッセージ 4 が表示されます。
メッセージ 4 表示後に、BGM カードを挿入すると、LCD 画面に再起動を促すメッセージ 5 が表示されます。
メッセージ 5 表示時に、実行 / 決定ボタンを押すと、再起動します

BGMｶｰﾄﾞﾖｿｳﾆｭｳｼﾃｸﾀﾞｻｲ

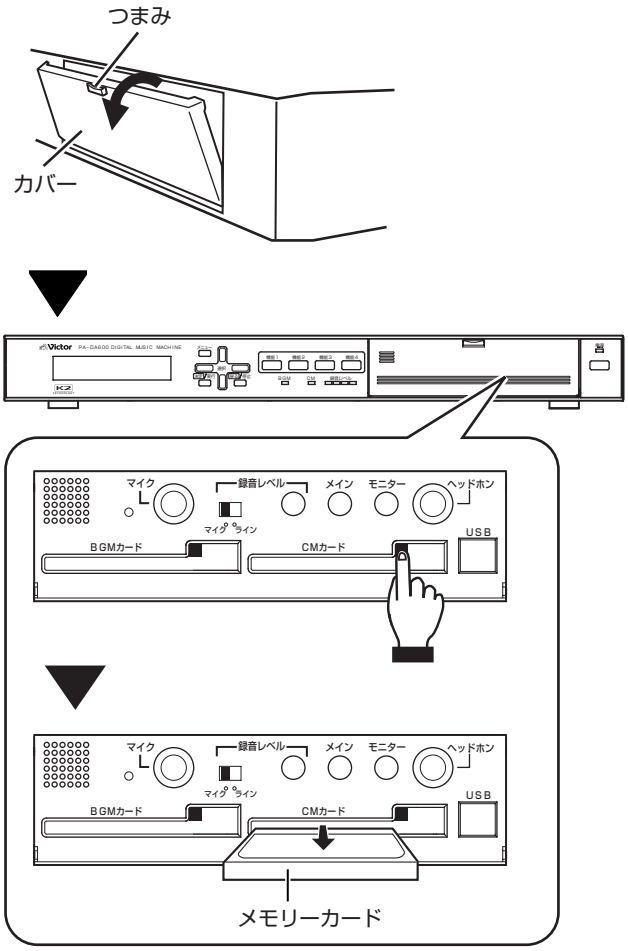
＜メッセージ 4 ＞

ｻｲｷﾄﾞｳﾃﾞｷﾏｽ[ｹｯﾃｲ] BGMｶｰﾄﾞｶﾞｿｳﾆｭｳｻﾚﾏｼﾀ

＜メッセージ 5 ＞

メモ

- CM カード、BGM カードを取り出す順番の指定はありません。



※ イラストは、CM カード側のメモリーカードを取り出す場合です。

準備の流れ

右記の手順で準備を行なってください。

お客様へ

- この章は、設置作業の説明です。設置・接続作業には専門技術が必要となります。販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。
- 設置・接続作業を行うときには、設置業者様にこの取扱説明書(本書)をお渡しください。

販売店または設置業者様へ

- 設置・接続作業を行う前に必ずお読みいただき、正しく設置・接続を行なってください。お読みになったあとは、お客様へお渡しください。

設置上の注意

- 設置・接続作業は、電源を切ってから行なってください。
- ラック内に電力増幅ユニットがある場合、電力増幅ユニットとの間に1U以上空けて本機を設置してください。

Step1	本機を設置する(☞ 19 ページ) 本機を平らな場所またはラックに取り付けます。

▼

Step2	外部機器を接続する(☞ 20 ページ) 本機にマイク、ヘッドホン、制御機器、アンプなどの外部機器を接続します。

▼

Step3	メモリーカードを入れる(☞ 33 ページ) メモリーカードが挿入されていないと、本機を動作させることができません。(別売の「デジタルメモリーカード」をご使用ください。)

▼

Step4	動作確認をする(☞ 34 ページ) 本機に接続した外部機器が正常に動作するか、プレイリストが再生されるかを確認します。

▼

準備完了

Step1:
本機を設置する

本機を平らな場所に設置します。

本機をラックに取り付ける場合

本機をラックに取り付けるときには、別売りのラックマウント金具(PA-U11)が必要ですので、あらかじめご用意ください。

■取り付け可能のラックについて

本機を取り付けるラックは、下記のどれかをご使用ください。

ミニラック　:PA-R631
（収納ユニット数 31U、当社製品）
標準ラック　:PA-R641
（収納ユニット数 41U、当社製品）
EIA 規格相当品　:奥行き 450 mm 以上のもの
（他社製品）

■取り付け手順

ご注意

- ラック内に電力増幅ユニットがある場合、電力増幅ユニットとの間に 1U 以上空けて本機を設置してください。
- ラック内の温度が 40 ℃以上にならないようにしてください。

1. 本機底面のフット(4 個)をはずす。

2. 本機の左右側面の取付ねじ 4 本をはずす。

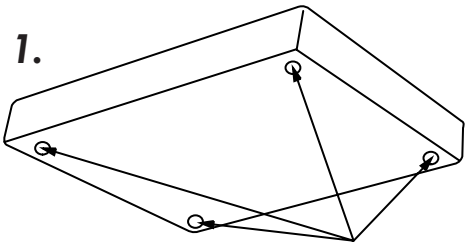
3. PA-U11 に付属の取付ねじ(M4 × 10 mm)4本を使って、本機にラックマウント金具(PA-U11)を取り付ける。

4. PA-U11 に付属のラック取付ねじ(M5 × 12 mm) 4 本を使って、本機をラックに取り付ける。

ご注意

- 取付ねじやラック取付ねじは、必ず指定のものをご使用ください。指定以外の長いねじや短いねじを使用すると、故障や落下の原因となります。

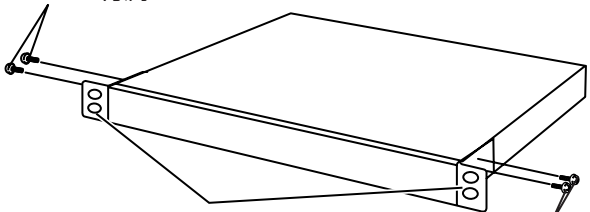
1.



フットをはずす（4箇所）

3.

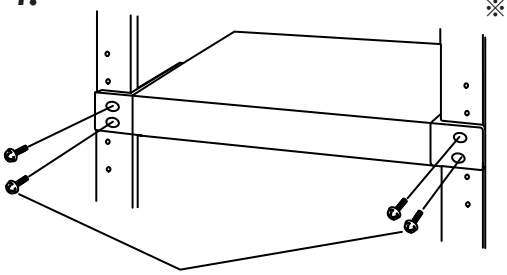
取付ねじ(M4×10 mm)
※PA-U11付属



ラックマウント金具:PA-U11（別売）

取付ねじ
(M4×10 mm)
※PA-U11付属

4.

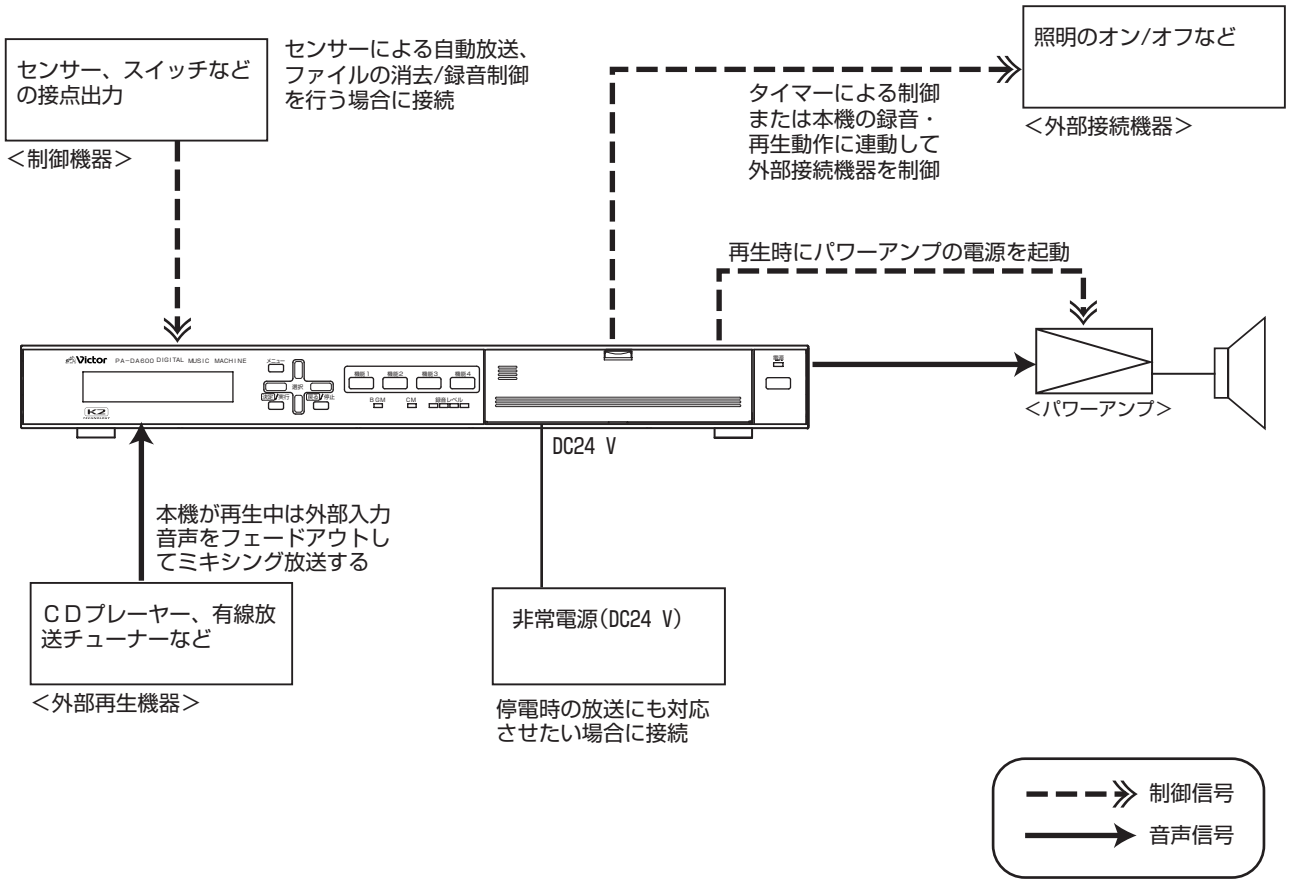


ラック取付ねじ(M5×12 mm)×4本
※PA-U11付属

Step2:
外部機器を接続する

システム構成例

・本機に外部機器を接続するときは、必ず電源を切った状態で行なってください。
・接続する外部機器の詳細については、各外部機器の取扱説明書をご覧ください。



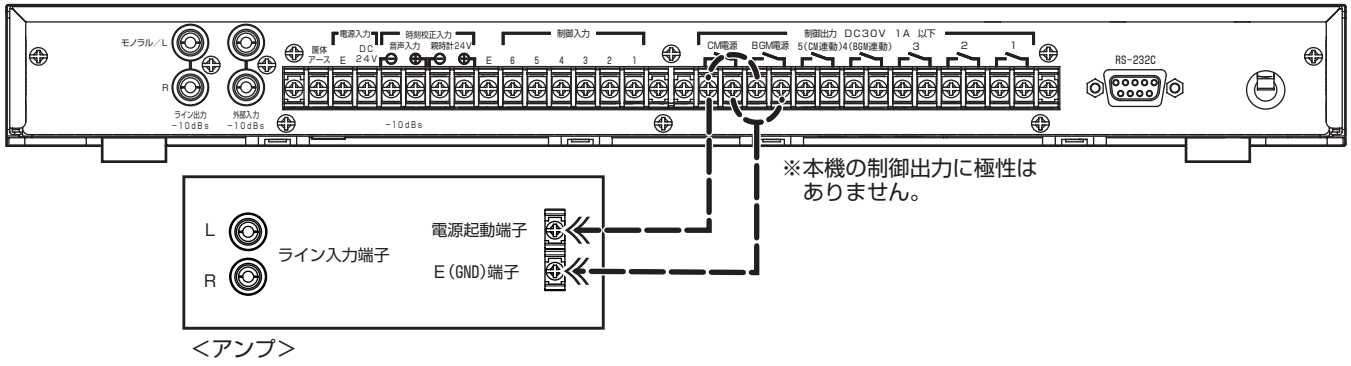
ご注意

- 制御入力端子について
  本機の制御入力端子は「無電圧メーク接点」、「オープンコレクター出力」に適合しています。電圧、電流を加えないでください。機器の故障の原因となります。
- 制御出力端子について
  本機の制御出力端子で使用しているリレー接点容量は DC30 V / 1 A です。これを超える電圧、電流を絶対に加えないでください。機器の故障や火災の原因となります。

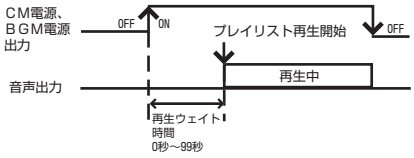
アンプを接続する

■アンプの電源の「入」、「切」を制御する場合

・本機の CM アンプ電源端子または BGM アンプ電源端子と、アンプの電源起動端子を接続します。
・電源起動端子のあるアンプで、電源の入 / 切を制御できます。電源起動端子がないアンプでは電源の入 / 切を制御できません。
・「再生ウェイト時間」を設定することで、放送開始前にアンプの電源を入れることができ、音切れを防ぐことができます。
（☞ 41 ページ「再生ウェイト時間設定」参照）

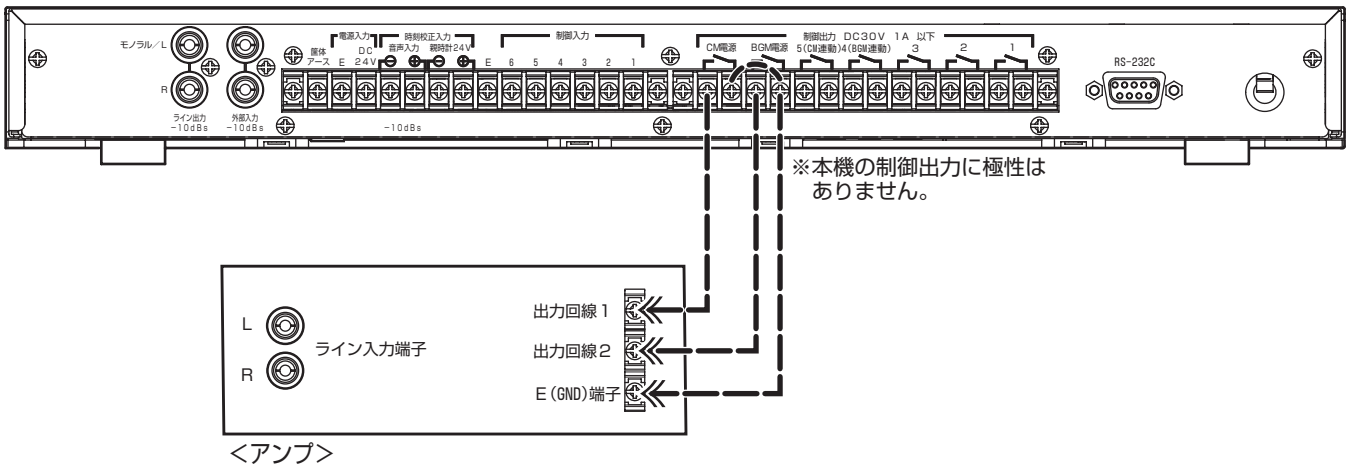


<アンプ>



■アンプの出力回線選択を制御する場合

・本機の CM アンプ電源端子または BGM アンプ電源端子と、アンプの出力回線選択端子を接続します。
・出力回線選択端子を内蔵したアンプを接続した場合に、アンプの出力先を制御することができます。
・下図の接続は、CM を出力回線 1、BGM を出力回線 2 で放送したい場合です。
・「再生ウェイト時間」を設定することで、放送開始前にアンプの出力先を選択し、音切れを防ぐことができます。
（☞ 41 ページ「再生ウェイト時間設定」参照）



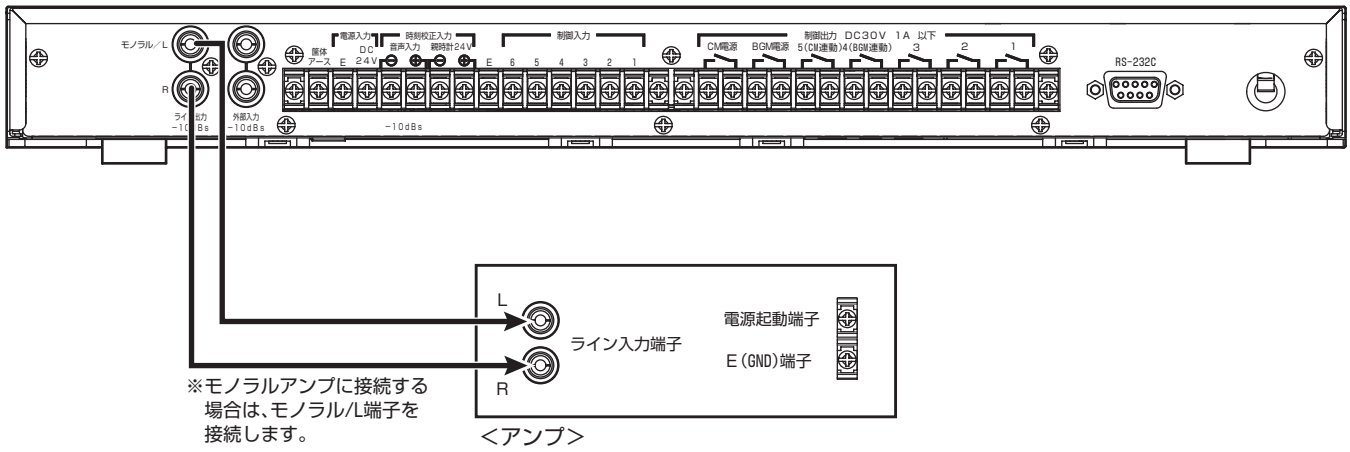
<アンプ>

Step2:
外部機器を接続する(つづき)

アンプを接続する(つづき)

■音声出力の接続

・本機のライン出力端子とアンプのライン入力端子を接続します。
・ステレオアンプに接続する場合は、本機のモノラル / L 端子および R 端子と、アンプのライン入力端子を接続します。
・モノラルアンプに接続する場合は、本機のモノラル / L 端子と、アンプのライン入力端子を接続します。
このとき、ステレオ音声のファイルを再生すると、L / R ミックスして出力します。

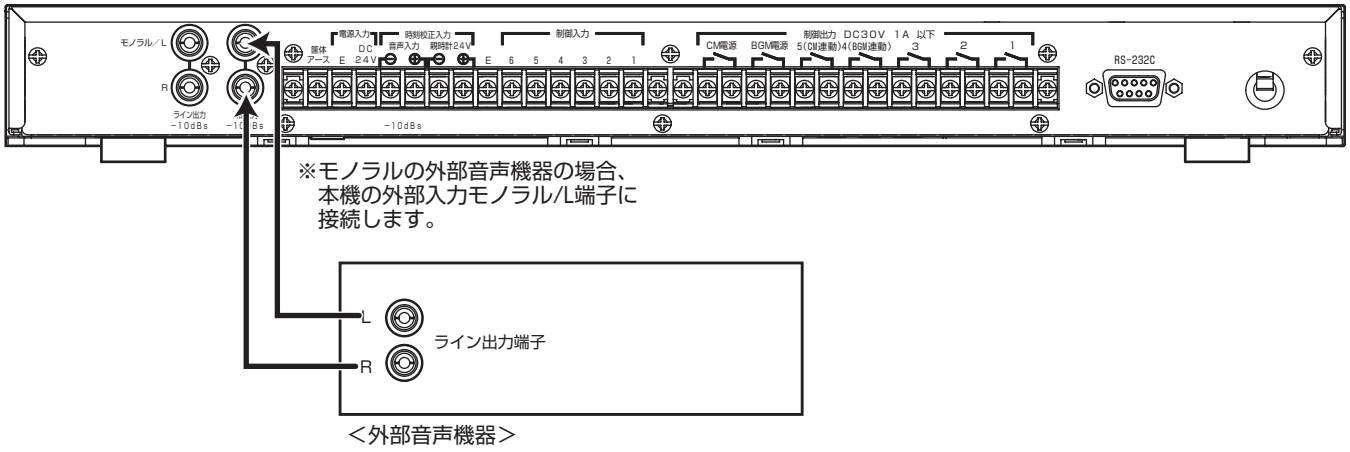


外部音声機器を接続する

・本機の外部入力モノラル /L 端子、R 端子に、ステレオの外部音声機器（CD プレーヤー、有線放送チューナー、ラジオチューナーなど）を接続します。
・モノラルの外部音声機器を使用する場合は、本機の外部入力モノラル /L 端子に接続します。このときライン出力 L、R 端子両方から音声が出力されます。
・本機から出力される音声と外部音声機器から出力される音声の優先順位を設定することで、フェードイン / アウトして放送することができます。（☞ 130 ページ「BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声を ミキシング出力する」参照）

メモ

- 外部音声機器を使用する場合、下記のどちらかの対応を行なってください。対応を行なわないと、外部音声機器が再生状態のときにアンプの電源制御が出力されず、音声が放送されません。
  - アンプの電源を常時オンにする。
  - 本機と外部音声機器の両方からアンプの電源を制御するように接続する。
- 本機は、音声信号レベルを検知してフェードイン / アウトの制御をします。外部音声機器の音声出力レベルを定格レベル（-10 dBs）に設定し、本機の「2-12. 外部入力レベル」設定で音量調節を行なってください。
  （☞ 131 ページ「外部入力レベルを設定する」参照）



Step2:
外部機器を接続する（つづき）

時刻補正機器を接続する

親時計や FM ラジオチューナーを接続し、本機内部時計の時刻補正を行います。

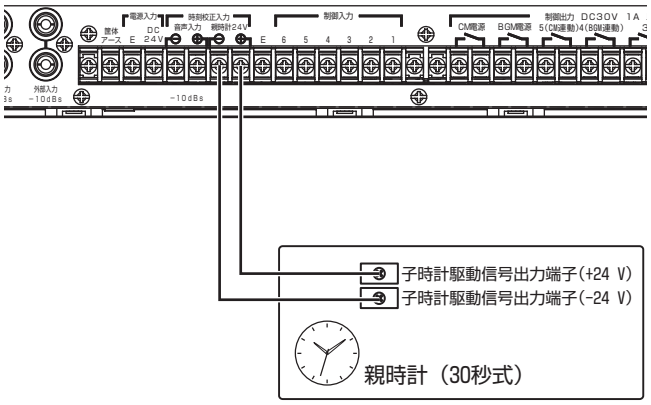
■親時計を使って時刻補正する場合

ご注意

- 本機は、1 秒式の親時計では時刻補正できません。必ず、30 秒式の親時計を接続してください。

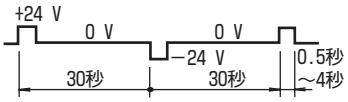
本機の親時計 24V 端子の⊕と親時計の子時計駆動信号出力端子（24V）の⊕、親時計 24V 端子の⊖と親時計の子時計駆動信号出力端子（24V）の⊖を接続します。

対応時計信号：DC24 V、30 秒有極パルス（工業用親時計標準信号）
補正時刻　：00：00、7：00、12：00、19：00
補正範囲　：± 15 秒



メモ

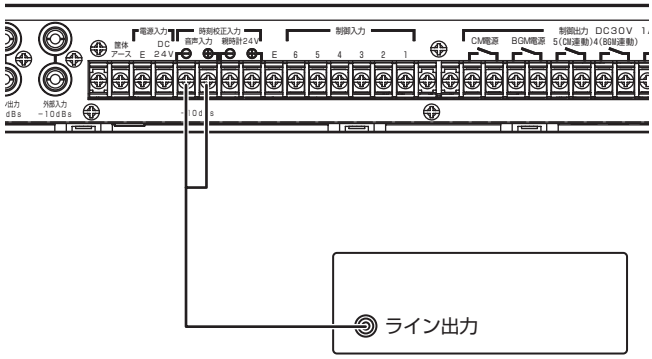
- 本機の内部時計は下図にある「30 秒式親時計」信号により時刻補正がされます。



■FM ラジオチューナーを使って時刻補正する場合

本機の音声入力⊕、⊖端子と FM ラジオチューナーのライン出力端子を接続します。

補正時刻：00：00、7：00、12：00、19：00
補正範囲：± 15 秒



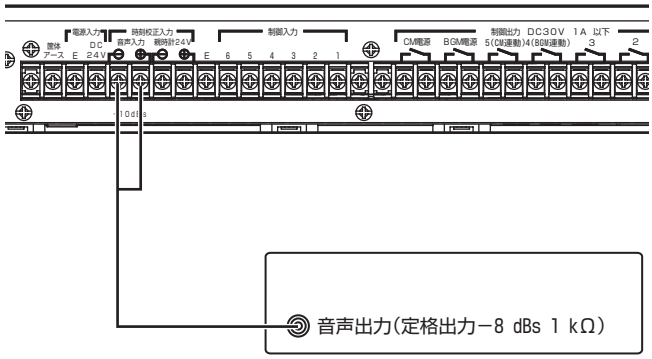
<FMラジオチューナーなど>

ご注意

- NHK-FM の電波を正常に受信していることをラジオのスピーカーで確認してください。
- FM ラジオチューナーのスピーカー出力端子に接続しないでください。必ずライン出力に接続してください。故障の原因となります。

■ビデオデッキを使って時刻補正する場合

・本機の音声入力⊕、⊖端子とビデオデッキの音声出力端子（定格出力 − 8 dBs 1 kΩ）を接続します。
・ビデオデッキの受信放送局は NHK 教育チャンネルに設定してください。



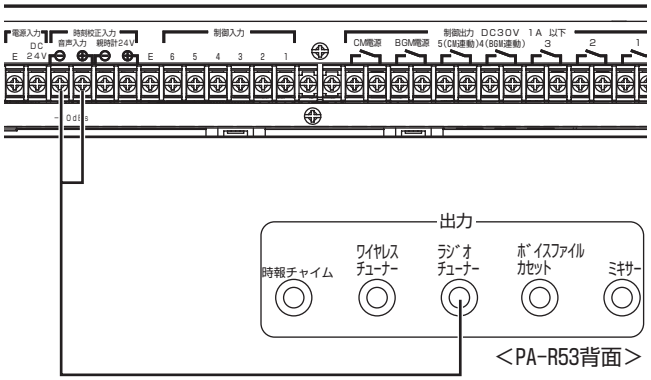
<ビデオデッキ>

ご注意

- NHK 教育チャンネルを正常に受信していることをビデオデッキの音声出力で確認してください。
- スピーカー出力端子に接続しないでください。必ず音声出力に接続してください。故障の原因となります。

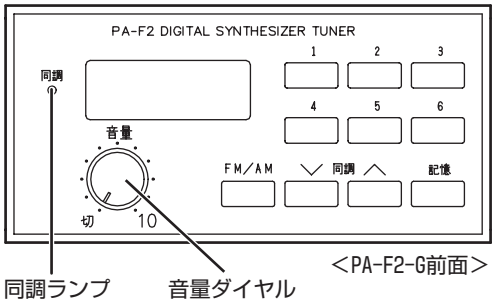
■ユニットケース(PA-R53)とラジオチューナーユニット(PA-F2-G)の組み合わせを使って時刻補正する場合

1. 本機の音声入力⊕、⊖端子と PA-R53 のラジオチューナー端子を接続します。



2. PA-F2-G の受信放送局を NHK-FM に設定します。
このとき、同調ランプが点灯していることを確認してください。

3. PA-F2-G の音量ダイヤルで出力レベルを８～ 10 の間に調節します。



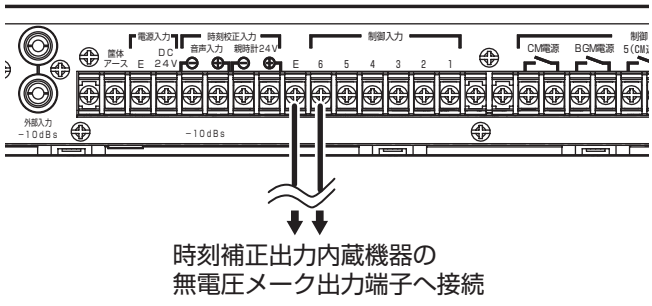
ご注意

- NHK-FM を正常に受信していることをラジオチューナー出力で確認してください。

■制御入力６端子を使用して時刻補正する場合

・制御入力６端子に時計校正機能を設定してください。
(☞ 116 ページ 「制御入力端子に動作を 割り当てる」参照)

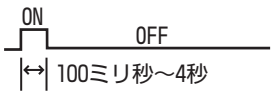
・本機後面の制御入力６端子に、時刻補正出力を内蔵した機器を接続します。



時刻補正出力内蔵機器の
無電圧メーク出力端子へ接続

メモ

- 時刻補正出力には、下図の条件を満たす必要があります。



Step2:
外部機器を接続する（つづき）

スイッチなどから本機を制御する
（制御入力端子へ接続）

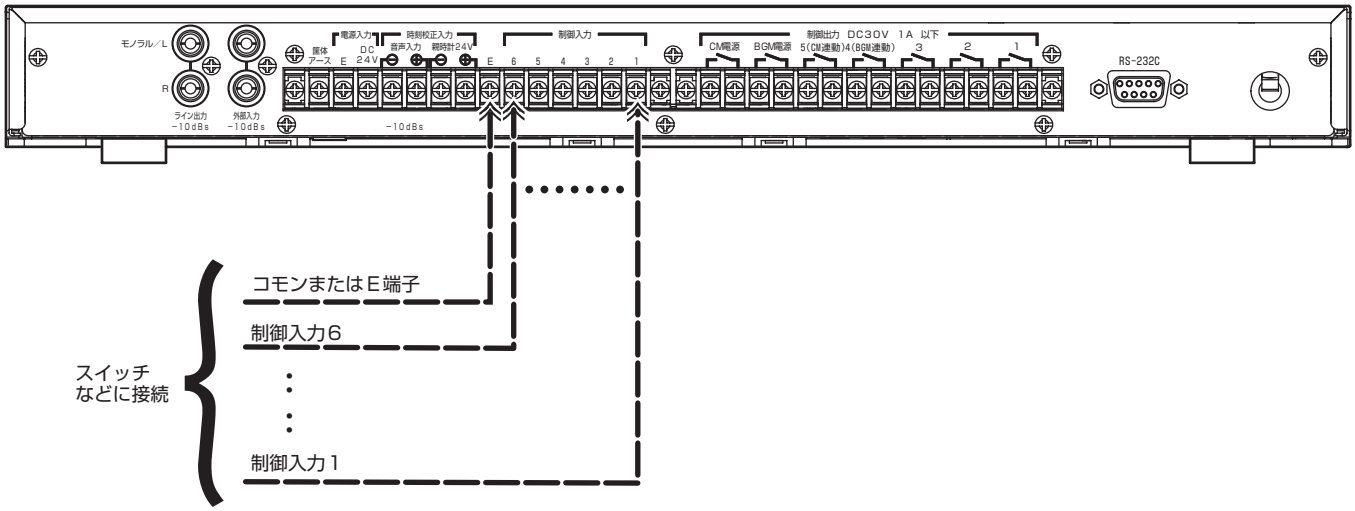
・スイッチなどの制御機器を接続し、本機の実行パターン、再生 / 録音、フェード、リレーの動作を制御します。
・本機の制御入力 1 ～ 6 端子と、制御機器の接点出力（無電圧メーク接点またはオープンコレクター出力）を接続します。

■実行パターンの切り換え、プレイリストの再生、フェード動作、リレーの制御を行う場合

・本機の制御入力 1 ～ 6 端子と制御機器の接点出力を接続します。
・制御入力 1 ～ 6 各端子に動作を割り付けることで、制御入力端子に接続した制御機器から動作を制御できます。1 つの端子に 1 つの動作を割り付けることができます。
・制御入力端子に動作を割り当てるには、「3-9. 制御入力」設定を行なってください。
（☞ 116 ページ「制御入力端子に動作を 割り当てる」参照）

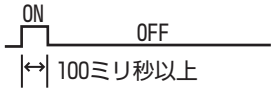
メモ

- 制御入力端子の機能を「CM 停止」、「BGM 停止」に設定すると、それぞれ CM 出力、BGM 出力の再生を停止することができます。
（☞ 116 ページ「制御入力端子に動作を 割り当てる」参照）



メモ

- 本機を制御する機器の接点出力は、下図の条件を満たす必要があります。

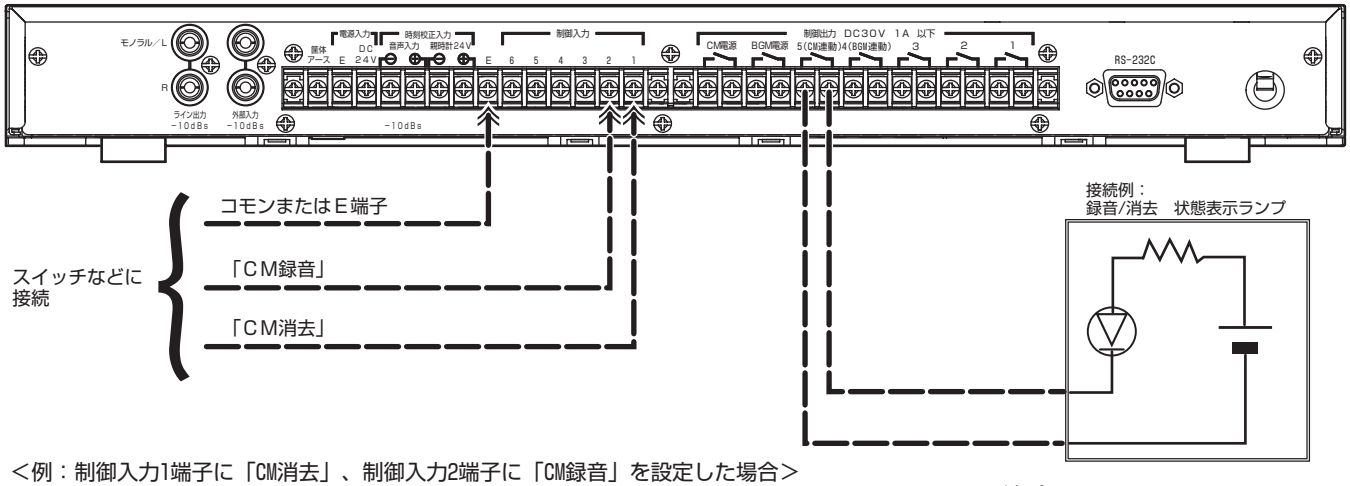


■制御入力端子からの制御でファイルの録音 / 消去する場合(制御入力 1 ～ 6 端子のどれかに設定)

・本機の制御入力 1 ～ 6 端子と制御機器の接点出力を接続します。
・任意の制御入力端子に、「消去」、「録音」機能を設定すると、音声のファイルの消去と録音ができます。
(☞ 116 ページ「制御入力端子に動作を 割り当てる」参照)
・CM 録音・再生連動端子の「2-10.CM 連動出力」設定を『ビジー』に設定してランプなどを接続すると、録音 / 消去の状態表示ができます。
(☞ 127 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

ご注意

- ファイル消去が完了するまでは録音開始できません。本機の LCD 画面表示を確認できないところでは、必ずビジー出力を使用して本機の状態を確認して操作してください。



<例：制御入力1端子に「CM消去」、制御入力2端子に「CM録音」を設定した場合>

ご注意

- 本機のリレー接点容量は、DC 30 V, 1 Aです。この接点容量を超えないでください。

Step2:
外部機器を接続する（つづき）

本機で外部接続機器を制御する
（連動出力端子へ接続）

ご注意

- 本機のリレー接点容量は、「DC30V, 1A」です。絶対に容量を超えないでください。火災や故障の原因となります。

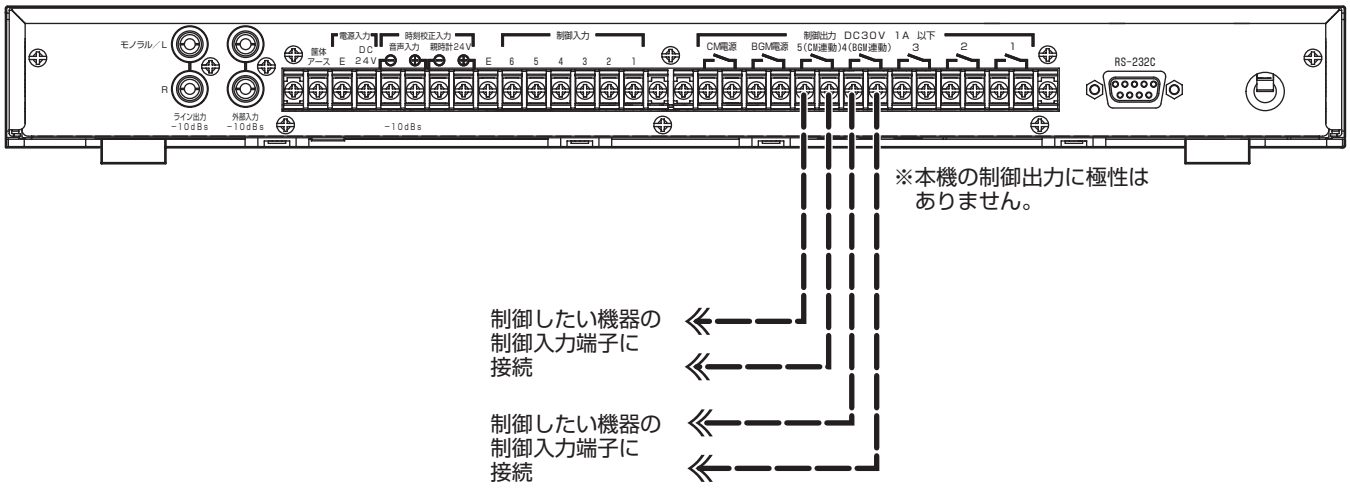
・本機の CM 連動端子および BGM 連動端子を使って、本機で外部機器を制御できます。
・本機の CM 連動端子または BGM 連動端子と、外部機器の制御入力端子を接続します。
・CM 連動端子の機能を「2-10.CM 連動出力」設定で選択できます。（☞ 127 ページ「CM 連動出力設定をする」参照）
・BGM 連動端子の機能を「2-9.BGM 連動出力」設定で選択できます。（☞ 126 ページ「BGM 連動出力設定をする」参照）

■ 再生終了後に外部機器を制御する（連動）
・再生終了のタイミングで出力して照明を消すなど、外部機器を制御できます。
・本機の BGM 連動端子および CM 連動端子の機能を、「2-9.BGM 連動出力」、「2-10.CM 連動出力」設定で『レンドウ』に設定します。（☞ 126 ページ「BGM 連動出力設定をする」、127 ページ「CM 連動出力設定をする」参照）

■ 緊急指定したプレイリスト再生時に外部機器を制御する（緊急）
・緊急指定したプレイリスト再生時のみ、外部機器を制御できます。
・本機の CM 連動端子の機能を「2-10.CM 連動出力」設定で『キンキュウ』に設定します。
（☞ 127 ページ「CM 連動出力設定をする」参照）

メモ

- BGM 再生連動端子は「緊急」に設定できません。



本機で外部接続機器を制御する

（制御出力端子へ接続）

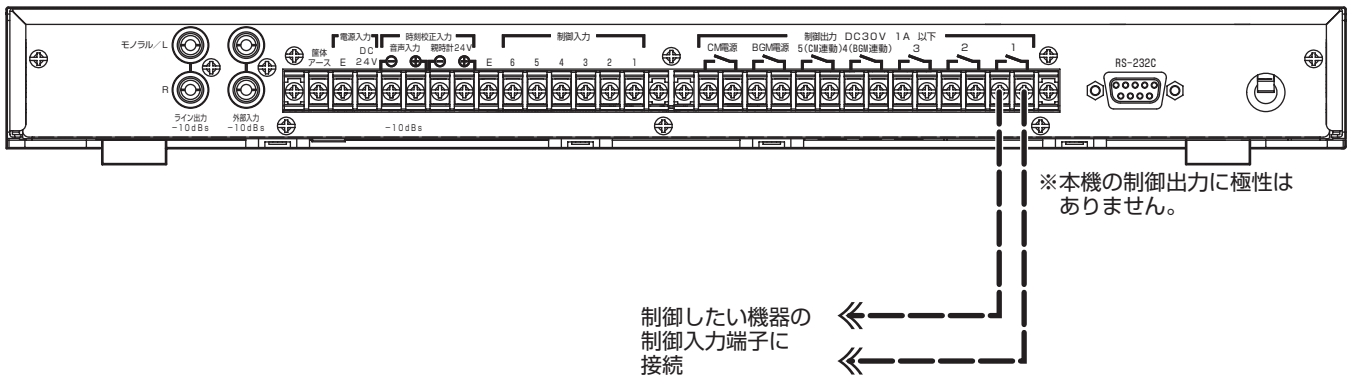
ご注意

- 本機のリレー接点容量は、「DC30V, 1A」です。絶対に容量を超えないでください。火災や故障の原因となります。

・本機の制御出力 1 ～ 5 端子に接続した外部機器を、内蔵タイマーや制御入力端子に接続したスイッチなどによって制御できます。
（☞ 72 ページ「スケジュール設定」、116 ページ「制御入力端子に動作を 割り当てる」、126 ページ「連動出力端子で外部機器を 制御する」参照）
・本機の制御出力端子と外部機器の制御入力端子を接続します。

メモ

- 制御出力 4（BGM 連動）端子、制御出力 5（CM 連動）端子を制御出力として使用するには、設定を変更する必要があります。
（☞ 126 ページ「ＢＧＭ連動出力設定をする」参照）



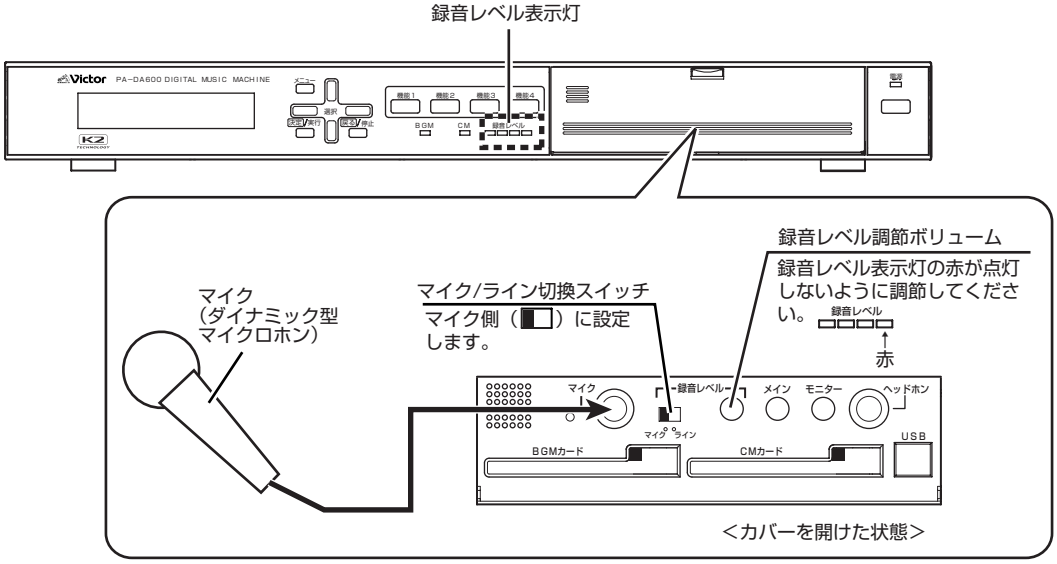
Step2:
外部機器を接続する（つづき）

録音する機器を接続する

本機には、前面カバー内にマイク入力端子があります。接続する機器にあわせて接続します。

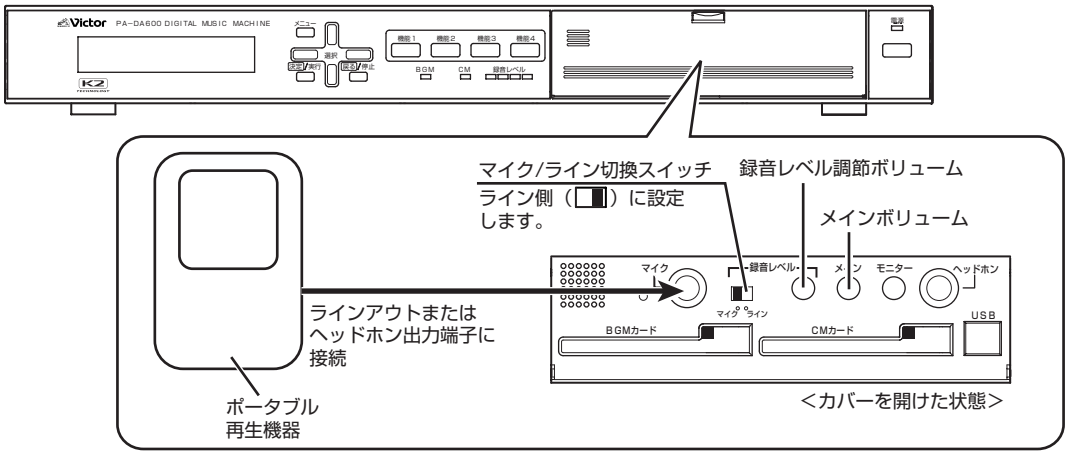
■マイクで録音する場合

・本機前面カバー内のマイク / ライン切換スイッチを「マイク」側に設定します。
・φ3.5 不平衡ミニプラグ対応のマイクをマイク入力端子に接続します。平衡出力のマイクを使用する場合は、変換プラグを使って不平衡に変換して接続してください。
・モノラル入力専用です。「4-1. 音質設定」で音質を設定してください。（☞ 44 ページ「step1：録音の音質を設定する」参照）



■ポータブル再生機器から録音する場合

・本機前面カバー内のマイク / ライン切換スイッチを「ライン」側に設定します。
・ステレオ対応のポータブル再生機器を複式（ステレオ）プラグを使って接続すると、L と R の音声をミックスできます。
・モノラル入力専用です。「4-1. 音質設定」で音質を設定してください。（☞ 44 ページ「step1：録音の音質を設定する」参照）



メモ

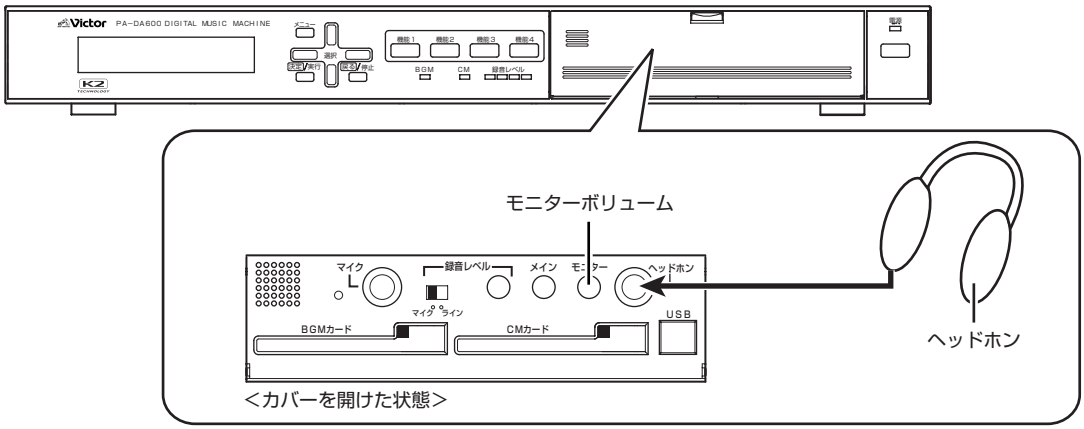
- 録音待機中および録音中は、ヘッドホン端子、ライン出力端子から音声は出力されません。
  録音停止後に試聴して確認してください。（☞ 42 ページ「Step2：CM を録音する（CM プレイリストの作成）」参照）
- 録音したファイルの試聴をしているときの音声は、ヘッドホン端子およびライン出力端子から出力されます。ライン出力端子から音声を出力させたくない場合は、メインボリュームを左側にまわしてください。

ヘッドホンを接続する

・ライン出力端子から出力している音声と同じ音声をヘッドホンから聴くことができます。
・モニターボリュームで音量を調節します。

メモ

- ヘッドホン端子にヘッドホンを接続していると、本機内蔵のモニタースピーカーからは音が出力されません。ライン出力から音が出力されます。

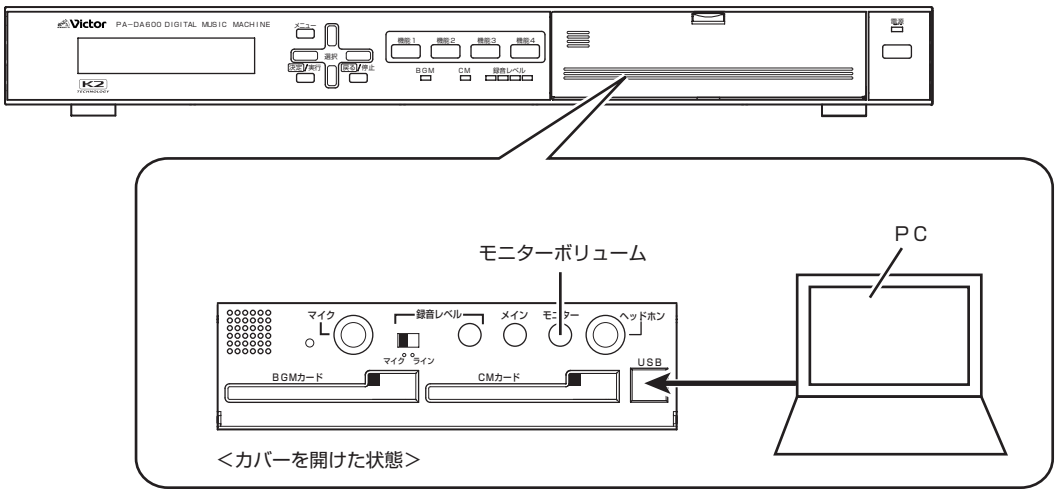


パソコンから本機の設定をする

・デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS600A) を使って、本機のスケジュールやその他の設定をパソコン(以降、PCと呼びます。)で行うことができます。
・本機前面カバー内の USB 端子と PC 側の USB 端子を接続します。
・詳しくは、デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS600A) に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

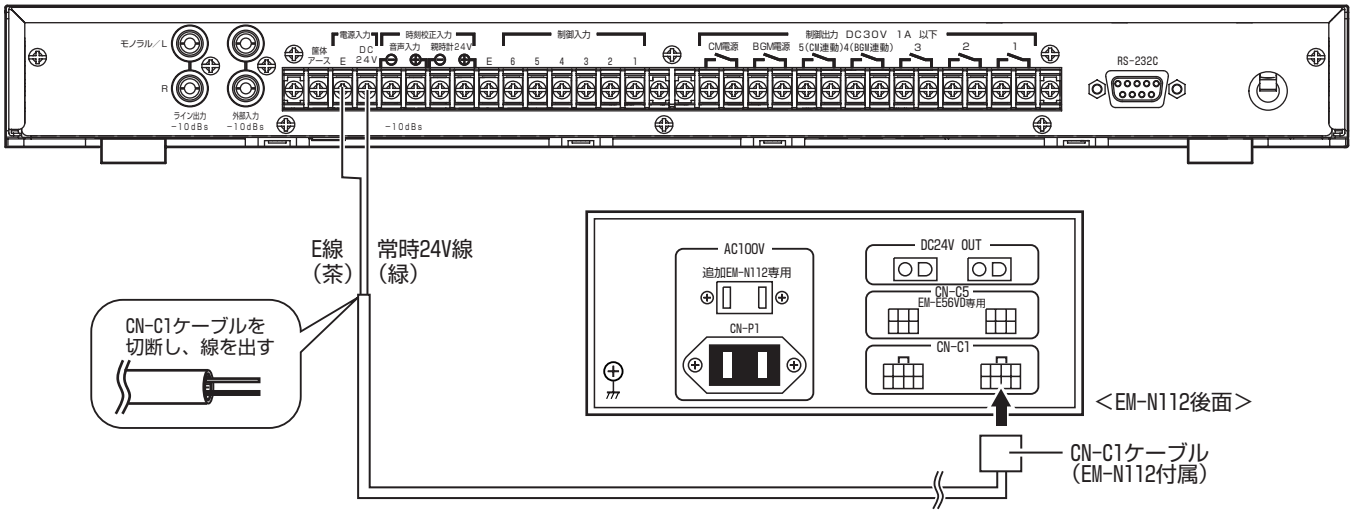
- デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS600A)は本機に付属されていません。ご使用になりたい場合は、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。



Step2:
外部機器を接続する(つづき)

非常電源ユニット(EM-N112) を接続する

・停電時でも本機を作動可能にする場合は、非常電源ユニット(EM-N112) を接続してください。
・停電時は、非常電源ユニットから DC 24 V が出力されます。
・非常電源ユニットの詳細については、非常用放送設備の設置説明書をご覧ください。
・本機のDC24 V端子にCN-C1ケーブルの常時24V線(緑)を接続し、本機のE端子にCN-C1ケーブルのE線(茶)を接続します。



ご注意

- 非常用放送設備と組み合わせて使用する場合は、本機専用の非常電源ユニット(EM-N112) を用意し、本機に接続してください。非常用放送設備用の非常電源ユニットには接続しないでください。

Step3:
メモリーカードを入れる

■メモリーカードについて

・本機では、音声ファイルおよび本機の設定データはすべてメモリーカードに記録します。
・メモリーカードは本機の動作に必要なものです。必ず、ＣＭ用、ＢＧＭ用の２枚のメモリーカードを本機に挿入してください。
・CM用のメモリーカードとBGM用のメモリーカードは、それぞれ記録されるデータが異なります。本機に挿入する前に、CM 用には「CM」、BGM 用には「BGM」と記入するなどして判別できるようにしてください。
・本機で使用するメモリーカードは、別売りの「デジタルメモリーカード」をご使用ください。「デジタルメモリーカード」の購入については、お買い上げのビクターシステム営業所にご相談ください。

ご注意

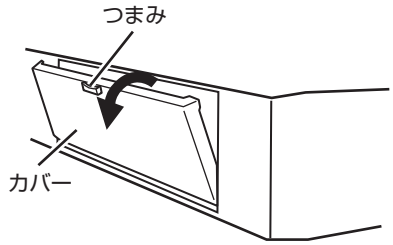
- 必ず指定の「デジタルメモリーカード」(別売)をご使用ください。指定のメモリーカード以外での正常な録音 / 再生などの動作を保証しません。
- 指定のメモリーカード以外を使用すると、音飛びや音切れなどが発生する原因となります。
- 本機の動作中にメモリーカードを取り出したいときは、必ず「5-1.ＣＦ 停止」メニューでメモリーカードの動作を停止してから取り出してください。停止せずにメモリーカードを取り出すと、故障の原因となります。
  (☞ 16 ページ「メモリーカードを本機から 取り出す」参照)
- メモリーカードは精密な電子部品で作られています。静電気による破損を防ぐため、メモリーカードを挿入する前に金属部分(ラックまたは本機上面など)に手を触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。

メモ

- 設定を保存してある他のメモリーカードに入れ換えるだけで、すべての設定を変更することができます。
- 別途供給のデジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS600Ａ) を使って、ＰＣ だけで本機のセットアップを行うことができます。詳しくは、デジタルミュージックマシン設定ソフト(PA-ZS600Ａ)の取扱説明書をご覧ください。

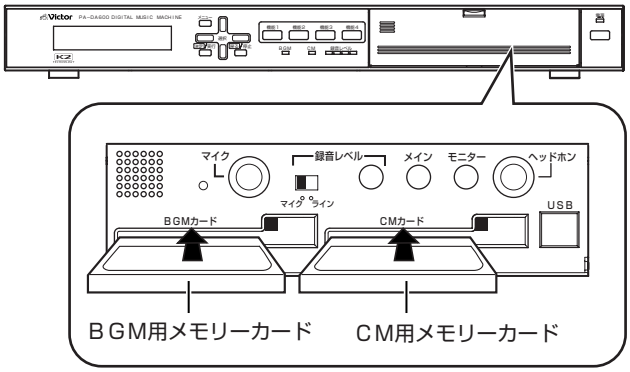
1. 本機前面のカバーを開ける

つまみに指をかけ、手前に開きます。



2. メモリーカードを下図のように本機に入れる

ＣＭ用、ＢＧＭ用に２枚のメモリーカードを奥へ押し込んでください。



3. 本機前面のカバーを閉める

カバー上端の左右両側を押して閉めます。

*4.*LCD 画面の表示を確認する

■ 新品のメモリーカードを挿入した場合
ＬＣＤ 画面に、『スケジュールヲセッテイシテクダサイ』と表示されます。スケジュール設定を行なってください。

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙﾖｾｯﾃｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

■ 設定済みのメモリーカードを挿入した場合
・LCD 画面に、『キドウチュウ. . 』と表示後、待機中画面または実行中画面が表示されます。

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾀｲｷﾁｭｳ
```

＜待機中画面＞

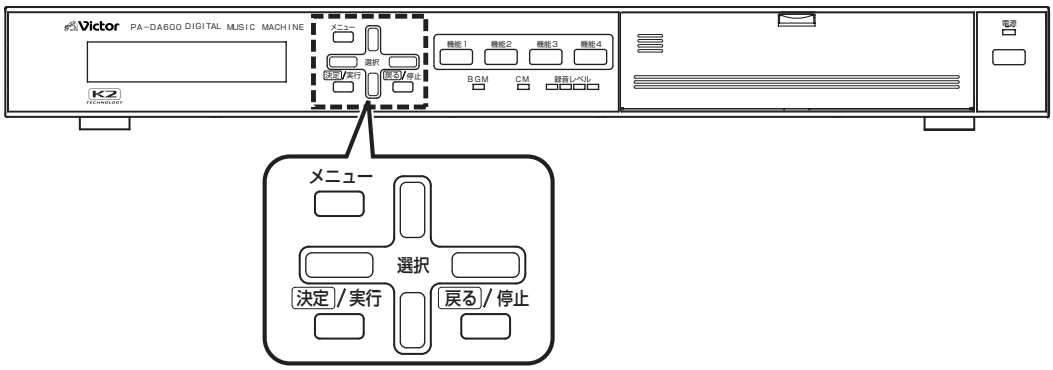
```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾍｲｼﾞｯｿ
```

＜実行中画面＞

メモ

- 「2-5.オートスタート」の設定により、電源を入れたときの状態が変わります。
  (☞ 41 ページ「オートスタート設定」参照)

Step4:動作確認をする



時刻補正の確認をする

時刻補正の接続確認をします。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュールを実行中の場合は、必ずスケジュールを停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する

メインメニューから、選択上、下ボタンで『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. 校正信号確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、選択上、下ボタンで『5-9. トケイコウセイカクニン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-9.ﾄｹｲｺｳｾｲｶｸﾆﾝ
```

<メンテナンスメニュー画面>

▼

```
ｺｳｾｲｼﾝｺﾞｳｶｸﾆﾝ
ﾆｭｳﾘｮｸﾏﾁ          [ ﾓﾄﾞﾙ ]
```

<校正信号確認画面>

4. 校正信号が入力されるのを待つ。

・時刻校正入力端子または制御入力 6 端子(時計校正が設定されている場合)に、校正信号が入力されるのを待ちます。
・校正信号が入力されると、LCD 画面に約 5 秒『カクニンデキマシタ』と表示され、『ニュウリョクマチ』表示に戻ります。

```
ｺｳｾｲｼﾝｺﾞｳｶｸﾆﾝ
ﾆｭｳﾘｮｸﾏﾁ          [ ﾓﾄﾞﾙ ]
```

▼

```
ｺｳｾｲｼﾝｺﾞｳｶｸﾆﾝ
ｶｸﾆﾝﾃﾞｷﾏｼﾀ         [ ﾓﾄﾞﾙ ]
```

メモ

- 決定/実行ボタンまたは戻る/停止ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

制御出力端子に接続した外部機器を動作させる

・制御出力端子が正常に動作するかを確認します。
・LCD 画面に表示されている『リレー』は制御出力端子を意味しています。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュールを実行中の場合は、必ずスケジュールを停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する

メインメニューから、選択上、下ボタンで『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
```

＜再生メニュー画面＞

3. リレー操作選択画面を表示する。

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-3. リレーソウサ』の順で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-3.ﾘﾚｰｿｳｻ
```

＜再生メニュー画面＞

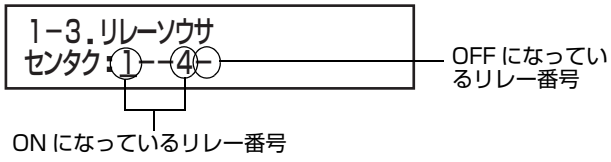
▼

```
1-3.ﾘﾚｰｿｳｻ
ｾﾝﾀｸ:1--4-
```

＜リレー操作選択画面＞

4. 動作させたいリレーを ON にする

・選択左、右ボタンで動作させたいリレー番号を選択します。
・選択上、下ボタンで、ON/OFF(ON:番号表示、OFF:『-』表示)を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、リレー動作確認画面になります。



＜リレー操作選択画面＞

5. リレー動作を確認する。

リレー操作確認画面で、『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、リレー動作を開始します。

```
1-3.ﾘﾚｰｿｳｻ 1--4-
ﾘﾚｰｵﾝ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜リレー操作確認画面＞

6. リレー動作の確認を終了する。

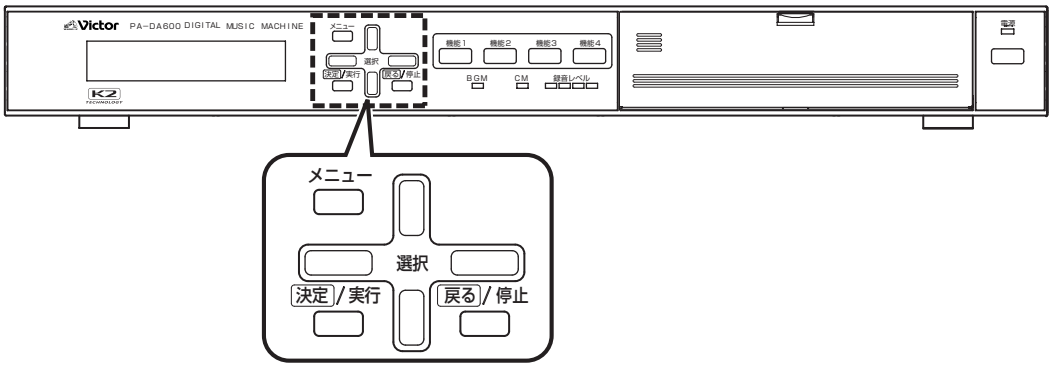
・リレー動作の確認が終了したら、リレー操作停止画面で決定 / 実行ボタンを押します。
・リレー動作を終了すると、リレー操作選択画面に戻ります。

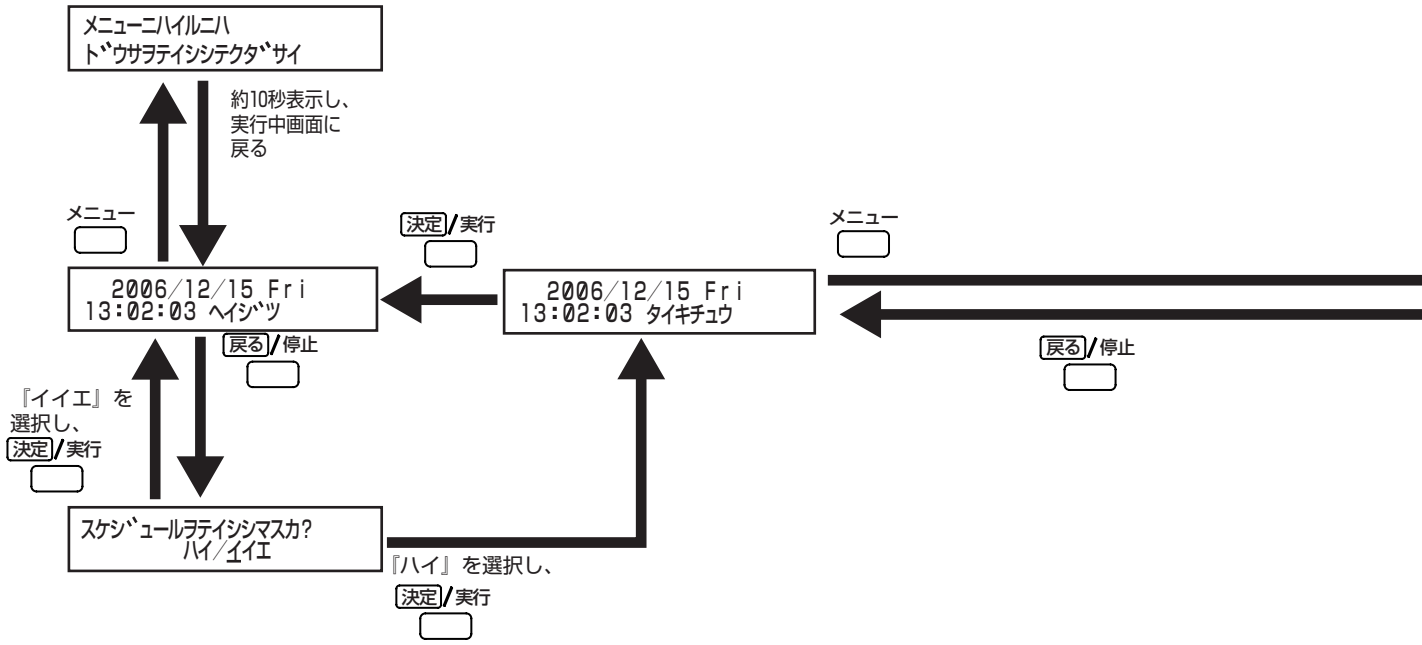
```
1-3.ﾘﾚｰｿｳｻ 1--4-
ﾘﾚｰﾖﾃｲｼｼﾏｽ      [ｹｯﾃｲ]
```

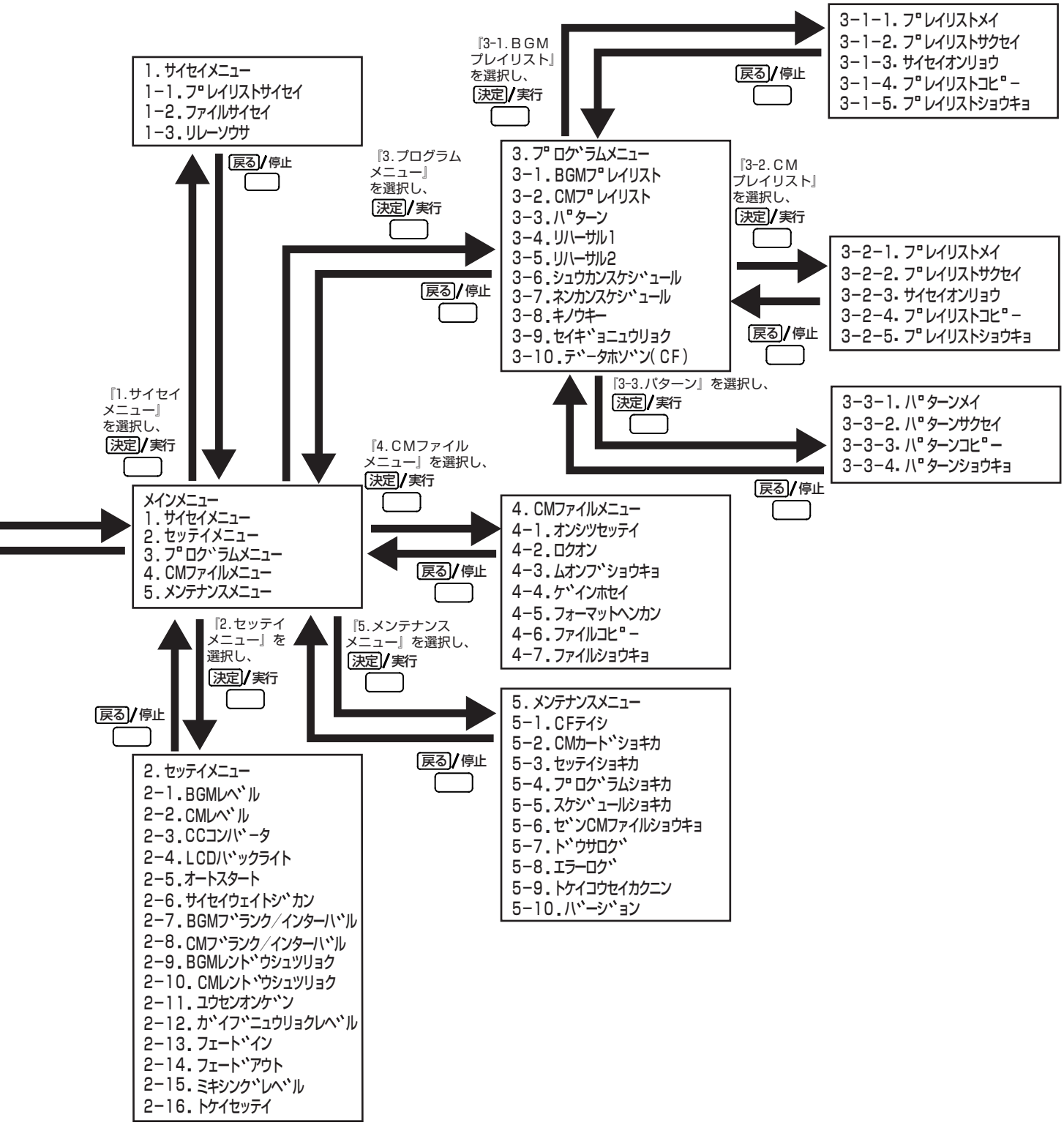
＜リレー操作停止画面＞

メニュー画面の構成

下図は LCD 画面に表示されるメニューとメニュー間の移動構成です。
本機 LCD 画面は 2 行表示になっています。下位の項目を表示したい場合は、選択上、下ボタンを押してください。






メインメニュー
1. サイセイメニュー
2. セッテイメニュー
3. プログラムメニュー
4. CMファイルメニュー
5. メンテナンスメニュー
『1. サイセイメニュー』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
1. サイセイメニュー
1-1. プレイリストサイセイ
1-2. ファイルサイセイ
1-3. リレーソウサ
『2. セッテイメニュー』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
2. セッテイメニュー
2-1. BGMレベル
2-2. CMレベル
2-3. CCコンバータ
2-4. LCDバックライト
2-5. オートスタート
2-6. サイセイウェイトジカン
2-7. BGMブランク/インターバル
2-8. CMブランク/インターバル
2-9. BGMレンドウシュツリョク
2-10. CMレンドウシュツリョク
2-11. ユウセンオンケン
2-12. ガイフ゛ニュウリョクレベル
2-13. フェードイン
2-14. フェードアウト
2-15. ミキシングレベル
2-16. トケイセッテイ
『3. プログラムメニュー』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
3. プログラムメニュー
3-1. BGMプレイリスト
3-2. CMプレイリスト
3-3. パターン
3-4. リハーサル1
3-5. リハーサル2
3-6. シュウカンスケジュール
3-7. ネンカンスケジュール
3-8. キノウキー
3-9. セイキョニュウリョク
3-10. データホゾン(CF)
『3-1. BGMプレイリスト』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
3-1-1. プレイリストメイ
3-1-2. プレイリストサクセイ
3-1-3. サイセイオンリョウ
3-1-4. プレイリストコピー
3-1-5. プレイリストショウキョ
『3-2. CMプレイリスト』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
3-2-1. プレイリストメイ
3-2-2. プレイリストサクセイ
3-2-3. サイセイオンリョウ
3-2-4. プレイリストコピー
3-2-5. プレイリストショウキョ
『3-3. パターン』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
3-3-1. パターンメイ
3-3-2. パターンサクセイ
3-3-3. パターンコピー
3-3-4. パターンショウキョ
『4. CMファイルメニュー』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
4. CMファイルメニュー
4-1. オンシツセッテイ
4-2. ロクオン
4-3. ムオンブショウキョ
4-4. ゲインホセイ
4-5. フォーマットヘンカン
4-6. ファイルコピー
4-7. ファイルショウキョ
『5. メンテナンスメニュー』を選択し、
決定/実行
戻る/停止
5. メンテナンスメニュー
5-1. CFテイシ
5-2. CMカードショキカ
5-3. セッテイショキカ
5-4. プログラムショキカ
5-5. スケジュールショキカ
5-6. ゼンCMファイルショウキョ
5-7. ドウサログ
5-8. エラーログ
5-9. トケイコウセイカクニン
5-10. バージョン

基本設定の手順

・ここでは、本機を使用するための基本設定の手順を説明します。
・基本設定後は、使用方法に応じてスケジュール設定(72 ページ)、応用設定(94 ページ～)を行なってください。

ご注意

- 本機の設定には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

メモ

- CM録音時にファイルを保存すると、CMプレイリストが自動的に作成され本機に登録されます。複数の CM ファイルを 1 つの CM プレイリスト登録して再生する必要が無い場合は、CM プレイリストに関する設定は必要ありません。
- 必要に応じて、「CC コンバーター設定」(70 ページ)、「BGM 出力、CM 出力のレベル設定」(71 ページ)を行なってください。

用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。
BGMファイル	:BGM 音楽データ。
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499):再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999):再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

Step1	**基本的な設定をする(☞ 39 ページ)** 時刻設定などの基本的な設定を行います。
▼	
Step2	**CM を録音する(CM プレイリストの作成)(☞ 42 ページ)** ・再生するメッセージを録音します。 ・録音すると、自動的にCMプレイリストが作成されます。
▼	
Step3	**BGM プレイリストを作成する(☞ 46 ページ)** BGM ファイルをミュージック登録することで、さまざまな再生を行うことができます。
▼	
Step4	**再生をする(☞ 62 ページ)** ファイルおよびプレイリストを再生して確認します。
▼	
Step5	**設定した内容を保存する(☞ 69 ページ)** 設定した内容をメモリーカードに保存します。
▼	

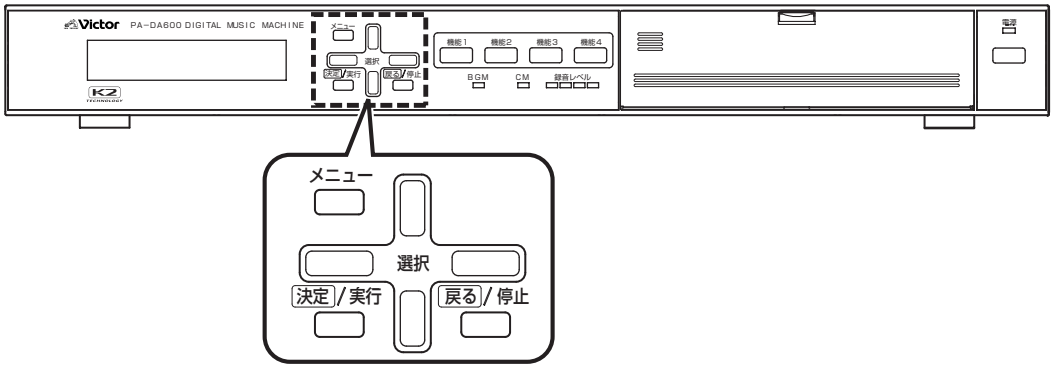
基本的設定終了

BGM ファイルの作成について

- BGM ファイルは、デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア(PA-ZS600A,別供給品)を使って作成します。
- BGM ファイルの購入を希望する場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

Step1：基本的な設定をする

本機を使用する前に、基本的な設定を行ないます。



時計設定

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. 時計設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-16. トケイセッテイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-16.ﾄｹｲｾｯﾃｲ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

```
2-16.ﾄｹｲｾｯﾃｲ
06/01/01 00:00:00
```

＜時計設定画面＞

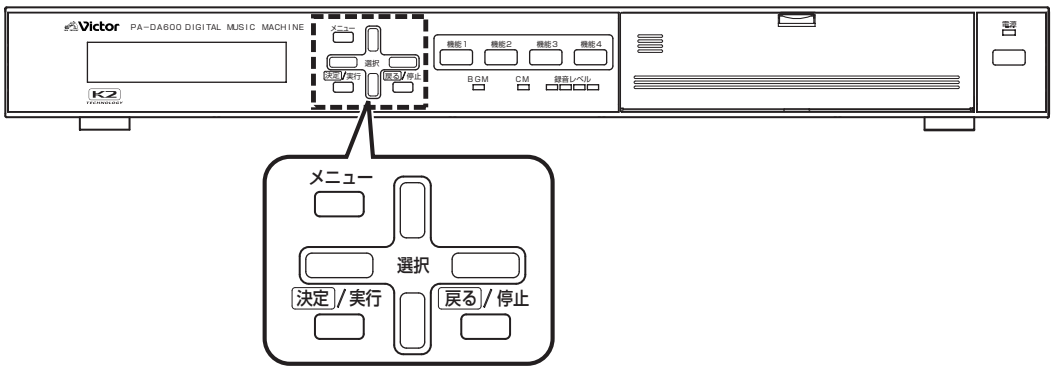
4. 時計を設定する。

・選択左、右ボタンで、年、月、日、時、分を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・年、月、日、時、分まで設定したら、選択左、右ボタンで秒を選択し、電話の時報などに合わせて決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押し、設定が確定すると自動的に設定メニュー画面に戻ります。

```
2-16.ﾄｹｲｾｯﾃｲ
06/01/01 00:00:00
```

年　月　日　時　分　秒

Step1:基本的な設定をする（つづき）



LCD バックライト設定

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. LCD バックライト設定画面を表示する。

設定メニューから『2-4.LCD バックライト』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-4.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

```
2-4.LCDﾊﾞｯｸﾗｲﾄ
ﾃﾝﾄｳ/ｼｮｳﾄｳ/ｷｰﾚﾝﾄﾞｳ
```

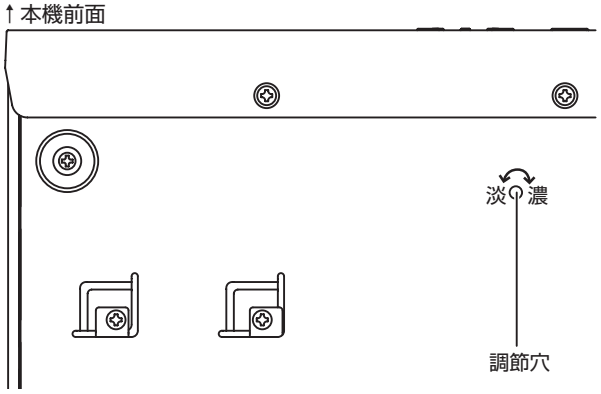
＜ＬＣＤ バックライト設定画面＞

4. ＬＣＤ バックライトの設定をする。

・選択左、右ボタンで、『テントウ』、『ショウトウ』、『キーレンドウ』のどれかを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『テントウ』　　:常に、LCD バックライトを点灯します。
『ショウトウ』　:常に、LCD バックライトを消灯します。
『キーレンドウ』:ボタンを押してから 30 秒点灯します。
（工場出荷時:『テントウ』）
・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

メモ

- 『ショウトウ』に設定していても下記の状態になると、バックライトが点灯します。
  - スケジュール実行中に、戻る / 停止ボタンを押したとき
  - メインメニュー画面に入ったとき
  - PC との通信を開始したとき
- **LCD 画面のコントラスト調節について**
  LCD画面の表示が見えにくい場合には、本機底面の調節穴からコントラストを調節することができます。
  調節穴に精密ドライバー(マイナス)を差し込み、調節穴の中のネジを左右にゆっくりとまわして調節してください。このとき、力を入れてまわすと、ネジを破損する原因となることがありますのでご注意ください。
  コントラストの調節をする場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。



オートスタート設定

電源投入時の動作を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. オートスタート設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-5. オートスタート』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-5.ｵｰﾄｽﾀｰﾄ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

```
2-5.ｵｰﾄｽﾀｰﾄ
ｹｲｿﾞｸ/ｼﾞｯｺｳ/ﾀｲｷ
```

＜オートスタート設定画面＞

4. オートスタート設定をする。

・選択左、右ボタンで、『ケイゾク』、『ジッコウ』、『タイキ』のどれかを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『ケイゾク』：電源を入れると、自動的に電源 OFF 前の状態になります。
『ジッコウ』：電源を入れると、スケジュール動作の実行状態になります。
『タイキ』　：電源を入れると、待機状態になります。
（工場出荷時：『ケイゾク』）
・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

再生ウェイト時間設定

・下記の状態にしたい場合に、ウェイト（遅延）時間を０秒～９９秒の間で設定します。
　・CM アンプ電源端子または BGM アンプ電源端子に接続した機器を、プレイリスト再生時刻より前に動作させたい場合。
　・制御入力端子に信号が入力されてからプレイリスト再生開始までの時間を遅らせたい場合。
・本機でアンプ電源の入 / 切を制御する場合、アンプの電源が入るまでの時間による音切れを発生させたくない場合などに使用します。
・機器の接続については、21 ページをご覧ください。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. 再生ウェイト時間設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-6. サイセイウェイトジカン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-6.ｻｲｾｲｳｪｲﾄｼﾞｶﾝ
```

＜設定メニュー画面＞

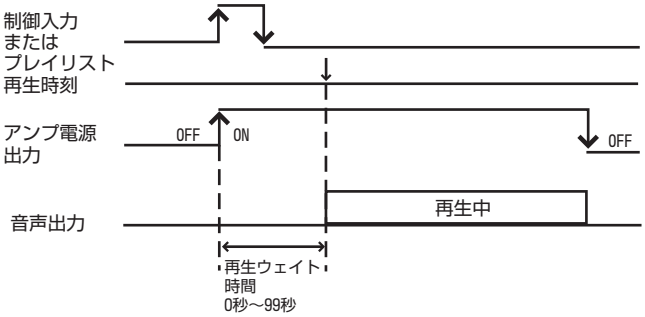
▼

```
2-6.ｻｲｾｲｳｪｲﾄｼﾞｶﾝ
ﾋﾞｮｳ:00
```

＜再生ウェイト時間設定画面＞

4. 再生ウェイト時間を設定する。

・選択上、下ボタンで、『00』秒～『99』秒の間を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
（工場出荷時：5 秒）



・設定が確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

Step2：CM を録音する（CM プレイリストの作成）

録音には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

録音手順

step1	**録音の音質を設定する**(☞ 44 ページ) 録音時の音質、フォーマットを設定します。

▼

step2	**録音をする**(☞ 44 ページ) CM ファイルを作成します。

▼

録音終了

用語について

CM ファイル	：録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	：CM プレイリスト(P001 ～ P499)：再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999)：再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ご注意

- 録音待機時および録音中は、ヘッドホン端子およびライン出力端子から音声は出力されません。
  録音停止後に試聴で確認してください。
- 録音した CM ファイルの試聴をしているときの音声は、ヘッドホン端子およびライン出力端子から出力されます。ライン出力端子から音声を出力させたくない場合は、メインボリュームを左側にまわしてください。

メモ

- 本機前面のカバー内にある、マイク入力端子に接続した録音機器から録音ができます。接続方法については、30 ページをご覧ください。
- 本機で録音できる CM ファイル数は、最大 999 ファイルです。
- 本機で作成できる CM プレイリストは最大 499 個です。
- すでにCMプレイリストが499個ある場合は、CMファイル数が999個に達していなくても録音することができません。
  使用しない CM プレイリストを削除してから録音を行なってください。
- 録音した CM ファイルの番号は、C001 から C999 まで自動的につけられます。CM ファイル番号を変更することはできません。CM ファイル番号を指定して録音することはできません。
- 録音終了後に CM ファイルを保存すると、自動的にプレイリストに登録されます。
- CM プレイリスト名は、P001 から P499 まで自動的につけられます。
- CM プレイリスト名は、任意の名前に変更することができます。(☞ 104 ページ「**CM プレイリスト**名を変更する」参照)
- CM ファイル番号と CM プレイリスト番号は、数字の小さい順に自動的につけられます。ただし、同一番号の CM ファイルと CM プレイリストが両方欠番の番号を優先して割り当てます。

録音の音質について

用語について

CM カード　：アナウンスなどのメッセージデータ、スケジュール、設定データ、CM プレイリスト、BGM プレイリストを保存するメモリーカードです。
CM カードは、本機の CM カード挿入口に入れて使用してください。

・本機では、4 種類の録音方式から選択できます。
・録音方式によって、音質、CM カードの必要な容量が異なりますので、用途に応じて設定してください。
・工場出荷時の設定は『スタンダード - モノラル』です。

■ 録音方式

録音方式	ステレオ / モノラル	サンプリング周波数（再生周波数）	信号処理方式	備考	連続最長録音時間
ハイースタンダードーモノラル	モノラル	44.1 kHz (20 Hz ～ 20 kHz)	LPCM(非圧縮)	音楽 CD と同等。高音質な音楽に適します。	３０分
スタンダードーモノラル		22.05 kHz (20 Hz ～ 10 kHz)	LPCM(非圧縮)	アナウンスや BGM 用途の音楽に適します。	６０分
ハイーロングーモノラル		44.1 kHz (20 Hz ～ 20 kHz)	μ － law	メモリーカードの容量を節約して長時間録音したい場合に使用します。	６０分
ロングーモノラル		22.05 kHz (20 Hz ～ 10 kHz)	μ － law		１２０分

※ 信号方式について
LPCM(Linear Pulse Code Modulation)：音楽 CD と同様に、デジタル化したデータを圧縮していないため高音質です。ただし、メモリーカードの容量を多く使用します。
μ － law(ミューロー)　：LPCM(16 bit)に対して半分の(8 bit)に圧縮します。圧縮特性に対数関数を用いることで、音量が小さいときの解像度を上げています。

■ CM カードの容量と録音可能時間の目安

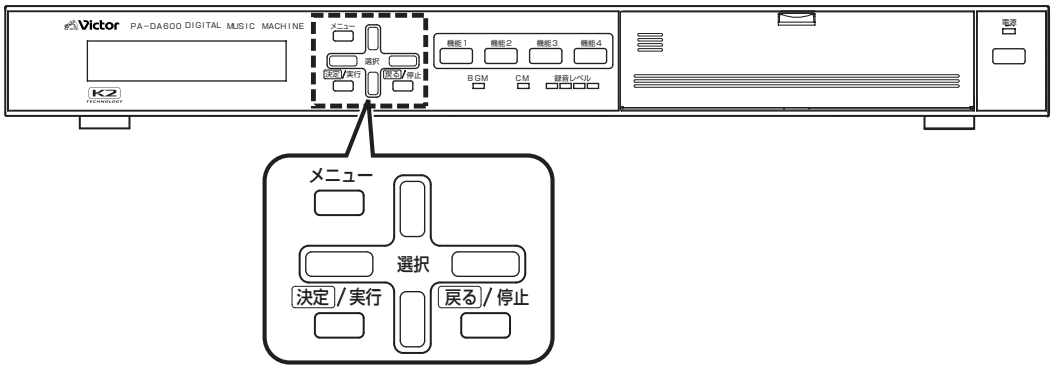
	モノラル			
容量	ハイースタンダード	スタンダード	ハイーロング	ロング
128 MB	24 分	48 分	48 分	1 時間 36 分
512 MB	1 時間 36 分	3 時間 13 分	3 時間 13 分	6 時間 27 分

※ 上記は「デジタルメモリーカード」(品番：QAM0961-001(128MB), QAM0961-002(512MB))の場合です。

ご注意

● 録音方式で「ハイーロング」および「ロング」に設定した場合、圧縮方式（μ － law 方式）の特性により、音量の小さい部分で雑音（量子化ノイズ）が聞えることがあります。使用する用途に応じて録音方式を選択してください。

Step2：CM を録音する（CM プレイリストの作成）（つづき）



step1：録音の音質を設定する

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する。

メインメニューから『4.CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
4-1.ｵﾝｼﾂｾｯﾃｲ
```

＜ CM ファイルメニュー画面＞

3. 音質設定画面を表示する。

CM ファイルメニューから『4-1. オンシツセッテイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4-1.ｵﾝｼﾂｾｯﾃｲ
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
```

＜音質設定画面＞

4. 音質を設定する。

・選択上、下ボタンで音質を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『ハイ - スタンダード - モノラル』：44.1 kHz LPCM
『スタンダード - モノラル』　　：22.05 kHz LPCM
『ハイ - ロング - モノラル』　　：44.1 kHz μ-law
『ロング - モノラル』　　：22.05 kHz μ-law
（工場出荷時：『スタンダード - モノラル』）
・音質が確定し、自動的に CM ファイルメニュー画面に戻ります。

step2：録音をする

最大 999 個の CM ファイルを作成できます。

1. 録音待機画面を表示する。

CM ファイルメニュー画面から、『4-2. ロクオン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
4-2.ﾛｸｵﾝ
```

＜ CM ファイルメニュー画面＞

```
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
ﾛｸｵﾝｶｲｼｼﾏｽ ［ｹｯﾃｲ］
```

step1 で設定した録音音質が表示されます。

＜録音待機画面＞

2. 録音を開始する。

録音待機画面表示時に決定 / 実行ボタンを押します。

```
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
ｹｲｶ　0:00:00 ［ﾃｲｼ］
```

＜録音中画面＞

メモ

- 録音中に選択上、下ボタンを押すと、録音残時間画面に切り換わります。

```
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ-ﾓﾉﾗﾙ
ﾉｺﾘ　0:43:29 ［ﾃｲｼ］
```

＜録音残時間画面＞

- CM ファイル、CM プレイリストに空きが無い場合は、『* アキファイルナシ』または『* アキプレイリストナシ』と表示され、『4.CM ファイルメニュー』画面に戻ります。
- CM ファイルを消去しても、CM プレイリスト番号に空きがないと録音ができません。不要な CM プレイリストを消去してください。（☞ 114 ページ「CM プレイリストを消去する」参照）

3. 録音を停止する。

録音中画面表示時に戻る / 停止ボタンを押し、録音を停止します。

メモ

- メモリーカードの空き容量が無くなると、自動的に録音が停止します。

```
*ｱｷﾖｳﾘｮｳｶﾞﾀﾘﾏｾﾝ
ﾛｸｵﾝﾖ  ﾃｲｼｼﾏｼﾀ ［ｹｯﾃｲ］
```

4. 録音した CM ファイルを試聴する。

- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『イイエ』を選択すると、試聴せずに手順 **6.** の保存確認画面が表示されます。

```
ﾛｸｵﾝﾃﾞｷﾏｼﾀ
ｼﾁｮｳｼﾏｽｶ?  ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜試聴選択画面＞

5. 試聴を終了する。

- 最後まで試聴すると、再試聴確認画面が表示されます。
- 再試聴確認画面で『イイエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、保存確認画面（手順 **6.**）が表示されます。
- 『ハイ』を選択すると、再度、再生します。

```
ﾓｳｲﾁﾄﾞｻｲｾｲ?
ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜再試聴選択画面＞

メモ

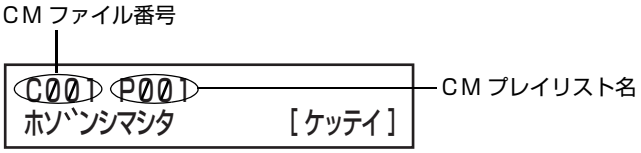
- 試聴時の音声は、本機内蔵モニタースピーカー、ヘッドホン端子、ライン出力端子から出力されます。
  ただし、本機背面の制御出力の CM アンプ電源端子は制御信号を出力しません。
- 試聴中に戻る / 停止ボタンを押すと、保存確認画面（手順 **6.**）が表示されます。

6. 保存をする。

- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。保存が終了し、保存終了画面が表示されます。
- 保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押すと、録音待機画面に戻ります。
  次の CM ファイルを録音する場合は、決定 / 実行ボタンを押すと録音を開始します。

```
ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?
ﾊｲ/ﾛｸｵﾝﾔﾘﾅｵｼ
```

＜保存確認画面＞



＜保存終了画面＞

メモ

- 保存確認画面で『ロクオンヤリナオシ』を選択すると、保存をせずに録音待機画面に戻ります。
- CM プレイリスト名は、任意の名前に変更できます。
  （☞ 104 ページ「**CM プレイリスト名を変更する**」参照）

7. 録音を終了する。

録音待機画面で戻る / 停止ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

Step3:BGM プレイリストを作成する

・BGM プレイリストに対して、各設定を行います。
・BGM プレイリストは最大 499 個(P501 ～ P999)作成できます。

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー
プレイリスト名	カタカナ、アルファベットなど	P501 ～ P999	『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-1. プレイリストメイ』
BGM ファイル番号	B001 ～ B999	−	『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-2. プレイリストサクセイ』
ファイル音量	0 ～ 10	8	
ブランク時間	0秒～99分　0.5 秒毎に設定	00:00.0	
再生音量	0 ～ 9	9	『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-3. サイセイオンリョウ』

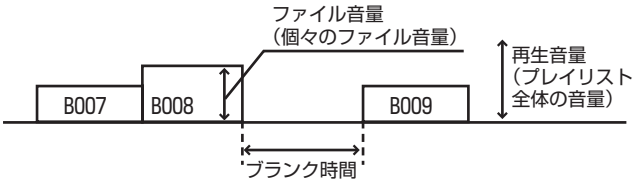
プレイリスト名　:下記の文字から最大 8 文字で名前を変更できます。
・カタカナ
・アルファベット　小文字、大文字
・数字
・記号(^、#、$、%、&、(、)、¯、_、{ 、 }、!)
・空欄

BGM ファイル番号:再生したい BGM ファイル番号を順番に登録します。
ひとつの BGM プレイリストに最大 100 ファイル登録できます。
チャイム音など、共通で使用する BGM ファイルは複数の BGM プレイリストに登録することができます。

ブランク時間　:BGM ファイル再生時、次の BGM ファイル再生開始までのブランク時間(間隔)を設定します。
ミュージックを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
※プレイリストを繰り返し再生するときの再生間隔を設定するときは、起動番号設定の「再生インターバル」で設定します。
(☞ 116 ページ)

ファイル音量　:各 BGM ファイルの音量ばらつきを調整する場合や、意図的に一部の BGM ファイル音量を変えたいときなどに設定します。

再生音量　:プレイリスト全体の音量を設定します。



・BGM プレイリストの設定を行う前に、下記の記入例を参考にプレイリスト設定シートを作成してください。
プレイリスト設定シートはコピーしてお使いください。(☞ 157 ページ)

BGM プレイリスト設定シート記入例

プレイリスト番号	P501			
プレイリスト名	ラジオタイソウ			
メッセージ番号 または ミュージック番号	ファイル番号	音量	ブランク時間	内　容
001	B007	7	00:00. 0	チャイム　上り 3 音
002	B008	6	00:00. 5	ラジオ体操第一(号令入り)
003	B009	7	(※)	チャイム　下り 3 音

※ BGM プレイリストの最終ミュージックに設定した「ブランク時間」は無効となります。

BGM ファイルの作成について

- BGM ファイルは、デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア(PA-ZS600A, 別供給品)を使って作成します。
- BGM ファイルの購入を希望する場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

BGM プレイリストの再生例

・BGM ファイルを BGM プレイリストにミュージックとして登録することで、複数の BGM ファイルを組み合わせて放送することができます。
・BGM　プレイリスト作成、パターンまたは制御入力の各種設定によりさまざまな放送ができます。

用語について

CM ファイル　：録音した音声データ。(C001 ～ C999)

BGM ファイル：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)

メッセージ　：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック　：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト　：CM プレイリスト(P001 ～ P499)：再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ～ P999)：再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

■複数のミュージックを組み合わせて、ひとつのミュージックとして再生する

1 回の起動で、複数のミュージックで構成した BGM プレイリストを続けて再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-9. 制御入力」	119
ブランク時間	ミュージック 001：0 秒 ミュージック 002：3 秒	「3-1-2. プレイリスト作成」	52

BGMプレイリスト再生例

メモ

- パターンの設定(タイマー制御)では、「再生モード」は常に連続再生に設定されます。

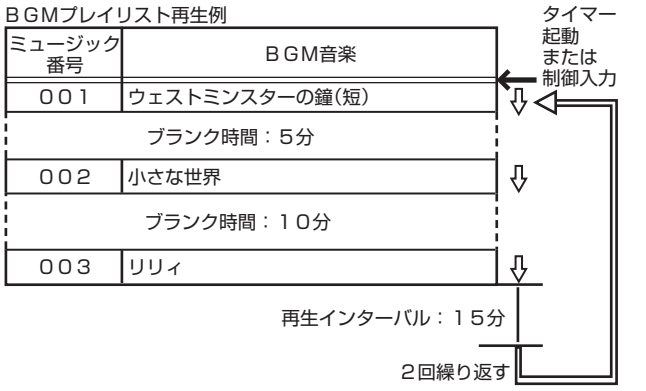
■複数のミュージックを、時間の間隔を空けて繰り返して再生する

1 回の起動で、複数のミュージックを任意の時間を空けて、繰り返して再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-9. 制御入力」 ※制御入力による再生	116
再生回数	2 回		
再生インターバル	15 分		
再生回数	2 回	「3-3-2. パターン作成」 ※タイマー制御による再生	72
再生インターバル	15 分		
シャッフル	オフ		
ブランク時間	ミュージック 001：5 分 ミュージック 002：10 分	「3-1-2. プレイリスト作成」	52

BGMプレイリスト再生例



メモ

- パターンの設定(タイマー制御)では、開始・終了時間を指定すると、その間プレイリストの再生を繰り返します。

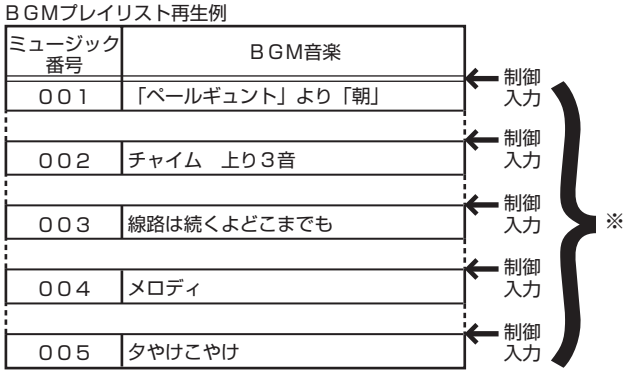
■再生する順番が決まっているミュージックを、起動が入るごとに放送する

起動が入るごとに、BGM プレイリスト内のミュージックを 1 つづつ順番に再生します。

設定例(制御入力を使用して再生する場合)

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	単独再生	「3-9. 制御入力」	116

BGMプレイリスト再生例

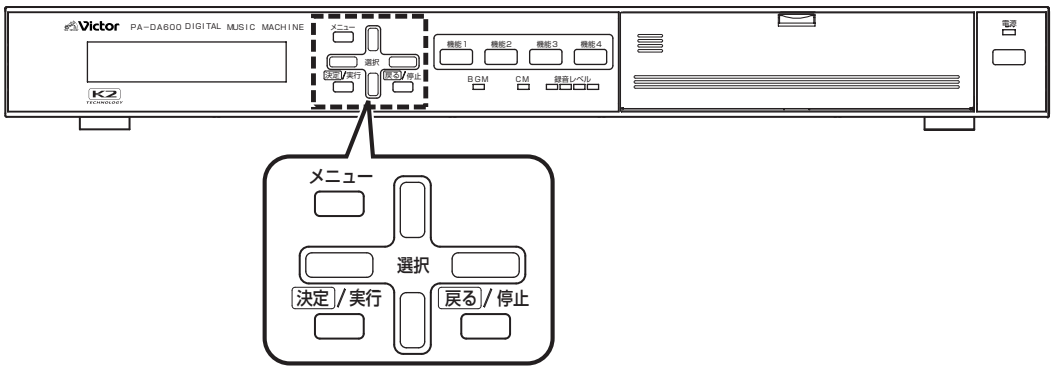


※ 制御入力が入るごとにミュージックを1つずつ再生

メモ

- パターンの設定(タイマー制御)では、「再生モード」は常に連続再生に設定されます。

Step3:BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

新規のBGMプレイリストを作成する

・ミュージック登録をし、BGM　プレイリストの作成を行います。
・1つの BGM プレイリストには最大 100 個のミュージックが登録できます。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

*3.*BGM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ
```

< BGM プレイリストメニュー画面>

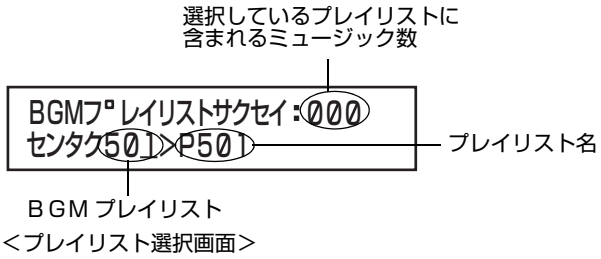
▼

```
BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:000
ｾﾝﾀｸ501>P501
```

< BGM プレイリスト選択画面>

4. ミュージック登録されていないBGMプレイリストを選択する。

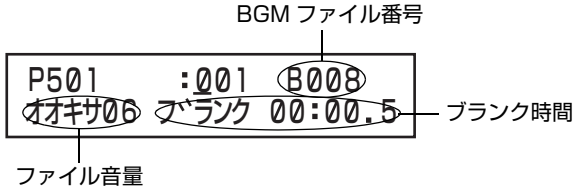
・選択上、下ボタンで作成する ＢGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、ＬＣＤ 画面に『シンキツイカシマス』と約 10 秒表示されます。



＜プレイリスト選択画面＞

5. ミュージックを設定する。

・選択左、右ボタンで設定項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・設定の終了後、決定 / 実行ボタンを押し、設定内容を確定します。



＜ミュージック設定画面＞

BGM ファイル番号　:再生する BGM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する BGM ファイルを複数の BGM プレイリストに登録することができます。

ファイル音量　:ＢGM プレイリストに登録した各 ＢGM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の ＢGM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-1-3. 再生音量」で設定します。
（工場出荷時:『8』）

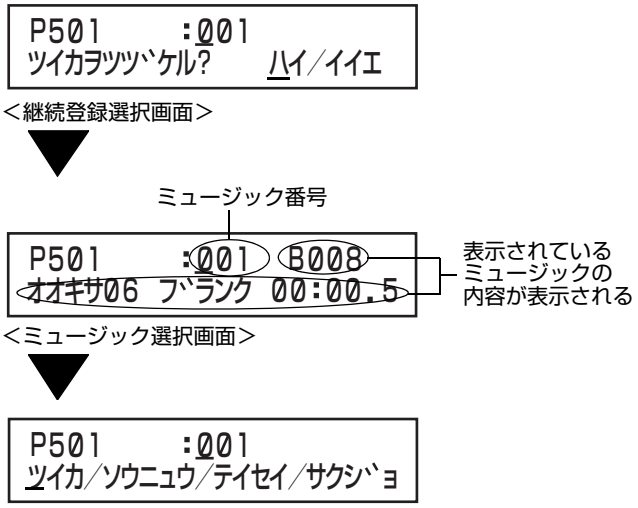
ブランク時間（分 / 秒 / コンマ５秒）　:ＢGM ファイル再生時、次の ＢGM ファイル再生開始までのブランク（間隔）時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。ミュージックを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
（工場出荷時:『00:00. 0』）

メモ

- 続けてミュージック登録をせずに登録を終了する場合は、手順 ***7.*** へ進みます。

6. 続けてミュージック登録をする。

・継続登録確認画面から、選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・ミュージック選択画面から、選択上、下ボタンで追加したいミュージックの前または後ろのミュージック番号を選択します。
・ミュージック項目選択画面から、選択左、右ボタンで『ツイカ』または『ソウニュウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『ツイカ』または『ソウニュウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、ミュージック設定画面が表示されます。（手順 ***5.***）を参照）



『ツイカ』　:ミュージック選択画面で選択したミュージックの後ろに新規ミュージックが登録されます。

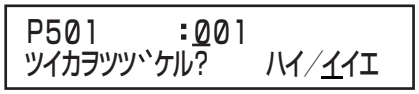
『ソウニュウ』:ミュージック選択画面で選択したミュージックの前に新規ミュージックが登録されます。

メモ

- ミュージックがすでに 100 個あるときは、ミュージックを新規登録できません。『* ステップスウガサイダイデス』と、約 10 秒表示され、ミュージック項目選択画面に戻ります。

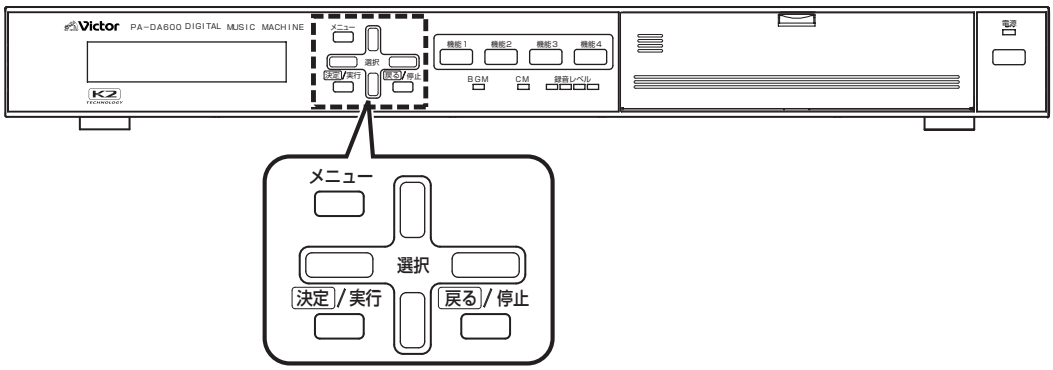
7. ミュージック登録を終了する。

継続登録確認画面から、選択左、右ボタンで『イイエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜継続登録選択画面＞

Step3:BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト名を変更する

・プレイリスト名は最大8文字まで入力可能です。
・工場出荷時のプレイリスト名は"P+ 3桁の数字"(例:『P501』)で設定されています。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

*3.*BGM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.BGMプレイリスト』→『3-1-1.プレイリストメイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

< BGM プレイリストメニュー画面>

▼

```
3-1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
ｾﾝﾀｸ501>P501
```

< BGM プレイリスト選択画面>

4. 名前をつけたい BGM プレイリストを選択する。

選択上、下ボタンで、名前をつけたいBGMプレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
ｾﾝﾀｸ501>P501
```

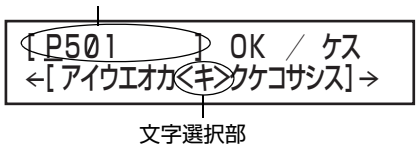
プレイリスト名

BGM プレイリスト番号

< BGM プレイリスト選択画面>

5. 選択したプレイリストの名前を変更する。

・文字選択部から任意の文字を選択して入力します。
・選択上、下ボタンでカーソルを「文字選択部」⇔「OK」⇔「ケス」⇔「プレイリスト名表示部」の順に移動できます。



プレイリスト名表示部 ：文字選択部から選択した任意の文字をカーソル（_）のある位置に挿入します。選択左、右ボタンでカーソルの位置を移動します。

『OK』 ：入力が終了したら、『OK』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部の内容を確定します。

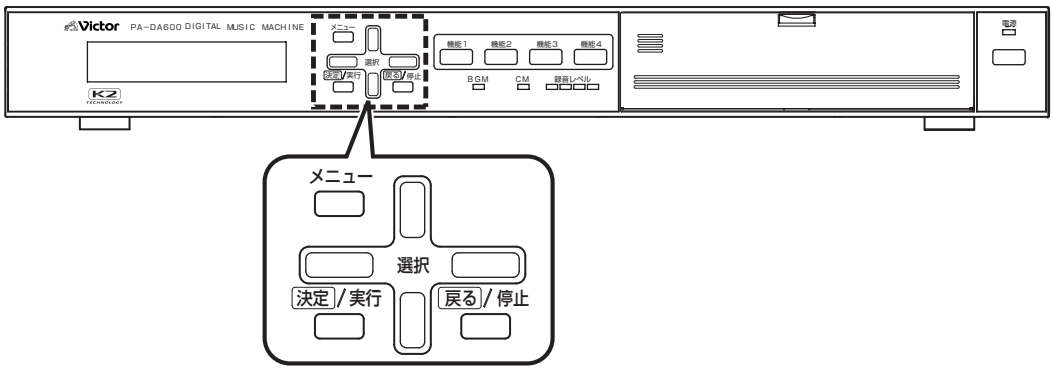
『ケス』 ：『ケス』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置の文字が削除されます。

文字選択部 ：文字を選択するときは、選択上、下ボタンでカーソルを文字選択部に移動し、選択左、右ボタンで文字を選択します。画面中央の＜＞カーソル内にある文字が現在選択されている文字です。決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置に入力されます。

6. プレイリスト名を確定する。

・入力が終了したら、『ＯＫ』を選択して決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押さずに、戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト名を確定せずに BGM プレイリスト選択画面に戻ります。
・入力したプレイリスト名が確定すると、自動的に BGM プレイリスト選択画面に戻ります。

Step3:BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミュージックを追加する

・ミュージックを追加し、BGM　プレイリストの設定を行います。
・1つの BGM プレイリストには最大 100 個のミュージックが登録できます。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3.BGM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ
```

< BGM プレイリストメニュー画面>

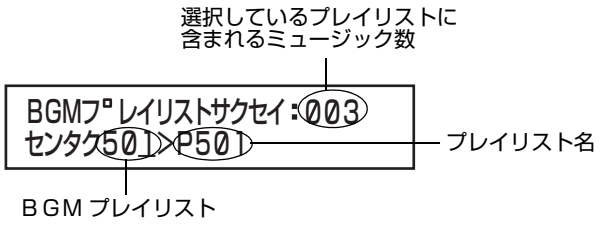
▼

```
BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:003
ｾﾝﾀｸ501>P501
```

< BGM プレイリスト選択画面>

4. 設定する BGM プレイリストを選択する。

選択上、下ボタンで作成する BGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



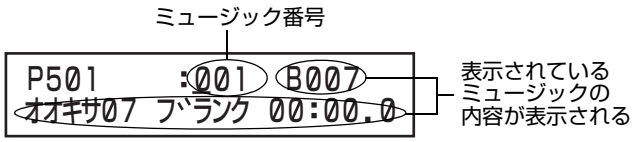
＜プレイリスト選択画面＞

メモ

- 選択したBGMプレイリストに１つもミュージックが登録されていない場合は、約１０秒『シンキツイカシマス』と表示され、自動的にミュージック設定画面(手順 ***7.***)が表示されます。

5. 追加したいミュージックの前または後ろのミュージック番号を選択する。

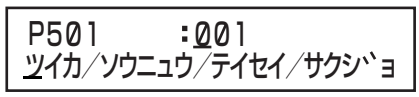
選択上、下ボタンでミュージック番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜ミュージック選択画面＞

6. ミュージック項目を選択する。

『ツイカ』または『ソウニュウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜ミュージック項目選択画面＞

『ツイカ』　:手順 ***5.*** で選択したミュージックの後ろに新規ミュージックが登録されます。

『ソウニュウ』:手順 ***5.*** で選択したミュージックの前に新規ミュージックが登録されます。

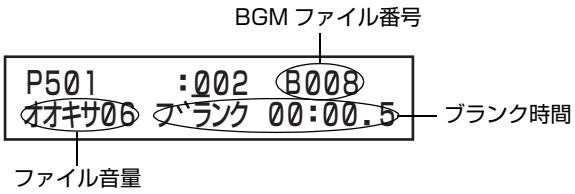
メモ

- ミュージックがすでに 100 個あるときは、ミュージックを新規登録できません。『* ステップスウガサイダイデス』と、約10秒表示され、ミュージック項目選択画面(手順 ***6.***)に戻ります。

7. ミュージックを設定する。

・選択左、右ボタンで設定項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。

・設定の終了後、決定 / 実行ボタンを押し、設定内容を確定します。



＜ミュージック設定画面(例:手順 ***6.*** で『ツイカ』を選択した場合)＞

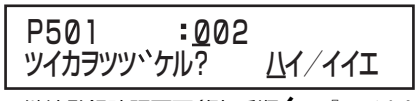
BGM ファイル番号　:再生する BGM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する BGM ファイルを複数の BGM プレイリストに登録することができます。

ファイル音量　:BGM プレイリストに登録した各 BGM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の BGM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-1-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)

ブランク時間(分 / 秒 / コンマ５秒)　:BGM ファイル再生時、次の BGM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。ミュージックを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00. 0』)

メモ

- 設定内容を確定すると、継続登録確認画面が表示されます。『ハイ』または『イイエ』を選択し、決定/実行ボタンを押してください。

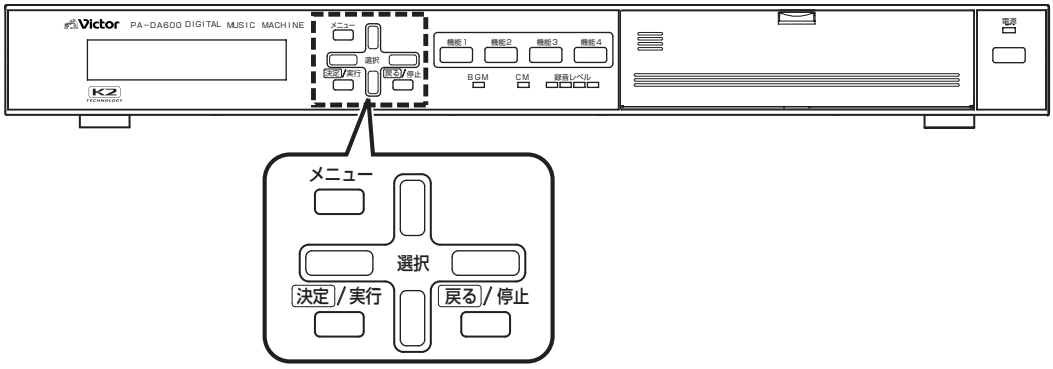


＜継続登録確認画面(例:手順 ***6.*** で『ツイカ』を選択した場合)＞

『ハイ』　:ミュージックを続けて登録します。ミュージック設定画面(手順 ***7.***)に戻ります。

『イイエ』:ミュージック登録を終了します。ミュージック選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。

Step3:BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミュージックを修正する

選択したミュージックの設定内容を修正します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3.BGM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ
```

< BGM プレイリストメニュー画面>

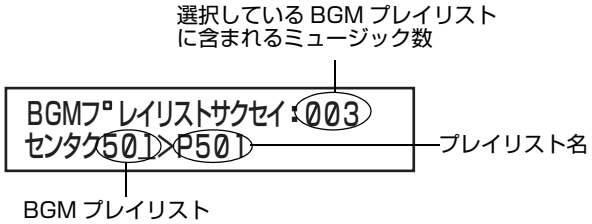
▼

```
BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:003
ｾﾝﾀｸ501>P501
```

< BGM プレイリスト選択画面>

4. 修正したいミュージックが登録されているBGMプレイリストを選択する。

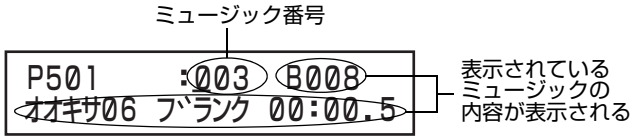
選択上、下ボタンで修正する BGM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



< BGM プレイリスト選択画面>

5. 修正するミュージック番号を選択する。

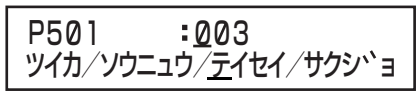
ミュージック番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<ミュージック選択画面>

6. ミュージック項目を選択する。

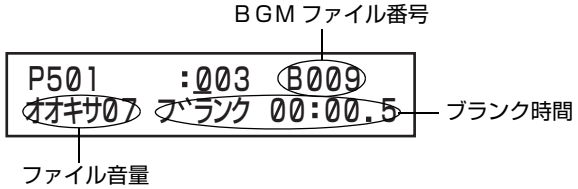
『テイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<ミュージック項目選択画面>

7. ミュージックを修正する。

・選択左、右ボタンで修正する項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・修正終了後、決定 / 実行ボタンを押し、修正内容を確定します。



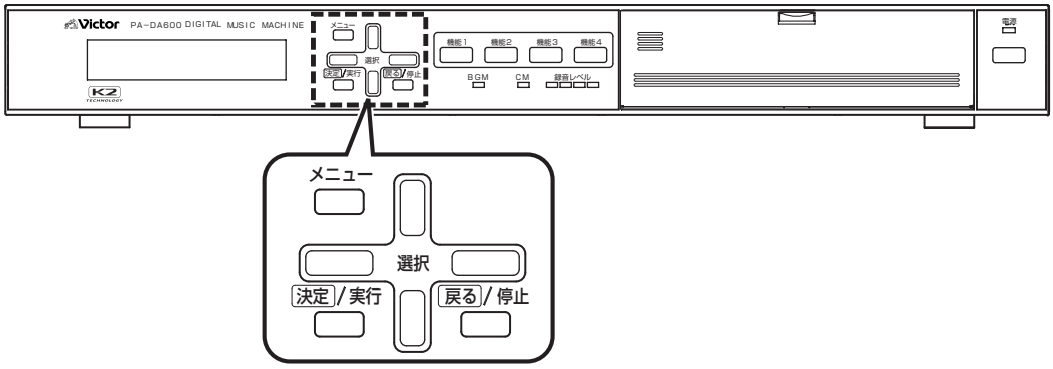
<ミュージック設定画面(例:手順 **6.** で『テイセイ』を選択した場合)>

BGM ファイル番号 :再生する BGM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する BGM ファイルを複数の BGM プレイリストに登録することができます。

ファイル音量 :BGM プレイリストに登録した各 BGM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の BGM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※ BGM プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-1-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)

ブランク時間(分 / 秒 / コンマ 5 秒) :BGM ファイル再生時、次の BGM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。ミュージックを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてミュージックを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00. 0』)

Step3：ＢＧＭ プレイリストを設定する（つづき）



用語について

ＣＭ ファイル	：録音した音声データ。(C001 ～ C999)
ＢＧＭ ファイル	：ＢＧＭ 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	：再生する ＣＭ ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	：再生する ＢＧＭ ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	：ＣＭ プレイリスト（P001 ～ P499）： 再生させるメッセージを登録したリスト（一覧）のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 ＢＧＭ プレイリスト（P501 ～ P999）： 再生させるミュージックを登録したリスト（一覧）のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミュージックを削除する

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

*3.*BGM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.ＢＧＭプレイリスト』→『3-1-2.プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ
```

＜ ＢＧＭ プレイリストメニュー画面＞

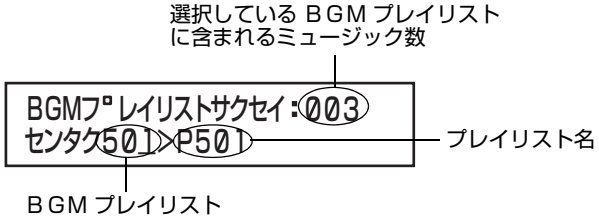
▼

```
BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:003
ｾﾝﾀｸ501>P501
```

＜ BGM プレイリスト選択画面＞

4. 削除したいミュージックが登録されている ＢＧＭプレイリストを選択する。

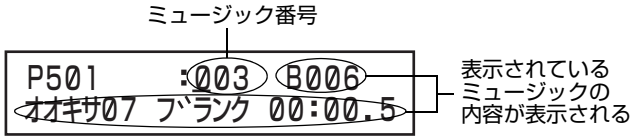
選択上、下ボタンで修正するＢＧＭプレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜ BGM プレイリスト選択画面＞

5. 削除するミュージック番号を選択する。

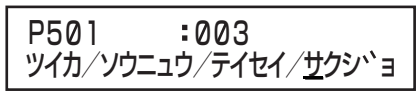
ミュージック番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜ミュージック選択画面＞

6. ミュージック項目を選択する。

『サクジョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



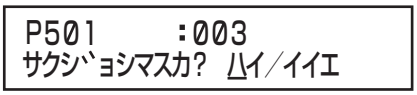
＜ミュージック項目選択画面＞

7. ミュージックを削除する。

・ミュージック削除選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

・ミュージックが削除されると、ミュージック選択画面（手順 ***5.***）に戻ります。

・削除を中止する場合は、『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押します。削除を中止すると、ミュージック項目選択画面（手順 ***6.***）に戻ります。

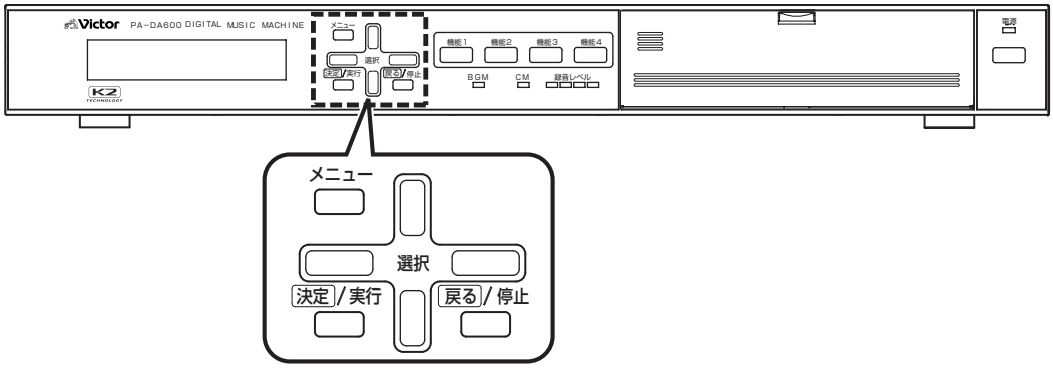


＜ミュージック削除確認画面＞

メモ

- 選択したミュージックを削除し、プレイリスト選択画面に戻ると、削除したミュージックの次のミュージックの番号が繰り上がって表示されます。

Step3：ＢＧＭ プレイリストを設定する（つづき）

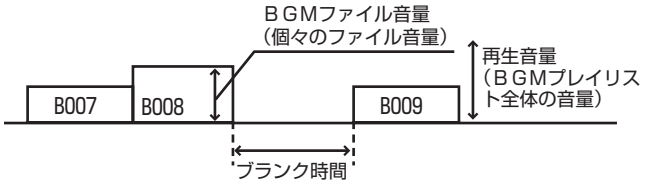


用語について

ＣＭ ファイル	：録音した音声データ。(C001 ～ C999)
ＢＧＭ ファイル	：ＢＧＭ 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	：再生する ＣＭ ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	：再生する ＢＧＭ ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	：ＣＭ プレイリスト（P001 ～ P499）： 再生させるメッセージを登録したリスト（一覧）のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 ＢＧＭ プレイリスト（P501 ～ P999）： 再生させるミュージックを登録したリスト（一覧）のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

再生音量レベルを設定する

ＢＧＭ プレイリスト全体の音量を設定します。



1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

*3.*BGM プレイリスト選択画面を表示する。

・プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.ＢＧＭ プレイリスト』→『3-1-3. サイセイオンリョウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・ミュージックが登録されていない ＢＧＭ プレイリストは表示されません。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-3.ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ
```

＜ＢＧＭ プレイリストメニュー画面＞

```
3-1-3.ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ
ｾﾝﾀｸ501>P501      :09
```

現在の出力レベル

＜BGM プレイリスト選択画面＞

4. 出力レベルを設定する。

・選択上、下ボタンで0～9の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押し、出力レベルを確定すると、BGM プレイリスト選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。
・戻る / 停止ボタンを押すと、出力レベルを変更せずに BGM プレイリスト選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。

```
ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ P501
ｵｵｷｻ:07
```

<出力レベル設定画面>

『オオキサ』:BGM プレイリストの再生音量を設定します。
0(最小音量)～9(最大音量)の範囲で設定します。
(工場出荷時:『9』)

BGM プレイリストをコピーする

下記は説明例として、P501『ラジオタイソウ』の BGM プレイリストを P502 にコピーする手順を説明しています。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. コピー元プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.BGMプレイリスト』→『3-1-4.プレイリストコピー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-4.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｺﾋﾟｰ
```

< BGM プレイリストメニュー画面>

▼

```
3-1-4.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰﾓﾄ 501>ﾗｼﾞｵﾀｲｿｳ
```

プレイリスト名

BGM プレイリスト番号

<コピー元プレイリスト選択画面>

メモ

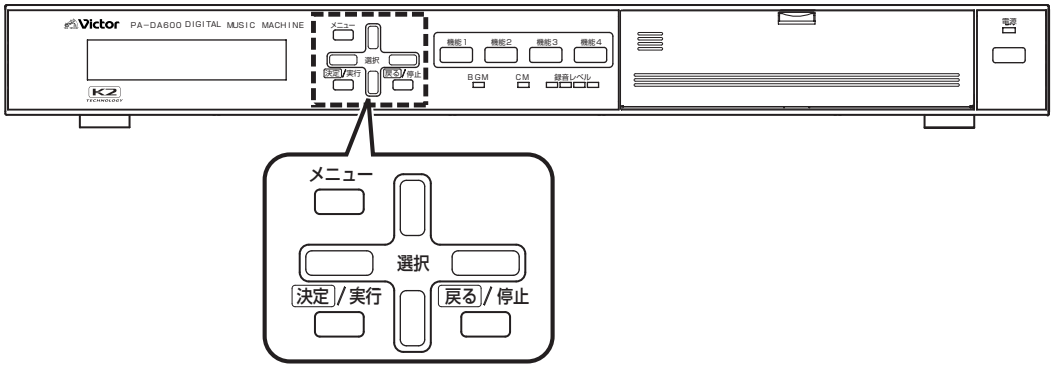
- 下記の状態の場合は、コピーすることができません。
  - すでに 499 個の BGM プレイリストが作成されている場合。LCD 画面に約 10 秒間『* アキプレイリストナシ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。
  - プレイリスト名が表示されないプレイリストは未設定のためコピーできません。LCD 画面に約 10 秒間『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』と表示し、コピー元プレイリスト選択画面に戻ります。

4. コピー元のプレイリストを選択してコピーする。

・選択上、下ボタンで、コピーする BGM プレイリストを選択して決定 / 実行ボタンを押すと、コピーを実行します。
・戻る / 停止ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。
・一番小さい空きプレイリスト番号に自動的にコピーされます。
・コピーが終了すると、LCD 画面に約10秒間『コピーシマシタ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。

```
ｺﾋﾟｰｼﾏｼﾀ
ｺﾋﾟｰｻｷ 502>ﾗｼﾞｵﾀｲｿｳ
```

Step3:BGM プレイリストを設定する(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリストを消去する

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. BGM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-1.BGM プレイリスト』→『3-1-5. プレイリストショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-1-5.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｼｮｳｷｮ
```

< BGM プレイリストメニュー画面>

▼

```
3-1-5.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｼｮｳｷｮ
ｾﾝﾀｸ 501>P501
```

< BGM プレイリスト選択画面>

4. 消去する BGM プレイリストを選択する。

選択上、下ボタンで消去する BGM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-1-5.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｼｮｳｷｮ
ｾﾝﾀｸ 501>P501
```

プレイリスト名

BGM プレイリスト番号

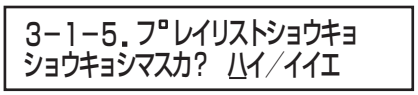
<プレイリスト選択画面>

5. 消去をする。

・消去確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去せずに ＢGM プレイリスト選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。

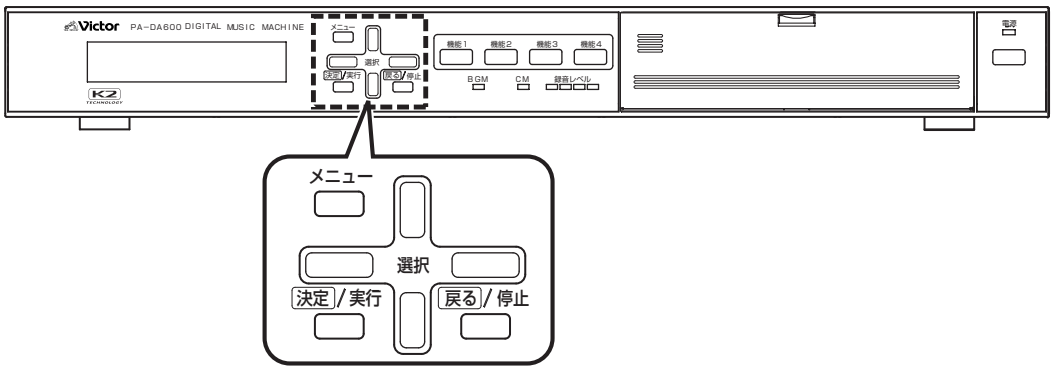
・ＢGM プレイリストを消去すると、LCD 画面に約 10 秒『ショウキョシマシタ』と表示し、ＢGM プレイリスト選択画面に戻ります。



＜消去確認画面＞

Step4: 再生をする

・録音済みの各 CM ファイルや各 BGM ファイル、および作成したプレイリストを試聴することができます。
・音声は、下記の出力で確認できます。
  ・ 本機内蔵のモニタースピーカー
  ・ ヘッドホン端子
  ・ ライン出力端子（モノラル /L 端子および R 端子）



用語について

CM ファイル	：録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	：CM プレイリスト(P001 ～ P499)： 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999)： 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM プレイリストを再生する

CM プレイリストに登録されている CM ファイルをすべて再生します。

ご注意

- 再生モード(連続/単独)、再生回数、シャッフルなどの設定は、プレイリストに対する設定ではありませんので、「1. 再生メニュー」での再生では反映されません。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する。

メインメニューから『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.サイセイメニュー
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

3. BGM/CM 選択画面を表示する。

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-1. プレイリストサイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.サイセイメニュー
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

▼

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM 選択画面>

4. BGM/CM 選択画面で『CM』を選択する。

選択左、右ボタンで『CM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM 選択画面>

5. プレイリスト選択画面で再生するCMプレイリストを選択する。

選択上、下ボタンでCMプレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ 001>P001
```

<プレイリスト選択画面>

メモ

- 選択したCMプレイリストにメッセージ(ファイル)が登録されていない場合は、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』と表示され、プレイリスト選択画面に戻ります。

6. 再生する音量を設定する。

選択上、下ボタンで0(小音量)～9(大音量)の値に設定し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時:『9』)

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｵｵｷｻ 9
```

<音量設定画面>

7. 再生回数を選択する。

選択左、右ボタンで、『1 カイ』または『リピート』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:1ｶｲ/ﾘﾋﾟｰﾄ
```

<再生回数選択画面>

8. 再生をする。

・再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『モドル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト選択画面に戻ります。

```
CM:P001
ｻｲｾｲ/ﾓﾄﾞﾙ
```

<再生選択画面>

メモ

- 再生中に次のメッセージにスキップしたい場合は、再生中画面で『ススム』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 再生中のメッセージを最初から試聴したい場合は、再生中画面で『モドル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。再生中のメッセージの一つ前のメッセージに戻りたい場合は、『モドル』を選択し、決定/実行ボタンを2回続けて押します。

```
CM:P001 C001   R
ｻｲｾｲ←ﾓﾄﾞﾙ/ﾃｲｼ/ｽｽﾑ→
```

<再生中画面>

- 手順 **6.** で再生回数を『リピート』に設定している場合、LCD 画面の右上に『R』と表示されます。

```
CM:P001 C001  (R)
ｻｲｾｲ←ﾓﾄﾞﾙ/ﾃｲｼ/ｽｽﾑ→
```

(R) — リピート再生表示

- エラーが発生したときは、『* エラー』と表示されます。

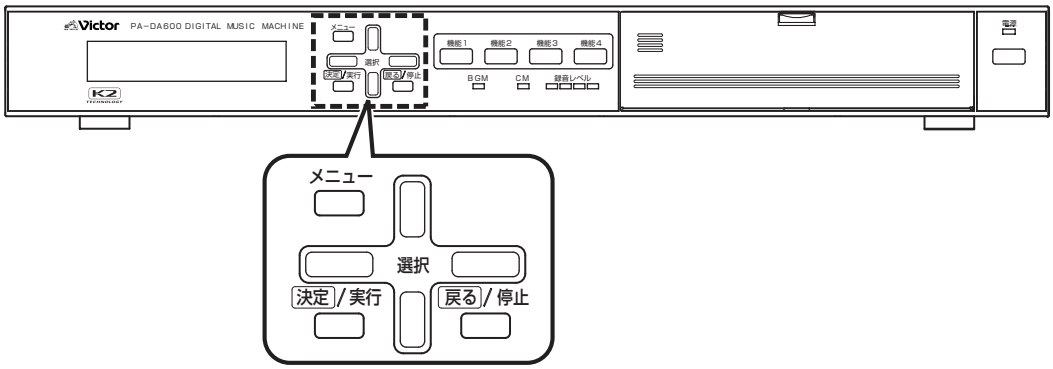
9. 再生を停止する。

・再生中画面で『テイシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・再生を終了し、プレイリスト選択画面に戻ります。

```
CM:P001 C001   R
ｻｲｾｲ←ﾓﾄﾞﾙ/ﾃｲｼ/ｽｽﾑ→
```

<再生中画面>

Step2: 再生をする(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリストを再生する

・BGM プレイリストに登録されている BGM ファイルをすべて再生します。
・再生するには、あらかじめ BGM ファイルを、BGM プレイリストにミュージック登録する必要があります。
(☞ 46 ページ「Step3:BGM プレイリストを作成する」参照)

ご注意

- 再生モード(連続/単独)、再生回数、シャッフルなどの設定は、プレイリストに対する設定ではありませんので、「1. 再生メニュー」での再生では反映されません。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する。

メインメニューから『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

3. BGM/CM 選択画面を表示する。

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-1. プレイリストサイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

▼

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM 選択画面>

4. BGM/CM 選択画面で『BGM』を選択する。

選択左、右ボタンで『BGM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM 選択画面>

5. プレイリスト選択画面で再生する BGM プレイリストを選択する。

選択上、下ボタンで BGM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ 501>P501
```

< BGM プレイリスト選択画面>

メモ

- 選択したBGMプレイリストにミュージック(ファイル)が登録されていない場合は、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』と表示され、BGM プレイリスト選択画面に戻ります。

6. 再生する音量を設定する。

選択上、下ボタンで0(小音量)～9(大音量)の値に設定し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時:『9』)

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｵｵｷｻ 9
```

<音量設定画面>

7. 再生回数を選択する。

選択左、右ボタンで、『1 カイ』または『リピート』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:1ｶｲ/ﾘﾋﾟｰﾄ
```

<再生回数選択画面>

8. 再生をする。

・再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『モドル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト選択画面に戻ります。

```
BGM:P501
ｻｲｾｲ/ﾓﾄﾞﾙ
```

<再生選択画面>

メモ

- 再生中に次のミュージックにスキップしたい場合は、再生中画面で『ススム』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 再生中のミュージックを最初から試聴したい場合は、再生中画面で『モドル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。再生中のミュージックの一つ前のミュージックに戻りたい場合は、『モドル』を選択し、決定/実行ボタンを２回続けて押します。

```
BGM:P501 B001 R
ｻｲｾｲ←ﾓﾄﾞﾙ/ﾃｲｼ/ｽｽﾑ→
```

<再生中画面>

- 手順 **6.** で再生回数を『リピート』に設定している場合、LCD 画面の右上に『R』と表示されます。

```
BGM:P501 B001 (R)
ｻｲｾｲ←ﾓﾄﾞﾙ/ﾃｲｼ/ｽｽﾑ→
```

リピート再生表示

- エラーが発生したときは、『* エラー』と表示されます。

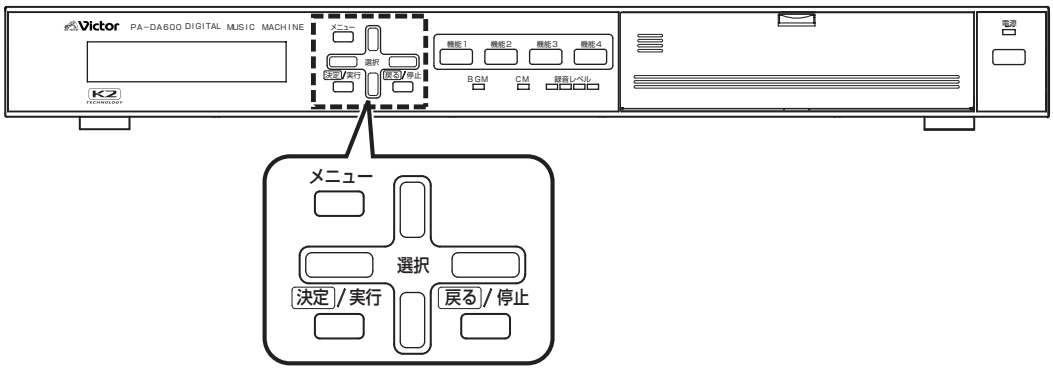
9. 再生を停止する。

・再生中画面で『テイシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・再生を終了し、プレイリスト再生選択画面に戻ります。

```
BGM:P501 B001 R
ｻｲｾｲ←ﾓﾄﾞﾙ/ﾃｲｼ/ｽｽﾑ→
```

<再生中画面>

Step2: 再生をする(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM ファイルを再生する

選択した CM ファイルのみを再生します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

3. BGM/CM ファイル選択画面を表示する。

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-2. ファイルサイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-2.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

▼

```
1-2.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM ファイル選択画面>

4. BGM/CM ファイル選択画面で『CM』を選択する。

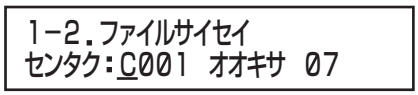
選択左、右ボタンで『CM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-2.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM ファイル選択画面>

5.ファイル再生選択画面でファイル番号と音量を設定する。

・選択左、右ボタンで項目(『センタク』または『オオキサ』)を選択し、選択上、下ボタンで設定します。
・設定が終わったら、決定 / 実行ボタンを押します。
『センタク』:再生したい CM ファイル番号を選択します。
『オオキサ』:音量を設定します。0(小音量)～ 9(大音量)
(工場出荷時:『07』)



<ファイル再生選択画面>

6.CM ファイルを再生する。

・再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『モドル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ファイル再生選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。

< 再生選択画面>

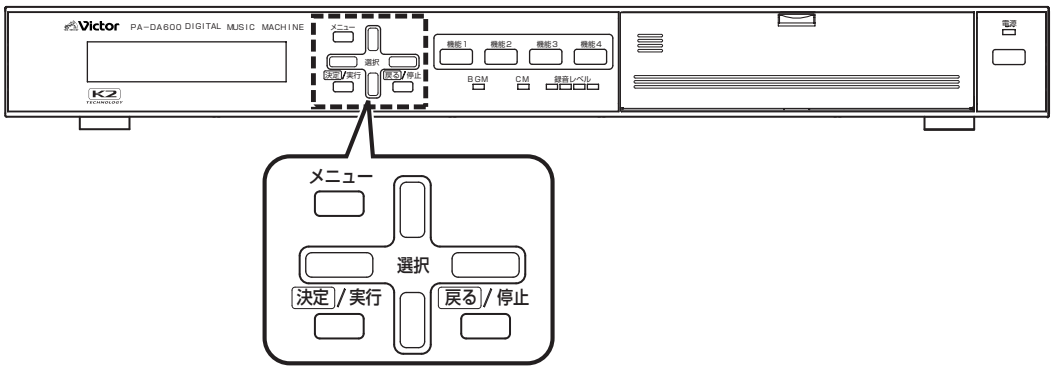
メモ

- 存在していないファイル番号を選択した場合、『* ファイルエラー』と表示されます。

7. ファイルの再生を終了する。

・最後まで再生すると、自動的にファイル再生選択画面に戻ります。
・ファイルの再生中に戻る / 停止ボタンを押すと、再生を停止し、ファイル再生選択画面に戻ります。

Step2: 再生をする(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM ファイルを再生する

選択した BGM ファイルのみを再生します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 再生メニュー画面を表示する。

メインメニューから『1. サイセイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

3. BGM/CM ファイル選択画面を表示する。

再生メニュー画面から、選択上、下ボタンで『1-2. ファイルサイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1.ｻｲｾｲﾒﾆｭｰ
1-2.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
```

<再生メニュー画面>

▼

```
1-2.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM ファイル選択画面>

4. BGM/CM ファイル選択画面で『BGM』を選択する。

選択左、右ボタンで『BGM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
1-2.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM ファイル選択画面>

5.ファイル再生選択画面でファイル番号と音量を設定する。

・選択左、右ボタンで項目(『センタク』または『オオキサ』)を選択し、選択上、下ボタンで設定します。
・設定が終わったら、決定 / 実行ボタンを押します。
『センタク』:再生したい BGM ファイル番号を選択します。
『オオキサ』:音量を設定します。0(小音量)～ 9(大音量)
(工場出荷時:『07』)

```
1-2.ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ
ｾﾝﾀｸ:B001  ｵｵｷｻ  07
```

<ファイル再生選択画面>

6.BGM ファイルを再生する。

・再生選択画面で『サイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『モドル』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ファイル再生選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。

```
ﾌｧｲﾙｻｲｾｲ  B001
ｵｵｷｻ  07  ｻｲｾｲ/ﾓﾄﾞﾙ
```

< 再生選択画面>

メモ

- 存在していないファイル番号を選択した場合、『* ファイルエラー』と表示されます。

7. ファイルの再生を終了する。

・最後まで再生すると、自動的にファイル再生選択画面に戻ります。
・ファイルの再生中に戻る / 停止ボタンを押すと、再生を停止し、ファイル再生選択画面に戻ります。

Step5: 設定した内容を保存する

・設定内容をメモリーカードに保存します。
・設定が終わったら必ずメモリーカードに保存してください。保存しないと、設定した内容を実行することができません。
・保存せずに本機の電源を切断すると、設定した内容は消えてしまいます。

1. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

2. 保存確認画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-10. データホゾン(CF)』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-10.ﾃﾞｰﾀﾎｿﾞﾝ (CF)
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-10.ﾃﾞｰﾀﾎｿﾞﾝ (CF)
ﾃﾞｰﾀﾎｿﾞﾝ  ﾊｲ/ｲｲｴ
```

<保存確認画面>

3. 保存をする。

・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、保存をしないでプログラムメニュー画面に戻ります。

ご注意

- 保存中にメモリーカードを抜かないでください。故障の原因となります。
  保存中は、LCD 画面に『CF ヲヌカナイデクダサイ』と表示されます。

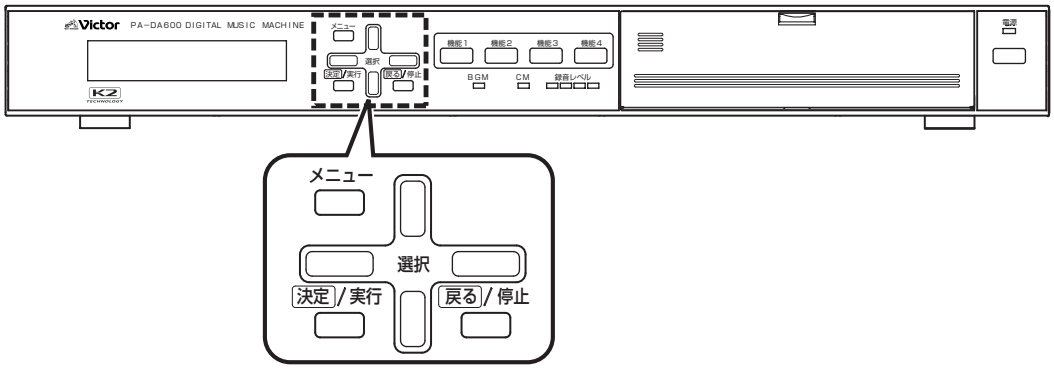
4. 保存を終了する。

・保存が終了し、LCD 画面に『シュウリョウシマシタ』と表示されたら、決定 / 実行ボタンを押します。
・保存が終了し、決定 / 実行ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。

その他の設定

メモ

- 設定中に戻る/停止ボタンを押すと、設定中の内容を確定しないで設定メニュー画面に戻ります。もう一度、戻る/停止ボタンを押すと、メインメニュー画面に戻ります。



CC コンバーター設定

・本機は圧縮音楽データの音質を改善する CC コンバーターを BGM 再生部に搭載しています。
・CC コンバーターの動作を ＯＮ/ＯＦＦ する必要がある場合に動作設定をします。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. CC コンバーター設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-3.CC コンバータ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-3.CCｺﾝﾊﾞｰﾀ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

```
2-3.CCｺﾝﾊﾞｰﾀ
ｵﾝ/ｵﾌ
```

＜ CC コンバーター設定画面＞

4. CC コンバーターの ON/OFF 設定をする。

・選択左、右ボタンで、『オン』、『オフ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『オン』：CC コンバーターを動作させます。
基本的には、『オン』で使用します。
『オフ』：CC コンバーターを停止します。
ON のときとの音の違いを確かめたいときなどに OFF にします。
（工場出荷時：『オン』）
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

BGM 出力、CM 出力のレベルを設定する

BGM、CM、外部入力の再生音量バランスを調節する必要がある場合に設定します。
外部入力レベルの設定については 131 ページをご覧ください。

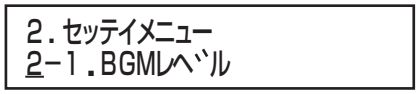
■BGM 出力レベル設定

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

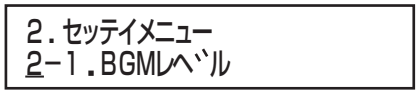
メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



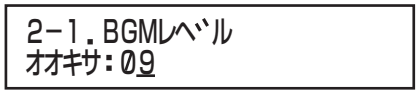
<設定メニュー画面>

3. BGM 出力レベル設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-1.BGM レベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



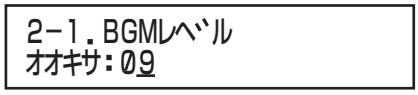
<設定メニュー画面>



< BGM 出力レベル設定画面>

4. BGM 出力レベルを設定する。

・選択上、下ボタンで、0 ～ 9 の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・戻る / 停止ボタンを押すと、BGM 出力レベルを変更せずに設定メニュー画面(手順 ***3.***)に戻ります。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。



< BGM 出力レベル設定画面>

『オオキサ』:BGM 全体の再生音量を、0(最小音量)～ 9(最大音量)で設定します。

(工場出荷時:『09』)

■CM 出力レベル設定

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

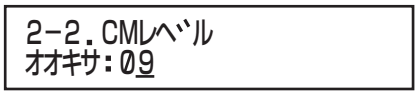
メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

<設定メニュー画面>

3. CM 出力レベル設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-2.CM レベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

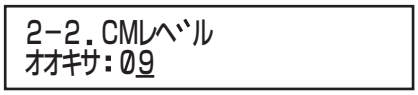
<設定メニュー画面>



< CM 出力レベル設定画面>

4. CM 出力レベルを設定する。

・選択上、下ボタンで、0 ～ 9 の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・戻る / 停止ボタンを押すと、CM 出力レベルを変更せずに設定メニュー画面(手順 ***3.***)に戻ります。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。



< CM 出力レベル設定画面>

『オオキサ』:CM 全体の再生音量を、0(最小音量)～ 9(最大音量)で設定します。

(工場出荷時:『09』)

スケジュール設定作業の手順

スケジュール設定には、専門知識が必要となりますので、販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

ご注意

- メモリーカードを本機に挿入してから設定を行なってください。設定した内容はメモリーカードに保存します。
- スケジュールを実行中(LCD 画面に、実行中のパターン名または『ジッコウチュウ』と表示されている状態)の場合は、スケジュールを停止してから設定を行なってください。(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)

メモ

- "デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア"(PA-ZS600A、別供給品)を使用し、本機の設定や本機の制御をパソコンで行うことができます。(☞ 31 ページ「パソコンから本機の設定をする」参照)

用語について

ステップ	:プレイリスト再生、リレー(制御入力端子)制御などの動作単位。
パターン	:1 日の動作スケジュール。

Step1	スケジュール設定チャートを作成する (☞73 ページ) 実行するスケジュールを各チャートに記入します。チャートはコピーしてお使いください。 ・パターン(1 日のスケジュール)チャート ・週間スケジュールチャート ・年間スケジュールチャート
Step2	パターン(1 日のスケジュール)を設定する (☞74 ページ) ステップを追加することで、パターン(1 日の動作スケジュール)を設定することができます。
Step3	週間スケジュールを設定する (☞86 ページ) 設定したパターンを各曜日に当てはめ、1 週間の動作スケジュールを設定します。
Step4	年間スケジュールを設定する (☞88 ページ) 任意の日付に、特別なパターンを動作させることができます。
Step5	設定した内容を保存する(☞90 ページ) 設定した内容を CF カードに保存します。
Step6	設定したスケジュールの動作確認をする (☞91 ページ) 設定したスケジュールの内容が正常に動作するかを確認します。

▼

設定作業完了

Step1:
スケジュール設定チャートを作成する

1 年間の動作スケジュールを、記入例を参考にして各チャートに記入してください。
チャートはコピーしてお使いください。(☞ 158 ページ)

パターン(1 日のスケジュール)チャート記入例

1 日、36 時間分(00 時 00 分 00 秒から翌日の 12 時 00 分 00 秒まで)の動作を設定します。最大 99 パターン設定できます。

<チャート記入例>

パターン番号:０１　　パターン名:ヘイジツ(平日)

ステップ番号	開始時間	終了時間	プレイリスト名	回数	インターバル	シャッフル	リレー(制御出力)番号	備考
００１	08:30:00	－	チャイム１	1	－	－	１２３４５	始業チャイム
００２	08:31:00	12:00:00	ＢＧＭ１	－	00:00	○	１２３４５	午前 ＢＧＭ
００３	08:30:00	12:00:00	－	－	－	－	①２３４５	照明 Ａ
００４	09:00:00	－	ＣＭ１	1	－	－	１２３４５	スポット ＣＭ
００５	12:00:00	－	チャイム２	1	－	－	１２３４５	昼休み開始
							１２３４５	

週間スケジュールチャート記入例

曜日ごとに、実行したいパターンを設定します。

<チャート記入例>

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日(Mon)	1	ヘイジツ	
火曜日(Tue)	1	ヘイジツ	
水曜日(Wed)	1	ヘイジツ	
木曜日(Thu)	1	ヘイジツ	
金曜日(Fri)	1	ヘイジツ	
土曜日(Sat)	2	ドヨウ	
日曜日(Sun)	3	キュウジツ	

Step1: スケジュール設定チャートを作成する(つづき)

年間スケジュールチャート記入例

特別な日など、日にち指定で、実行したいパターンを設定できます。

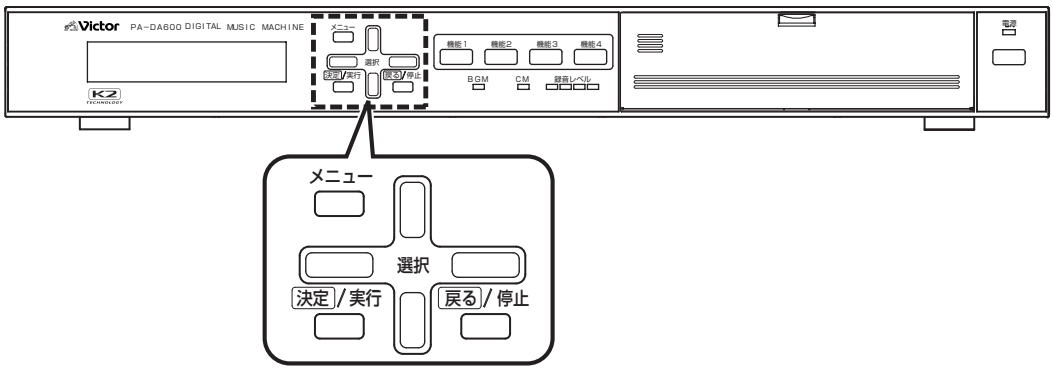
<チャート記入例>

２００６　　**年**

日にち	パターン番号	パターン名	備考
4月6日	１０	イベント１	
5月１０日	１２	イベント２	
7月１９日	8	キネンシキテン１	

Step2: パターン(１日のスケジュール)を設定する

パターンは最大 99 種類作成することができます。



パターンに名前をつける

・パターン名は最大８文字まで入力可能です。
・工場出荷時のパターン名は、”パターン +01 ～ 99 の数字”(例:『パターン 01』)で設定されています。
・同じ名前のパターンを複数作成することはできません。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

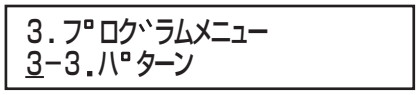
メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

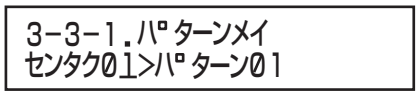
3. パターン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-3. パターン』→『3-3-1. パターンメイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<プログラムメニュー画面>

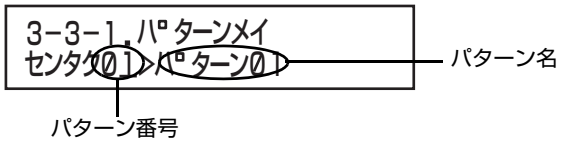
<パターンメニュー画面>



<パターン選択画面>

4. 名前をつけたいパターンを選択する。

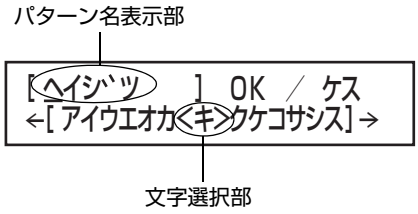
選択上、下ボタンで、名前をつけたいパターン番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<パターン選択画面>

5. 選択したパターンの名前を変更する。

・文字選択部から任意の文字を選択して入力します。
・選択上、下ボタンでカーソルを、「文字選択部」⇔「OK」⇔「ケス」⇔「パターン名表示部」の順に移動できます。



パターン名表示部 :文字選択部から選択した任意の文字をカーソル(_)のある位置に挿入します。選択左、右ボタンでカーソルの位置を移動します。

『OK』 :入力が終了したら、『OK』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、パターン名表示部の内容を確定します。

『ケス』 :『ケス』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、パターン名表示部のカーソルのある位置の文字が削除されます。

文字選択部 :文字を選択するときは、選択上、下ボタンでカーソルを文字選択部分に移動し、選択左、右ボタンで文字を選択します。画面中央の< >カーソル内にある文字が現在選択されている文字です。決定 / 実行ボタンを押すと、パターン名表示部のカーソルのある位置に入力されます。

パターン名　設定例

工場出荷時パターン名	パターン名の設定例
パターン 01	ヘイジツ
パターン 02	ドヨウ
パターン 03	キュウジツ
パターン 10	イベント1
⋮	⋮

6. パターン名を確定する。

・入力が終了したら、『OK』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押さずに戻る / 停止ボタンを押すと、パターン名を確定せずにパターン選択画面に戻ります。
・入力したパターン名が確定すると、自動的にパターン選択画面に戻ります。

Step2: パターン(１日のスケジュール)を設定する(つづき)

・ステップを追加することでパターン設定を行います。
・最大 99 パターン作成できます。
・１つのパターンには、最大 999 ステップの設定が可能です。
・パターンの設定可能時間は、0 時から 36 時(翌日の 12 時)までとなっています。
0 時から 12 時までの設定は前日のパターンとあわせて実行し、24 時から 36 時の設定は、翌日のパターンとあわせて実行します。ただし、BGM プレイリスト同士、CM プレイリスト同士、リレーの重複による矛盾がある場合はどちらのパターンのステップも実行しません。
・BGM プレイリストと CM プレイリストの重複再生(各 1 つ)は可能です。この場合、BGM と CM がミックス出力されます。
・開始時間と終了時間には、設定できる時間帯がそれぞれ下記のように決まっています。下記の時間帯以外は設定できません。
開始時間:00 時 00 分 00 秒から 35 時 59 分 59 秒までの間。
終了時間:00 時 00 分 01 秒から 36 時 00 分 00 秒までの間。
・LCD 画面に表示されている『リレー』は制御出力を意味しています。

ご注意

- 他のステップと時間の重複している同一のリレー番号や、2つの BGM プレイリスト、2つの CM プレイリストを設定すると、エラーが表示されます。エラーが表示されたら、『シュウセイ』または『トリケシ』を選択し、決定 / 実行ボタンをしてください。
『シュウセイ』:ステップ設定画面に戻ります。設定を修正できます。
『トリケシ』 :設定していたステップを取り消し、リレー/ チャイム設定画面に戻ります。

用語について

ステップ　:プレイリスト再生、リレー(制御入力端子)制御などの動作単位。
パターン　:1 日の動作スケジュール。
CM ファイル　:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ　:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック　:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト　:CM プレイリスト(P001 ～ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ～ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

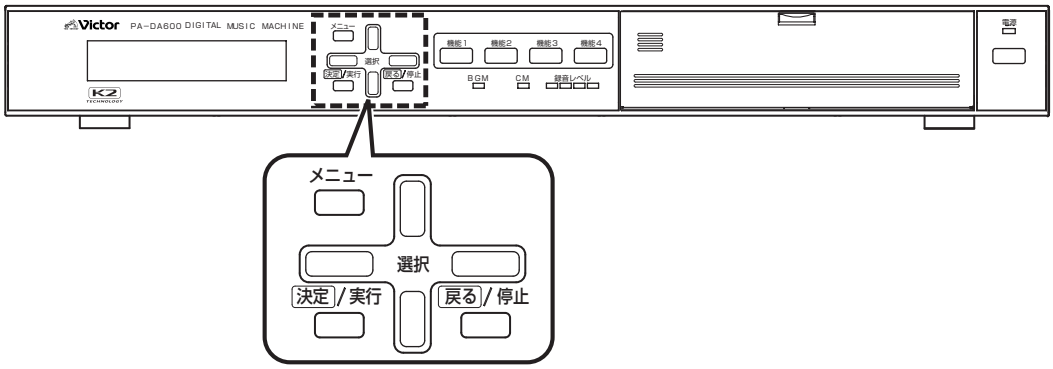
■パターン(１日のスケジュール)チャート例

パターン番号:０１　　パターン名:ヘイジツ(平日)

ステップ番号	開始時間	終了時間	プレイリスト名	回数	インターバル	シャッフル	リレー(制御出力)番号	備考	
００１	08:30:00	－	チャイム１	1	－	－	１２３４５	始業チャイム	ステップ1
００２	08:31:00	12:00:00	ＢＧＭ１	－	00:00	○	１２３４５	午前 ＢＧＭ	ステップ2
００３	08:30:00	12:00:00	－	－	－	－	①２３４５	照明 Ａ	
００４	09:00:00	－	ＣＭ１	1	－	－	１２３４５	スポット ＣＭ	
００５	12:00:00	－	チャイム２	1	－	－	１２３４５	昼休み開始	
							１２３４５		

ステップを追加する

・選択したパターンに新規ステップを追加します。
・下記の手順は、前ページ(73 ページ)の「パターン(１日のスケジュール)チャート例」のステップ 1、2 の設定を例に説明しています。



1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. パターン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-3. パターン』→『3-3-2. パターンサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
```

<パターンメニュー画面>

▼

```
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯ     :S001
```

<パターン選択画面>

4. ステップを追加したいパターンを選択する。

パターン選択画面から、選択上、下ボタンで設定したいパターンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯ     :S001
```

<パターン選択画面>

ご注意

- 選択したパターンに、1 つも設定したステップがない場合は、約10秒『シンキツイカシマス』と表示され、自動的にリレー/ プレイリスト選択画面(手順 ***4.*** の『ツイカ』を選択した状態)になります。

5. 設定したいステップを選択する。

・選択上、下ボタンで、ステップ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・ステップを選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、ステップ設定画面が表示されます。
・追加されるステップ番号は、ステップ選択画面で選択したステップ番号の次の番号になります。(例:ステップ選択画面で『S001』を選択すると、追加されるステップ番号は『S002』となります。追加した後のステップ番号は 1 ずつずれます。)

ステップ番号

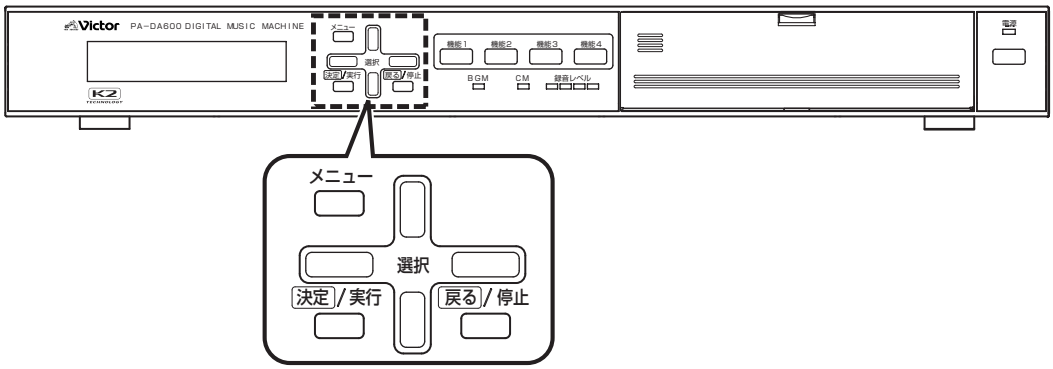
```
S001:CM ﾁｬｲﾑ1
08:30:00 01ｶｲ
```

選択されているステップの内容が表示される

<ステップ選択画面>
(例:8 時 30 分にチャイム 1 を 1 回再生する)

☞ 次ページへつづく

Step2:パターン(１日のスケジュール)を設定する(つづき)



■パターン(１日のスケジュール)チャート例

パターン番号:０１　　パターン名:ﾍｲｼﾞﾂ(平日)

ステップ番号	開始時間	終了時間	プレイリスト名	回数	インターバル	シャッフル	リレー(制御出力)番号	備考	
００１	08:30:00	－	チャイム１	1	－	－	１２３４５	始業チャイム	ステップ1
００２	08:31:00	12:00:00	ＢＧＭ１	－	00:00	○	１２３４５	午前 ＢＧＭ	ステップ2
００３	08:30:00	12:00:00	－	－	－	－	①２３４５	照明 Ａ	ステップ3
００４	09:00:00	－	ＣＭ１	1	－	－	１２３４５	スポット CM	

ステップを追加する(つづき)

6. **ステップ設定画面で『ツイカ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。**

リレー/ プレイリスト選択画面が表示されます。

```
S001:ﾍｲｼﾞｯ
ﾂｲｶ/ﾃｲｾｲ/ｻｸｼﾞｮ
```

<ステップ設定画面>

ご注意

- 設定できるステップ数がオーバーする場合は、『* ステップスウガサイダイデス』と、約 10 秒 LCD 画面に表示され、ステップ作成メニュー画面に戻ります。

7. **リレー/ プレイリスト選択画面から、選択上、下ボタンで『リレー』または『プレイリスト』を選択し、決定/実行ボタンを押す。**

決定 / 実行ボタンを押すと、リレー設定画面またはプレイリスト設定画面１が表示されます。

```
S002:ﾍｲｼﾞｯ     <ﾂｲｶ   >
ｾﾝﾀｸ:ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

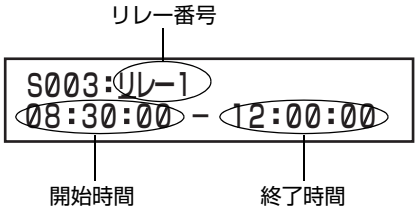
<リレー/ プレイリスト選択画面>

8. **選択した方の設定画面が表示されたら、各項目の設定をする。**

■『リレー』を選択した場合

・選択左、右ボタンで設定項目を選択したら、選択上、下ボタンで選択した項目の設定をします。

・下図のリレー設定画面は、ステップ３の内容を例に説明しています。



<リレー設定画面>
(例:8 時 30 分から 12 時 00 分までリレー1 を動作させる)

リレー番号　:動作させたい外部機器が接続されている制御出力端子を選択します。
※制御出力 4 端子(リレー4)、制御出力 5 端子(リレー5)の機能を、BGM 連動出力、CM 連動出力に設定している場合は、『リレー4』、『リレー5』を選択することができません。
(☞　ページ)

開始時間(時 / 分 / 秒) :動作を開始する時間を設定します。

終了時間(時 / 分 / 秒) :動作を終了する時間を設定します。

■プレイリストの場合

下図のプレイリスト設定画面は、ステップ2の内容を例に説明しています。

1.再生するプレイリストを選択する。

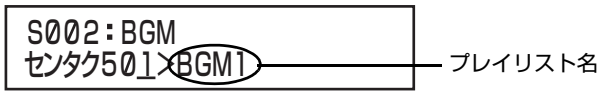
・プレイリスト設定画面1から、選択左、右ボタンで『BGM』または『CM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

・プレイリスト設定画面2から、選択上、下ボタンで再生するプレイリストを選択します。(『BGM』:P501 ～ P999から選択、『CM』:P001 ～ P499から選択。)

メモ

- 設定されていないプレイリスト番号は、プレイリスト名が表示されません。

<プレイリスト設定画面1(例:『BGM』を選択)>

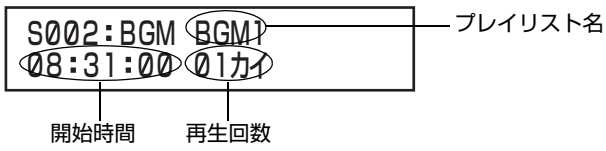


<プレイリスト設定画面2(例:P501のプレイリストを選択)>

2.開始時間と、再生回数または終了時間を設定する。

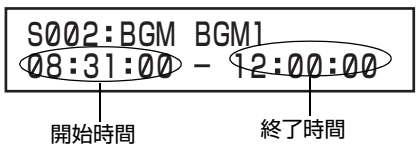
・プレイリスト設定画面3から、選択左、右ボタンで項目を選択し、選択上、下ボタンで値を変更します。

・終了時間を設定する場合は、再生回数の設定で下記のどちらかを行い、プレイリスト設定画面4を表示します。
プレイリスト設定画面4で決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト設定画面5が表示され、終了時間を設定することができます。
  ・『01』表示時に選択下ボタンを押す。
  ・『99』表示時に選択上ボタンを押す。



<プレイリスト設定画面3>

<プレイリスト設定画面4>



<プレイリスト設定画面5>
(例:8時31分～12時00分までの間、BGM1をエンドレスで再生する。)

開始時間(時 / 分 / 秒) :プレイリストの再生を開始する時間を設定します。

終了時間(時 / 分 / 秒) :プレイリストの再生を終了する時間を設定します。

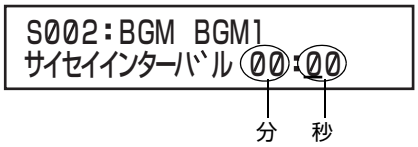
再生回数 :プレイリストを再生する回数を設定します。1 回～ 99 回から選択できます。

3.再生インターバル時間を設定する。

・プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。

・プレイリスト設定画面 6 から、選択左、右ボタンで「分」、「秒」を選択し、選択上、下ボタンで値を変更します。
分 :0分～ 99分まで 1分毎に設定できます。
秒 :0秒～ 50秒まで 10秒毎に設定できます。

・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定し、シャッフル設定に進みます。



<プレイリスト設定画面6(例:0分0秒)>

ご注意

- プレイリストの再生間隔は、再生ウェイト時間(☞41 ページ)以上の時間をあけてください。

4.シャッフル設定をする。

・プレイリスト設定画面7から、選択左、右ボタンで『オン』、『オフ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

・決定 / 実行ボタンを押して設定を確定すると、プレイリストの設定は終了です。

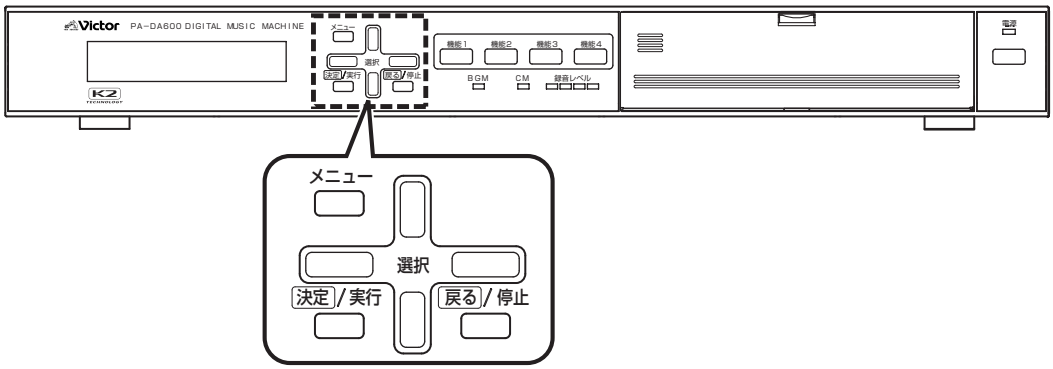
<プレイリスト設定画面7(例:オン)>

『オン』:プレイリストに登録されているメッセージやミュージックを、メッセージ番号またはミュージック番号の順番に関係なくランダムに再生します。

『オフ』:プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを番号順に再生します。

☞ 次ページへつづく

Step2:パターン(１日のスケジュール)を設定する(つづき)



用語について

ステップ	:プレイリスト再生、リレー(制御入力端子)制御などの動作単位。
パターン	:1 日の動作スケジュール。
CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ステップを追加する(つづき)

9. 続けてステップを追加またはステップの追加を終了する。

```
S002:BGM BGM1
ﾂｲｶﾃﾂﾂﾞｹﾙ? ﾊｲ/ｲｲｴ
```

<ステップ登録継続選択画面>

■続けてステップの追加をする場合:
ステップ登録継続選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、リレー/ プレイリスト選択画面(手順 **7.**)に戻ります。

■ステップの追加を終了する場合:
下記のどちらかを行なうと、ステップの追加を終了し、ステップ選択画面(手順 **5.**)に戻ります。

・ステップ登録継続選択画面で『イイエ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。
・戻る / 停止ボタンを押す。

ご注意

- 他のステップと同一のリレー番号または同種のプレイリストを設定すると、エラーが表示されます。エラーが表示されたら、『シュウセイ』または『トリケシ』を選択し、決定 / 実行ボタンをしてください。
  『シュウセイ』:ステップ設定画面に戻ります。設定を修正できます。
  『トリケシ』 :設定していたステップを取り消し、リレー/ プレイリスト設定画面に戻ります。

ステップを修正する

選択したステップの設定内容を修正します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. パターン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-3. パターン』→『3-3-2. パターンサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
```

<パターンメニュー画面>

▼

```
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯﾂ    :S005
```

<パターン選択画面>

4. 修正したいステップを登録しているパターンを選択する。

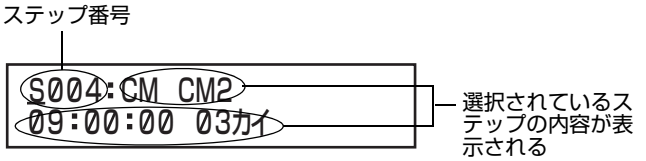
パターン選択画面から、選択上、下ボタンで修正したいパターンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯﾂ    :S005
```

<パターン選択画面>

5. 修正するステップを選択する。

・選択上、下ボタンで、ステップ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・ステップを選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、ステップ設定画面が表示されます。



<ステップ選択画面>

6. ステップ設定画面で『テイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。

ステップ詳細画面が表示されます。

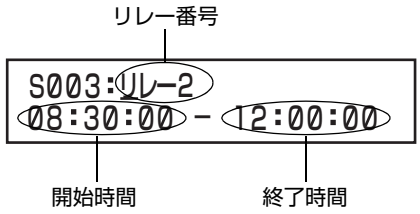
```
S001:ﾍｲｼﾞｯﾂ
ﾂｲｶ/ﾃｲｾｲ/ｻｸｼﾞｮ
```

<ステップ設定画面>

7. ステップの設定内容を修正をする。

■リレー設定のステップを修正する場合

・選択左、右ボタンで修正したい項目を選択し、選択上、下ボタンで値を変更します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定します。



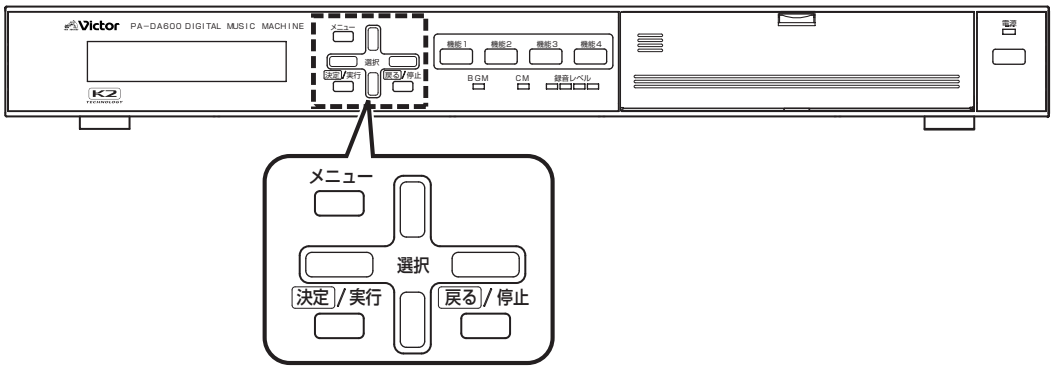
<リレー詳細画面>

リレー番号　:動作させたい外部機器が接続されている制御出力端子を選択します。
※制御出力 4 端子(リレー4)、制御出力 5 端子(リレー5)の機能を、BGM 連動出力、CM 連動出力に設定している場合は、『リレー4』、『リレー5』を選択することができません。
(☞ 126 、127 ページ)

開始時間(時 / 分 / 秒) :動作を開始する時間を設定します。
終了時間(時 / 分 / 秒) :動作を終了する時間を設定します。

☞ 次ページへつづく

Step2:パターン(１日のスケジュール)を設定する(つづき)

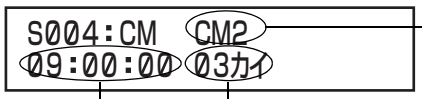


ステップを修正する(つづき)

7. ステップの設定内容を修正をする。(つづき)

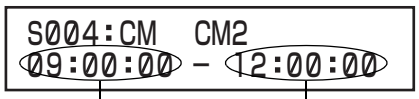
■プレイリスト設定のステップを修正する場合

・選択左、右ボタンで修正したい項目を選択し、選択上、下ボタンで値を変更します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定します。



<プレイリスト詳細画面１>

<プレイリスト詳細画面２>



<プレイリスト詳細画面３>

<再生インターバル設定画面>

<シャッフル設定画面>

開始時間 (時 / 分 / 秒) :プレイリストの再生を開始する時間を設定します。

終了時間 (時 / 分 / 秒) :プレイリストの再生を終了する時間を設定します。

終了時間を設定する場合は、プレイリスト詳細画面 1 で再生回数の位置にカーソルを合わせ、選択上、下ボタンで『ジカンシテイ』と表示させます。(プレイリスト詳細画面2)

プレイリスト詳細画面2で決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト設定画面3が表示され、終了時間を設定することができます。

再生回数 :プレイリストを再生する回数を設定します。1 回～ 99 回から選択できます。

再生インターバル :プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
再生インターバル設定画面から、選択左、右ボタンで「分」、「秒」を選択し、選択上、下ボタンで値を変更します。

分 :0 分～ 99 分まで 1 分毎に設定できます。

秒 :0 秒～ 50 秒まで 10 秒毎に設定できます。

※ プレイリストの再生間隔は、再生ウェイト時間(☞ 41 ページ)以上の時間をあけてください。

シャッフル 『オン』:プレイリストに登録されているメッセージやミュージックを、メッセージ番号またはミュージック番号の順番に関係なくランダムに再生します。

『オフ』:プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを番号順に再生します。

8. 修正が終わったら、決定 / 実行ボタンを押す。

2 回点滅してからステップ選択画面(手順 **5.**)に戻ります。

ご注意

- ステップの設定中に、他のステップと同一のリレー番号または同種のプレイリストを設定すると、『フセイナジカンシテイデス』というエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたら、『シュウセイ』または『トリケシ』を選択し、決定 / 実行ボタンをしてください。
  『シュウセイ』:ステップ設定画面に戻ります。設定を修正できます。
  『トリケシ』 :設定していたステップを取り消し、リレー/ プレイリスト設定画面に戻ります。

ステップを削除する

選択したステップを削除します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. パターン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-3. パターン』→『3-3-2. パターンサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
```

<パターンメニュー画面>

▼

```
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯ      :S006
```

<パターン選択画面>

4. 削除したいステップを登録しているパターンを選択する。

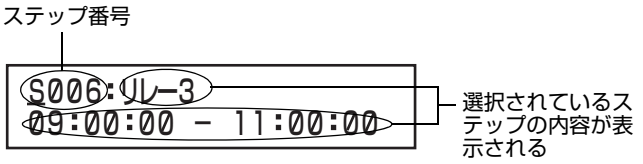
パターン選択画面から、選択上、下ボタンで削除したいステップが登録されているパターンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-3-2.ﾊﾟﾀｰﾝｻｸｾｲ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯ      :S006
```

<パターン選択画面>

5. 削除するステップを選択する。

・選択上、下ボタンで、ステップ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・ステップを選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、ステップ設定画面が表示されます。



<ステップ選択画面>

6. ステップ設定画面で『サクジョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。

削除確認画面が表示されます。

```
S006:ﾍｲｼﾞｯ
ﾂｲｶ/ﾃｲｾｲ/ｻｸｼﾞｮ
```

<ステップ設定画面>

7. 削除確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。

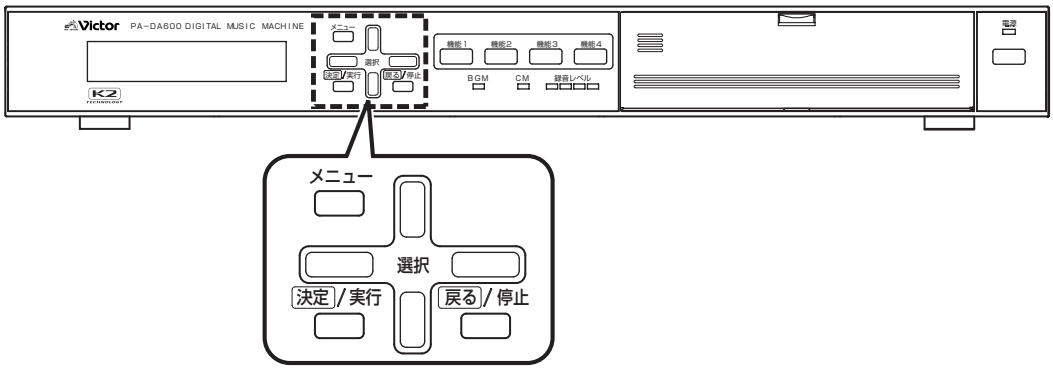
・2 回点滅し、ステップ選択画面に戻ります。
・削除するのをやめたいときは、『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押します。

```
S006:ﾘﾚｰ3
ｻｸｼﾞｮｼﾏｽｶ? ﾊｲ/ｲｲｴ
```

メモ

- 選択したステップを削除してステップ選択画面に戻ると、削除したステップの次のステップの番号が繰り上がって表示されます。
- ステップをすべて削除すると、『ゼンステップヲサクジョシマシタ』と、LCD 画面に約 10 秒表示され、パターン選択画面に戻ります。

Step2:パターン(１日のスケジュール)を設定する(つづき)



パターンをコピーする

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. コピー元パターン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-3. パターン』→『3-3-3. パターンコピー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
3-3-3.ﾊﾟﾀｰﾝｺﾋﾟｰ
```

<パターンメニュー画面>

▼

```
3-3-3.ﾊﾟﾀｰﾝｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰﾓﾄ01>ﾍｲｼﾞｯ
```

<コピー元パターン選択画面>

4. コピー元のパターンを選択しする。

コピー元パターン選択画面から、コピーするパターンを選択上、下ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-3-3.ﾊﾟﾀｰﾝｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰﾓﾄ01>ﾍｲｼﾞｯ
```

<コピー元パターン選択画面>

ご注意

- ９９パターンすべてにステップが入力されている場合は、パターンをコピーすることはできません。『* アキパターンナシ』と、約 10 秒 LCD 画面に表示され、パターンコピー画面に戻ります。
  パターンをコピーしたい場合は、パターンを削除して空きのパターンを作ってください。

5. コピー先パターンを選択する。

・コピー先パターン選択画面から、コピー先のパターンを選択上、下ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押す。
・コピーが終了すると、『コピーシマシタ』と約 10 秒 LCD 画面に表示し、パターンコピー画面に戻ります。

```
3-3-3.ﾊﾟﾀｰﾝｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰｻｷ02>ﾍｲｼﾞｯ
```

<コピー先パターン選択画面>
(例:パターン 01 の内容をパターン 02 にコピーする)

メモ

- コピー先選択画面に表示されるパターンは、空きパターンのみです。すでにステップが設定されているパターンは表示されません。
- コピー先のパターン名は、コピー元と違うパターン名となります。
- ステップは最大4000個設定できます。4000個以上になる場合はコピーをすることができません。

パターンを削除する

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3. コピー元パターン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-3. パターン』→『3-3-4. パターンショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
```

＜プログラムメニュー画面＞

▼

```
3-3.ﾊﾟﾀｰﾝ
3-3-4.ﾊﾟﾀｰﾝｼｮｳｷｮ
```

＜パターンメニュー画面＞

▼

```
3-3-4.ﾊﾟﾀｰﾝｼｮｳｷｮ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯ
```

＜消去パターン選択画面＞

4. 消去するパターンを選択する。

消去パターン選択画面から、選択上、下ボタンで消去するパターンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-3-4.ﾊﾟﾀｰﾝｼｮｳｷｮ
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞｯ
```

＜消去パターン選択画面＞

5. パターン消去確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押す。

・LCD 画面に約 10 秒『ショウキョシマシタ』と表示され、消去パターン選択画面に戻ります。
・パターン選択画面で『イイエ』を選択して決定 / 実行ボタンを押すまたは戻る / 停止ボタンを押すと、パターンを消去せずにパターン選択画面に戻ります。

```
ﾊﾟﾀｰﾝｼｮｳｷｮ ﾊﾟﾀｰﾝ01
ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ? ﾊｲ/ｲｲｴ
```

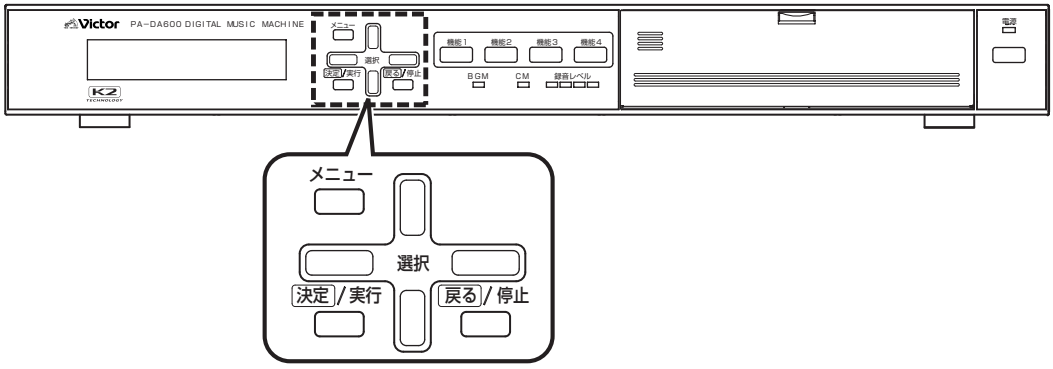
（例：パターン 01 を削除する）

ご注意

- 削除するパターンが、週間 / 年間スケジュールにも割り当てられている場合、週間 / 年間スケジュールからも削除されます。

Step3:
週間スケジュールを設定する

・曜日ごとに実行したいパターンを設定します。
・次ページの設定手順は、日曜日に”休日”のパターンを設定する例です。



用語について

ステップ	:プレイリスト再生、リレー(制御入力端子)制御などの動作単位。
パターン	:1 日の動作スケジュール。
CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

■スケジュールチャート例

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日(Mon)	1	ヘイジツ	
火曜日(Tue)	1	ヘイジツ	
水曜日(Wed)	1	ヘイジツ	
木曜日(Thu)	1	ヘイジツ	
金曜日(Fri)	1	ヘイジツ	
土曜日(Sat)	2	ドヨウ	
日曜日(Sun)	3	キュウジツ	

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3. 週間スケジュール設定画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-6. シュウカンスケジュール』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-6.ｼｭｳｶﾝｽｹｼﾞｭｰﾙ
```

＜プログラムメニュー画面＞

▼

```
3-6.ｼｭｳｶﾝｽｹｼﾞｭｰﾙ
ﾖｳﾋﾞ:ﾆﾁﾖｳ　ﾊﾟﾀｰﾝﾅｼ
```

＜週間スケジュール設定画面＞

4. パターンを設定したい曜日を選択する。

週間スケジュール設定画面から、選択上、下ボタンで設定する曜日を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-6.ｼｭｳｶﾝｽｹｼﾞｭｰﾙ
ﾖｳﾋﾞ:ﾆﾁﾖｳ　ﾊﾟﾀｰﾝﾅｼ
```

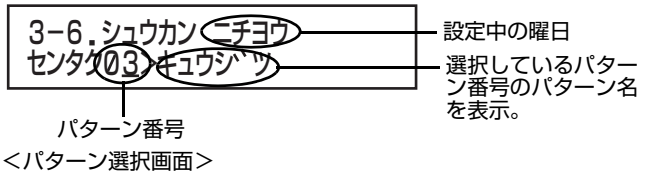
＜週間スケジュール設定画面＞

メモ

- 曜日選択画面のとき、すでにパターンを設定している曜日には、曜日の横にパターン名が表示されます。設定されていない曜日は、『パターンナシ』と表示されます。

5. 曜日に割り当てるパターンを選択する。

・パターン選択画面から、選択上、下ボタンで割り当てるパターン番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定が確定すると、2 回点滅してから自動的にスケジュール設定画面に戻ります。



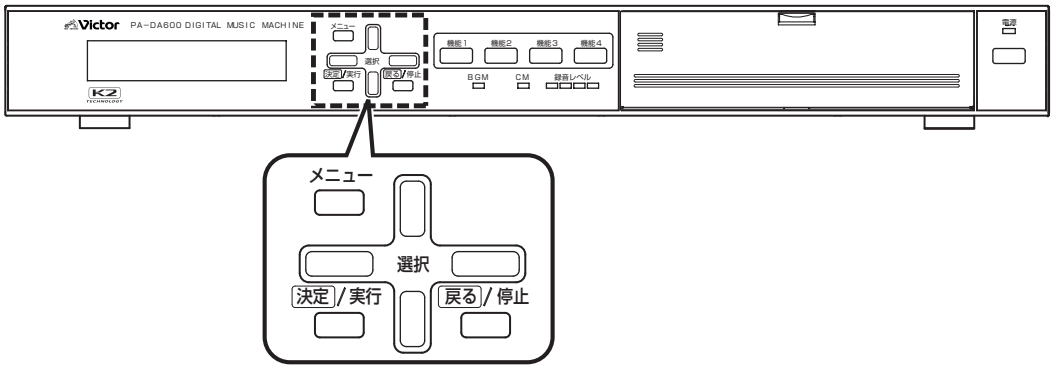
＜パターン選択画面＞

ご注意

- パターンは 36 時間設定できるようになっているため、前後の曜日で重なり合う時間にステップの矛盾が発生する場合があります。ステップに矛盾がある場合は、矛盾が発生しているステップ番号とエラー内容が表示されます。決定 / 実行ボタンを押すと、『スケジュールヲトウロクシマセン』と約 10 秒表示してから曜日選択画面に戻ります。ステップに矛盾がないか確認してからスケジュール設定をやり直してください。
  ＜矛盾する例＞
  ・ 同一番号のリレー動作タイミングが重なっている。
  ・ 同種（CM 同士または BGM 同士）のプレイリスト再生タイミングが重なっている。
- パターンを設定したくない曜日のときは、必ず『パターンナシ』を設定してください。

Step4:
年間スケジュールを設定する

・特別な日など、日にち指定で、実行したいパターンを設定できます。
・年間スケジュール設定は、週間スケジュール設定よりも優先して実行します。
・次ページの設定手順は、4月６日に”イベント１”のパターンを設定する例です。



用語について

ステップ　：プレイリスト再生、リレー(制御入力端子)制御などの動作単位。
パターン　：1 日の動作スケジュール。
ＣＭファイル　：録音した音声データ。(C001 ～ C999)
ＢＧＭファイル：ＢＧＭ音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ　：再生する ＣＭファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック　：再生する ＢＧＭファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト　：ＣＭプレイリスト(P001 ～ P499)：
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
ＢＧＭプレイリスト(P501 ～ P999)：
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

■年間スケジュールチャート例

２００６　　**年**

日にち	パターン番号	パターン名	備考
4月6日	１０	イベント１	
5月１０日	１２	イベント２	
7月１９日	８	キネンシキテン１	
月　日			

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

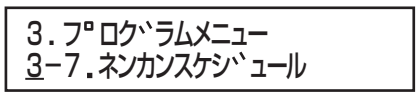
2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

<プログラムメニュー画面>

3. 年間スケジュール設定画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-7. ネンカンスケジュール』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

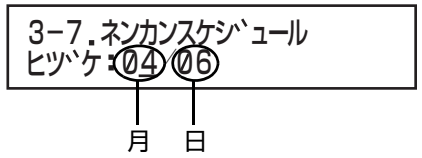


<プログラムメニュー画面>

<年間スケジュール設定画面>

4. パターンを設定したい日付を選択する。

・年間スケジュール設定画面から、選択左、右ボタンで設定する項目(月 / 日)を選択します。
・選択上、下ボタンで月または日にちを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



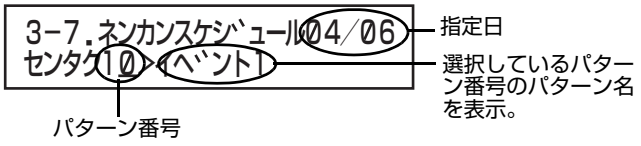
<年間スケジュール設定画面>

メモ

- すでに指定日にパターンが設定している場合は日付の横にパターン名が表示されます

5. 指定日に割り当てるパターンを選択する。

・パターン選択画面から、選択上、下ボタンで割り当てるパターン番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定が確定すると、2 回点滅してから自動的に曜日選択画面に戻ります。



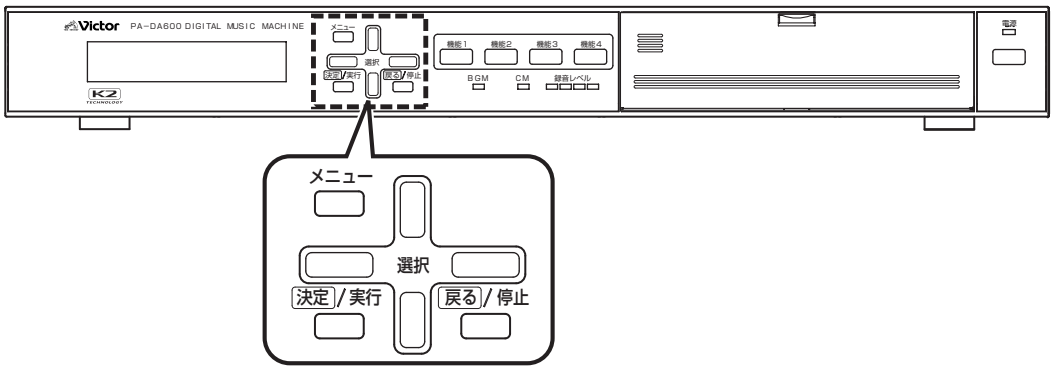
<パターン選択画面>

ご注意

- パターンを設定したくない日付には、必ず『パターンナシ』を設定してください。
- 年間スケジュールの場合、設定したパターンのステップに矛盾が発生してもエラー表示されません。必ず、リハーサル2(☞92 ページ)を行なって正常に動作するかを確認してください。
- 何もスケジュールを実行しない日を設定するには、使用していないリレーの動作などのステップを設定したパターンを割り当ててください。

Step5:
設定した内容を保存する

設定内容をメモリーカードに保存します。



用語について

ステップ	:プレイリスト再生、リレー(制御入力端子)制御などの動作単位。
パターン	:1 日の動作スケジュール。
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ご注意

- 設定が終わったら必ずメモリーカードに保存してください。保存をしないと、設定した内容を実行することができません。
- 保存せずに電源を切断すると、設定した内容は消えてしまいます。

1. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

2. 保存確認画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-10.データホゾン(CF)』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-10.ﾃﾞｰﾀﾎｿﾞﾝ (CF)
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-10.ﾃﾞｰﾀﾎｿﾞﾝ (CF)
ﾃﾞｰﾀﾎｿﾞﾝ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

<保存確認画面>

3. データを保存する。

・保存確認画面から、選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定内容が保存され、『シュウリョウシマシタ』と表示されたら決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-10.ﾃﾞｰﾀﾎｿﾞﾝ (CF)
ｼｭｳﾘｮｳｼﾏｼﾀ      [ ｹｯﾃｲ ]
```

<保存終了画面>

Step6:
設定したスケジュールの動作確認をする

リハーサル 1（パターンの動作確認）

リハーサル 1 を実行すると、選択したパターンが正常に動作するか確認できます。

メモ

- リハーサル時でも、BGM 電源端子、CM 電源端子にアンプを接続し、再生ウェイト時間を設定していると、プレイリストが再生される前にアンプの電源が入ります。プレイリストの再生が終了すると、アンプの電源が切れます。
- スケジュール設定にエラーが発生すると、ＬＣＤ 画面にエラー内容が表示されます。
  （☞ 152 ページ「設定、編集中のエラー表示」参照）

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3. パターン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-4. リハーサル 1』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-4.ﾘﾊｰｻﾙ1
```

＜プログラムメニュー画面＞

▼

```
3-4.ﾘﾊｰｻﾙ1
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞﾂ
```

＜パターン選択画面＞

4. リハーサルを実行したいパターンを選択する。

パターン選択画面から、選択上、下ボタンでリハーサルを実行するパターンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-4.ﾘﾊｰｻﾙ1
ｾﾝﾀｸ01>ﾍｲｼﾞﾂ
```

＜パターン選択画面＞

5. 開始時間を設定する。

・開始時間設定画面から、選択左、右ボタンで項目（時 / 分 / 秒）を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定します。
・２回点滅してから、設定した時間以降の時間帯に設定してあるステップのリハーサルから開始します。

```
3-4.ﾘﾊｰｻﾙ1 ﾍｲｼﾞﾂ
ｶｲｼｼﾞｶﾝｾﾝﾀｸ 13:00:00
              時 分 秒
```

選択したパターンのパターン名を表示。

＜開始時間設定画面＞
（例：『ヘイジツ』（パターン 01）のリハーサルを１３時 00 分 00 秒から開始する）

6. リハーサルを実行する。

・設定した時間の順にステップが実行されます。
・１つのステップが終了したら、リハーサル画面で『ケイゾク』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、次のステップのリハーサルを実行します。

```
ﾍｲｼﾞﾂ      13:00:00
ｼﾞｯｺｳ ｹｲｿﾞｸ/ｼｭｳﾘｮｳ
```

＜リハーサル画面１＞

7. リハーサルを終了する。

・リハーサル画面から、選択左、右ボタンで『シュウリョウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・リハーサルを終了すると、開始時間設定画面に戻ります。

```
ﾍｲｼﾞﾂ      13:00:00
ｼﾞｯｺｳ ｹｲｿﾞｸ/ｼｭｳﾘｮｳ
```

＜リハーサル画面１＞

メモ

- リハーサル中のパターン内のステップがすべて終了すると、『リハーサルシュウリョウ』表示されます。決定/実行ボタンを押すと、パターン選択画面に戻ります。

```
ﾍｲｼﾞﾂ      24:00:00
ﾘﾊｰｻﾙｼｭｳﾘｮｳ   [ ｹｯﾃｲ ]
```

- リハーサル画面は 3 つあります。選択上、下ボタンを押すことで切り換えることができます。リハーサル画面 2、3 では、実行中の動作状態を確認することができます。

```
ﾘﾚｰｵﾝ1-34-  CM001
ｼﾞｯｺｳ ｹｲｿﾞｸ/ｼｭｳﾘｮｳ
```

実行中の CM プレイリスト

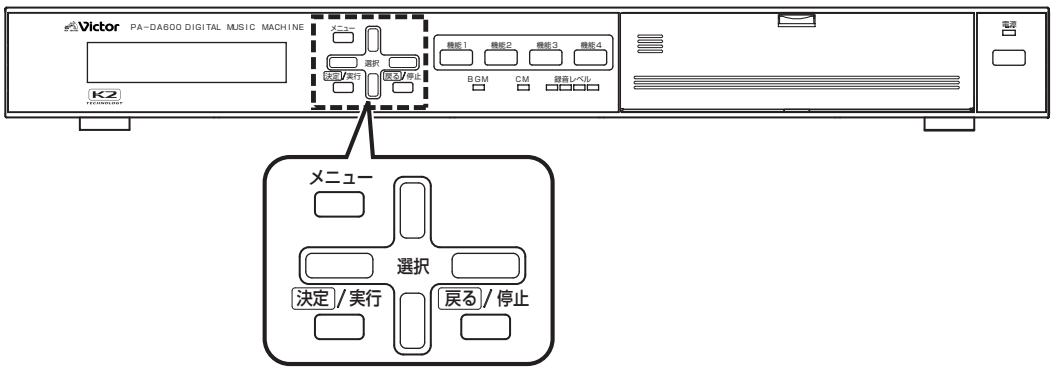
＜リハーサル画面２＞

```
ﾘﾚｰｵﾝ1-34-  BGM501
ｼﾞｯｺｳ ｹｲｿﾞｸ/ｼｭｳﾘｮｳ
```

実行中の BGM プレイリスト

＜リハーサル画面３＞

Step6:
設定したスケジュールの動作確認をする(つづき)



用語について

ステップ	:プレイリスト再生、リレー(制御入力端子)制御などの動作単位。
パターン	:1 日の動作スケジュール。
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

リハーサル 2(日付指定の動作確認)

リハーサル 2 を実行すると、指定日のパターンが正常に動作するか確認できます。

メモ

- リハーサル時でも、BGM 電源端子、CM 電源端子にアンプを接続し、再生ウェイト時間を設定していると、プレイリストが再生される前にアンプの電源が入ります。プレイリストの再生が終了すると、アンプの電源が切れます。
- スケジュール設定にエラーが発生すると、LCD 画面にエラー内容が表示されます。
  (☞ 152 ページ「設定、編集中のエラー表示」参照)

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. 日付選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-5. リハーサル 2』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-5.ﾘﾊｰｻﾙ2
```

<プログラムメニュー画面>

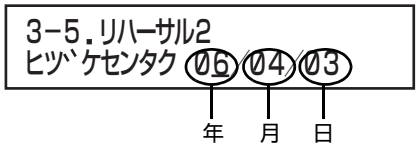
▼

```
3-5.ﾘﾊｰｻﾙ2
ﾋﾂﾞｹｾﾝﾀｸ 06/04/03
```

<日付選択画面>

4. リハーサルを実行したい日にち(年月日)を設定する。

・日付選択画面から、選択左、右ボタンで項目(年 / 月 / 日)を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定します。



＜日付選択画面＞
(例:06 年 04 月 03 日のスケジュールのリハーサルを実施する)

5. 開始時間を設定する。

・開始時間設定画面から、選択左、右ボタンで項目(時 / 分 / 秒)を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定します。
・２回点滅してから、設定した時間以降の時間帯に設定してあるステップのリハーサルから順番に開始します。

＜開始時間設定画面＞

6. リハーサルを実行する。

・設定した時間の順にステップが実行されます。
・１つのステップが終了したら、リハーサル画面で『ケイゾク』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、次のステップのリハーサルを実行します。

＜リハーサル画面１＞

7. リハーサルを終了する。

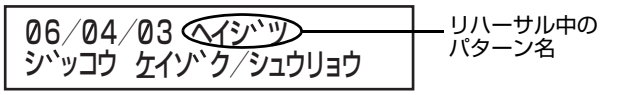
・リハーサル画面から、選択左、右ボタンで『シュウリョウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・リハーサルを終了すると、日付選択画面に戻ります。

＜リハーサル画面１＞

メモ

- リハーサル画面は 4 つあります。選択上、下ボタンを押すことで切り換えることができます。リハーサル画面 2、3、4では、実行中の動作状態を確認することができます。

＜リハーサル画面１＞

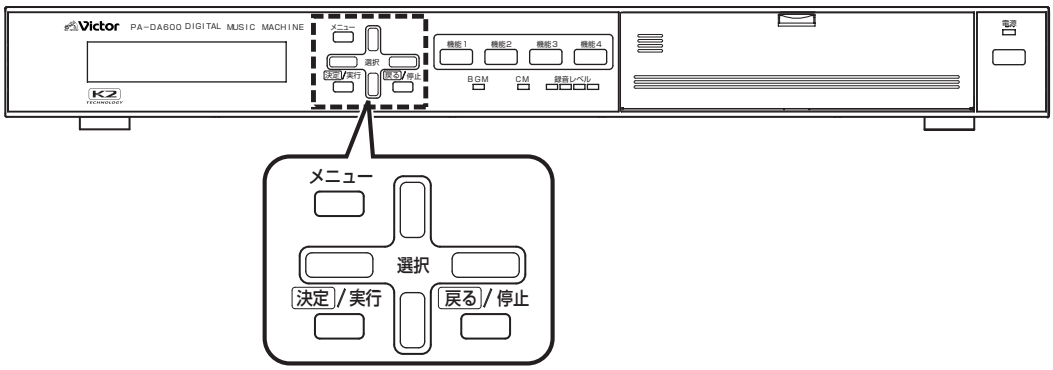


＜リハーサル画面２＞

＜リハーサル画面３＞

＜リハーサル画面４＞

CM ファイルを編集する



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

無音部を消去する

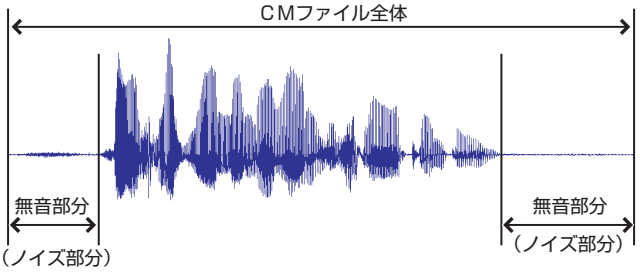
ご注意

- 編集中にメモリーカードを抜かないでください。本機の故障、ファイルが壊れる原因となります。

・録音した CM ファイルの不要な無音部(アナウンスが始まるまでの部分、およびアナウンス終了後部分)を削除します。
・無音レベルのしきい値(無音と判断するノイズレベルの境界値)を設定して、アナウンス前後の無音部を自動で削除します。
無音と判断するしきい値はノイズなどの大きさに応じてレベルを設定してください。
レベル 10:判断するしきい値が最も大きい。
レベル 1 :判断するしきい値が最も小さい。

メモ

- 削除される部分は、CM ファイルの先頭部分と末尾部分だけです。アナウンスの途中に無音部分があっても削除はしません。



CM ファイルの先頭部分と末尾部分の無音部を削除し、アナウンス部分だけにします。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する。

メインメニューから『4.CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
4-1.ｵﾝｼｼﾂｾｯﾃｲ
```

< CM ファイルメニュー画面>

3. 編集ファイル選択画面を表示する。

CMファイルメニュー画面から、選択上、下ボタンで『4-3.ムオンプショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMファイルメニュー
4-3.ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮ
```

< CM ファイルメニュー画面>

▼

```
4-3.ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮ
センタク:C001          10.3M
```

<編集ファイル選択画面>

4. 編集するファイルを選択する。

選択上、下ボタンで編集したいファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4-3.ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮ
センタク:C001          10.3M
```

ファイルサイズ

CM ファイル番号

<編集ファイル選択画面>

CM ファイル番号 :録音されているCMファイル番号を表示します。
ファイルサイズ :選択したCMファイルのファイルサイズを表示します。単位は、「B(バイト)」です。

メモ

- CM ファイルが無い場合は、『* ロクオンファイルナシ』と表示され、編集ファイル選択画面(手順 ***4.***)に戻ります。

5. 無音部消去レベルを選択する。

選択上、下ボタンで 1(小)～ 10(大)のどれかに設定し、決定 / 実行ボタンを押します。
(工場出荷時:『05』)

```
ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮ  C001
ﾚﾍﾞﾙ:05       0:12:34
```

手順 ***4.*** で選択したファイル

消去レベル　ファイル時間

<無音部消去レベル選択画面>

6. 無音部を削除する。

- 実行選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去レベル選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。
- 無音部削除処理中に戻る / 停止ボタンを押すと、処理を中止します。
- 処理を中止し、決定 / 実行ボタンを押すと、編集ファイル選択画面に戻ります。

```
ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮｼﾏｽ C001
ハイ/イイエ
```

<実行選択画面>

メモ

- 無音部削除データを作成中にメモリーカードの容量不足で作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』と表示されます。
- 編集するファイルの録音方式によっては、ファイル時間と同程度の時間がかかります。
- 無音部分のノイズ(暗騒音)が大きいと削除されない場合があります。静かな環境で再度録音を行なってください。

7. 試聴をする。

- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。再生が開始されます。
- 試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面(手順 ***9.***)が表示されます。

```
ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮ      C001
ｼﾁｮｳｼﾏｽｶ? ハイ/イイエ
```

<試聴選択画面>

8. 試聴を停止する。

再生中に戻る / 停止ボタンを押すと、再生を停止します。
再生を停止すると、保存確認画面が表示されます。

```
ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮ      C001
ｼﾁｮｳﾃｲｼ    [ﾃｲｼ]
```

メモ

- 試聴中の CM ファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。

```
ﾓｳｲﾁﾄﾞｻｲｾｲ?
ハイ/イイエ
```

<再試聴確認画面>

『ハイ』を選択　:もう一試聴します。
『イイエ』を選択:試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

9. 保存をする。

- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押と、保存されます。
- 保存確認画面で『ショウキョヤリナオシ』を選択すると、無音部消去レベル選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。
- 保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

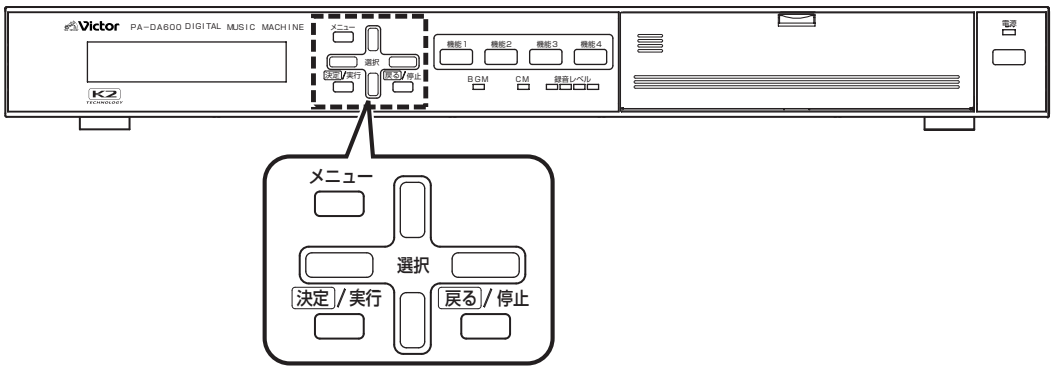
```
ﾎｿﾞﾝｼﾏｽｶ?
ハイ/ｼｮｳｷｮﾔﾘﾅｵｼ
```

<保存確認画面>

```
ムオンﾌﾟｼｮｳｷｮ C001
ﾎｿﾞﾝｼﾏｼﾀ    [ｹｯﾃｲ]
```

<保存終了画面>

CM ファイルを編集する（つづき）

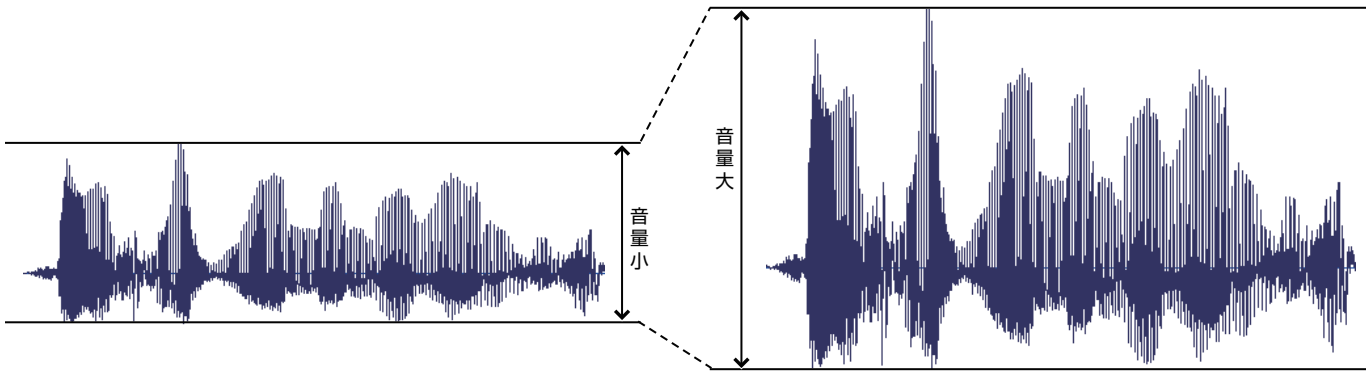


用語について

CM ファイル	：録音した音声データ。
CM カード	：アナウンスなどのメッセージデータ、スケジュール、設定データ、CMプレイリスト、BGMプレイリストを保存するメモリーカード。 CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に入れて使用してください。

音量のバラツキを補正する（ゲイン補正）

録音した CM ファイルの音量が大きい、または小さい場合に音量を調整します。
補正レベルは、− 10 dB ～ +10 dB です。



＜音量が小さいファイルを補正して、音量を大きくする場合＞

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する。

メインメニューから『4.CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
4-1.ｵﾝｼﾂｾｯﾃｲ
```

＜ CM ファイルメニュー画面＞

3. 補正ファイル選択画面を表示する。

CM ファイルメニュー画面から、『4-4. ゲインホセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
4-4.ｹﾞｲﾝﾎｾｲ
```

＜ CM ファイルメニュー画面＞

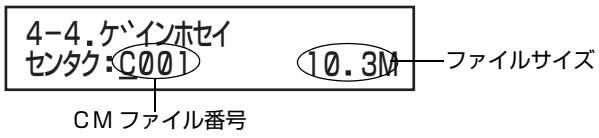
▼

```
4-4.ｹﾞｲﾝﾎｾｲ
ｾﾝﾀｸ:C001        10.3M
```

＜補正ファイル選択画面＞

4. 補正するファイルを選択する。

選択上、下ボタンで補正する CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜補正ファイル選択画面＞

CM ファイル番号：補正する CM ファイル番号を表示します。

ファイルサイズ　：選択したファイルのファイルサイズを表示します。単位は、「B（バイト）」です。

メモ

- CM ファイルが無い場合は、『* ロクオンファイルナシ』と表示され、補正ファイル選択画面（手順 ***4.***）に戻ります。

5. 補正レベルを選択する。

選択上、下ボタンで補正レベル（－ 10 ～ 10）を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
（工場出荷時：『0』）

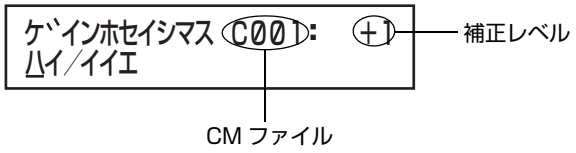
＜補正レベル選択画面＞

ご注意

- 補正レベルを大きくしすぎると、音が歪むことがあります。試聴（手順 ***7.***）で確認して、歪まないレベルに設定してください。

6. 補正をする。

- 選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、補正レベル選択画面（手順 ***5.***）に戻ります。
- 補正中に戻る / 停止ボタンを押すと、補正を中止します。
- 補正を中止し、決定 / 実行ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。



＜補正実行選択画面＞

メモ

- 補正データを作成中にCMカードの容量不足で作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』と表示されます。
- 補正する CM ファイルの録音方式によっては、CM ファイル時間の約 2 倍の時間がかかります。

7. 試聴をする。

- 試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面が表示されます。

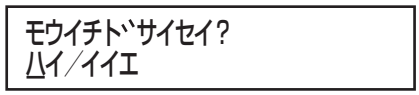
＜試聴選択画面＞

8. 試聴を停止する。

- 試聴中に戻る / 停止ボタンを押し、再生を停止します。
- 試聴を停止すると、保存確認画面（手順　***9.***）が表示されます。

メモ

- 試聴中のファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。



＜再試聴確認画面＞

『ハイ』を選択　：もう一度、試聴します。

『イイエ』を選択：試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

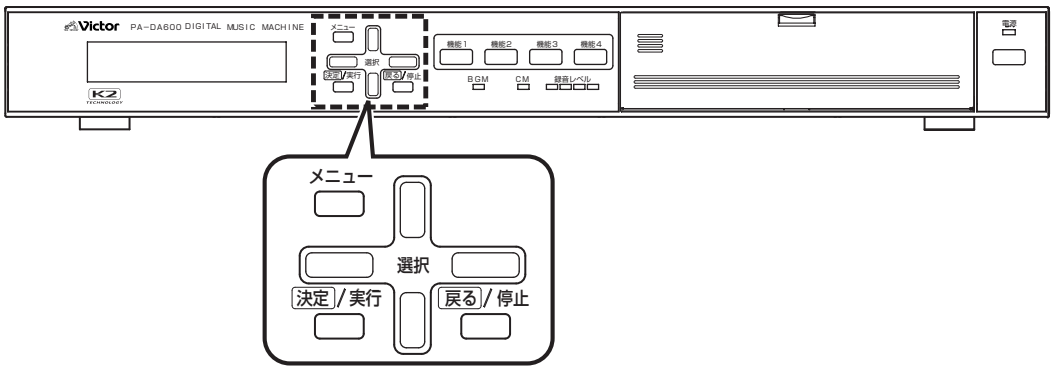
9. 保存をする。

- 保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 保存確認画面で『ホセイヤリナオシ』を選択すると、補正レベル選択画面（手順 ***5.***）に戻ります。
- 保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押と、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

＜保存確認画面＞

＜保存終了画面＞

CM ファイルを編集する（つづき）



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。
CM カード	:アナウンスなどのメッセージデータ、スケジュール、設定データ、CMプレイリスト、BGMプレイリストを保存するメモリーカード。 CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に入れて使用してください。

ファイル形式を変更する（フォーマット変換）

録音時に選択した音質のフォーマットから別の音質のフォーマットに変換します。

フォーマット変換表

変換元＼変換先		ハイースタンダード モノラル	ハイーロング モノラル	スタンダード モノラル	ロング モノラル
ハイースタンダード	モノラル	ー	○	○	○
ハイーロング	モノラル	×	ー	×	○
スタンダード	モノラル	×	×	ー	○
ロング	モノラル	×	×	×	ー

○印:変換可能

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する。

メインメニューから『4.CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMファイルメニュー
4-1.オンシツセッテイ
```

< CM ファイルメニュー画面>

3. 変換ファイル選択画面を表示する。

CM ファイルメニュー画面から、『4-5. フォーマットヘンカン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMファイルメニュー
4-5.フォーマットヘンカン
```

< CM ファイルメニュー画面>

▼

```
4-5.フォーマットヘンカン
センタク:C001      10.3M
```

<変換ファイル選択画面>

4. 変換する CM ファイルを選択する。

変換ファイル選択画面から、選択上、下ボタンで変換する CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

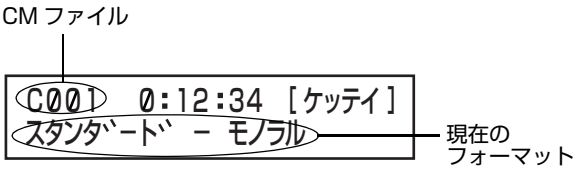
```
4-5.フォーマットヘンカン
センタク:C001      10.3M
```

CM ファイル

<変換ファイル選択画面>

5. 選択した CM ファイルを確認する。

選択した CM ファイルを、変換ファイル詳細画面で確認したら、決定 / 実行ボタンを押します



＜変換ファイル詳細画面＞

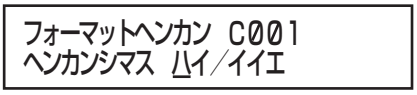
6. 変換先のフォーマットを選択する。

・選択上、下ボタンで変換先のフォーマットを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・選択できる変換先のフォーマットは前ページのフォーマット変換表をご覧ください。

＜フォーマット選択画面＞

7. 変換をする。

・音質変換確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・音質変換確認画面で『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、フォーマット選択画面(手順 **6.**)に戻ります。
・変換実行中に戻る / 停止ボタンを押すと、変換を中断します。
・変換を中断して決定 / 実行ボタンを押すと、変換せずにCM ファイルメニュー画面に戻ります。



＜音質変換確認画面＞

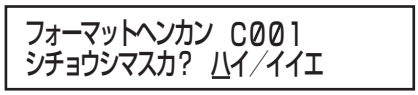
＜音質変換実行中画面＞

メモ

- 変換データ作成中に、CM カードの容量不足で変換できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』とエラー表示されます。
- 変換するCMファイルの録音方式によっては、CMファイル時間の約 4 倍の時間がかかる場合があります。

8. 試聴をする。

・試聴選択画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・試聴選択画面で『イイエ』を選択すると、試聴をせずに保存確認画面が表示されます。



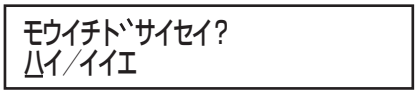
＜試聴選択画面＞

9. 試聴を停止する。

試聴中に戻る / 停止ボタンを押します。
試聴を停止すると、保存確認画面(手順***10.***)が表示されます。

メモ

- 試聴中のCMファイルを最後まで再生すると、再試聴確認画面が表示されます。

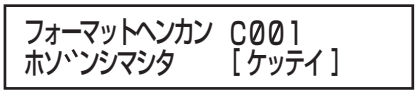


＜再試聴確認画面＞
『ハイ』を選択 :もう一度、試聴します。
『イイエ』を選択:試聴を終了し、保存確認画面を表示します。

10. 保存をする。

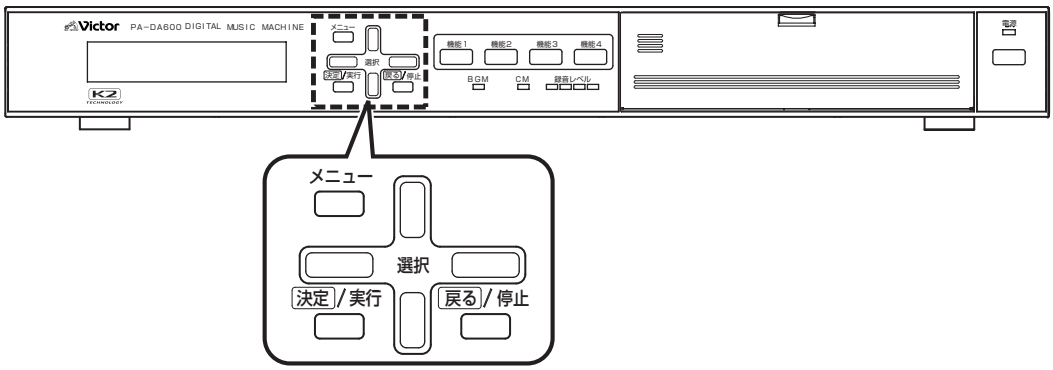
・保存確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・保存確認画面で『ヘンカンヤリナオシ』を選択すると、フォーマット選択画面(手順 **6.**)に戻ります。
・保存終了画面で決定 / 実行ボタンを押すと、CM ファイルメニュー画面に戻ります。

＜保存確認画面＞



＜保存終了画面＞

CM ファイルを編集する（つづき）



用語について

CM ファイル	：録音した音声データ。
BGM ファイル	：BGM 音楽データ。
CM カード	：アナウンスなどのメッセージデータ、スケジュール、設定データ、CMプレイリスト、BGMプレイリストを保存するメモリーカード。 CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に入れて使用してください。

CM ファイルをコピーする

・録音した CM ファイルをコピーします。
・CM ファイル形式を変換する前に、オリジナルの CM ファイルをバックアップしておきたい場合などに行います。
・作成できる CM ファイルは最大 999 個です。

メモ

- 下記の場合は、ファイルをコピーすることができません。
  ・ すでにファイルが 999 個作成されている。
  ・ CM ファイルがひとつも作成されていない。
- BGM ファイルはコピーできません。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. CM ファイルメニュー画面を表示する。

メインメニューから『4.CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
4-1.ｵﾝｼﾂｾｯﾃｲ
```

＜ CM ファイルメニュー画面＞

3. コピー元 CM ファイル選択画面を表示する。

CMファイルメニュー画面から、『4-6.ファイルコピー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMﾌｧｲﾙﾒﾆｭｰ
4-6.ﾌｧｲﾙｺﾋﾟｰ
```

＜ CM ファイルメニュー画面＞

```
4-6.ﾌｧｲﾙｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰﾓﾄ:C001      10.3M
```

＜コピー元 CM ファイル選択画面＞

4. コピー元 CM ファイル選択画面で、コピー元の CM ファイルを選択する。

選択上、下ボタンでコピーする CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

5. コピー先の CM ファイルを選択し、コピーをする

・コピー先選択画面でコピー先の空き CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・コピーが終了すると、『コピーシマシタ』と、約１０秒表示してから CM ファイルメニュー画面に戻ります。

```
4-6.ﾌｧｲﾙｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰｻｷ:C002
```

＜コピー先選択画面＞

メモ

- 選択したコピー先の CM ファイル番号が録音済みの場合、『* ファイルシヨウズミ』とエラー表示されます。先に CM ファイルを消去してからコピーを実行してください。
- CMカードの容量不足でコピーを作成できなかった場合は、『* アキヨウリョウガタリマセン』とエラー表示されます。

CM ファイルを消去する

不要になった CM ファイルを削除します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

*2.*CM ファイルメニュー画面を表示する。

メインメニューから『4.CM ファイルメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMファイルメニュー
4-1.オンシツセッテイ
```

< CM ファイルメニュー画面>

3. 消去ファイル選択画面を表示する。

CM ファイルメニュー画面から、『4-7. ファイルショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4.CMファイルメニュー
4-7.ファイルショウキョ
```

< CM ファイルメニュー画面>

▼

```
4-7.ファイルショウキョ
センタク:C001        10.3M
```

<消去ファイル選択画面>

4. 消去するファイルを選択する。

選択上、下ボタンで消去する CM ファイルを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
4-7.ファイルショウキョ
センタク:C001        10.3M
```

消去する CM ファイル

*5.*CM ファイルを消去する。

・消去確認画面で『ハイ』を選択し、決定/実行ボタンを押します。
・消去確認画面で『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去ファイル選択画面(手順 **3.**)に戻ります。
・CM ファイルが消去されると、『ショウキョシマシタ』と、約１０秒表示してから消去ファイル選択画面(手順**3.**)に戻ります。

```
4-7.ファイルショウキョ C001
ショウキョシマスカ? ハイ/イイエ
```

<消去確認画面>

メモ

- CM ファイルを消去する場合、不要な CM プレイリストも消去してください。CM プレイリストが 499 個作成されていると、CM ファイル番号に空きがあっても録音ができません。(☞ 114 ページ「CM プレイリストを消去する」参照)

CM プレイリストを設定する

・CM プレイリストに対して、各設定を行います。
・CM プレイリストは最大 499 個(P001 ～ P499)作成できます。

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー
プレイリスト名	カタカナ、アルファベットなど	P001 ～ P499	『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-1. プレイリストメイ』
CM ファイル番号	C001 ～ C999	−	『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-2. プレイリストサクセイ』
ファイル音量	0 ～ 10	8	
ブランク時間	0秒～99分　0.5 秒毎に設定	00:00.0	
再生音量	0 ～ 9	9	『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-3. サイセイオンリョウ』

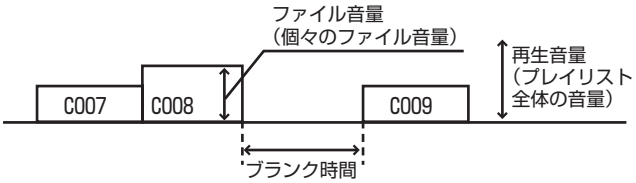
プレイリスト名　:本機に録音したときに自動的に作成されると、「P001 ～ P499」のように連番で名前がつけられています。
下記の文字から最大 8 文字で名前を変更できます。
・カタカナ
・アルファベット　小文字、大文字
・数字
・記号(^、#、$、%、&、(、)、¯、_、{ 、 }、!)
・空欄

CM ファイル番号:再生したいファイル番号を順番に登録します。
ひとつのプレイリストに最大 100 ファイル登録できます。
チャイム音など、共通で使用するファイルは複数のプレイリストに登録することができます。

ブランク時間　:CM ファイル再生時、次の CM ファイル再生開始までのブランク時間(間隔)を設定します。
メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
※プレイリストを繰り返し再生するときの再生間隔を設定するときは、起動番号設定の「再生インターバル」で設定します。
(☞ 125 ページ)

ファイル音量　:各 CM ファイルの音量ばらつきを調整する場合や、意図的に一部の CM ファイル音量を変えたいときなどに設定します。

再生音量　:プレイリスト全体の音量を設定します。



・CM プレイリストの設定を行う前に、下記の記入例を参考にプレイリスト設定シートを作成してください。
プレイリスト設定シートはコピーしてお使いください。(☞ 157 ページ)

プレイリスト設定シート記入例

プレイリスト番号	P001			
プレイリスト名	サービスデー			
メッセージ番号 または ミュージック番号	ファイル番号	音量	ブランク時間	内　容
001	C007	7	00:00. 0	いらっしゃいませ。
002	C008	6	00:00. 5	ご来店いただきまして・・・
003	C009	7	(※)	本日はラッキーサービスデーで・・・・・

※ CM プレイリストの最終メッセージに設定した「ブランク時間」は無効となります。

CM プレイリストによる再生例

・録音したCMファイルをCMプレイリストにメッセージとして登録することで、複数の CM ファイルを組み合わせて放送することができます。
・CM プレイリスト作成、パターンまたは制御入力の各種設定によりさまざまな放送ができます。

用語について

CM ファイル　：録音した音声データ。(C001 ～ C999)

BGM ファイル：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)

メッセージ　：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック　：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト　：CM プレイリスト(P001 ～ P499)：再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ～ P999)：再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

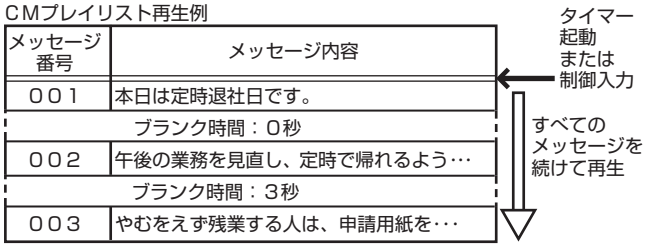
■複数のメッセージを組み合わせて、ひとつのメッセージとして再生する

1回の起動で、複数のメッセージで構成した CM プレイリストを続けて再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-9. 制御入力」	116
ブランク時間	メッセージ 01：0秒 メッセージ 02：3 秒	「3-2-2. プレイリスト作成」	106

CMプレイリスト再生例



メモ

- パターンの設定(タイマー制御)では、「再生モード」は常に連続再生に設定されます。

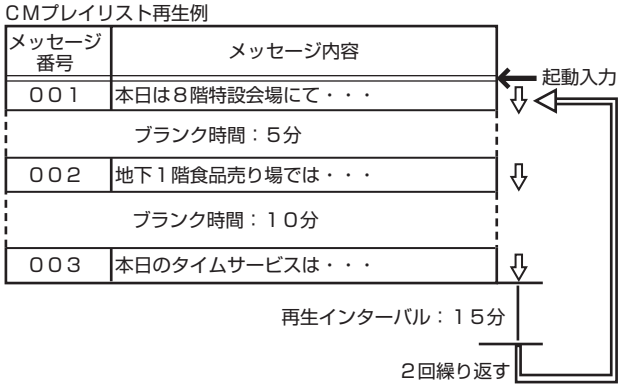
■複数のメッセージを、時間の間隔を空けて繰り返して再生する

1回の起動で、複数のメッセージを任意の時間を空けて、繰り返して再生します。

設定例

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	連続再生	「3-9. 制御入力」 ※制御入力による再生	116
再生回数	2回		
再生インターバル	15分		
再生回数	2回	「3-3-2. パターン作成」 ※タイマー制御による再生	72
再生インターバル	15分		
シャッフル	オフ		
ブランク時間	メッセージ 01：5分 メッセージ 02：10分	「3-2-2. プレイリスト作成」	106

CMプレイリスト再生例



メモ

- パターンの設定(タイマー制御)では、開始・終了時間を指定すると、その間プレイリストの再生を繰り返します。

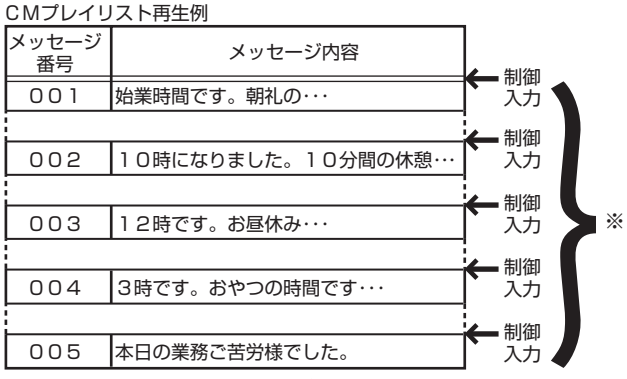
■再生する順番が決まっているメッセージを、起動が入るごとに放送する

起動が入るごとに、CM プレイリスト内のメッセージを 1 つづつ順番に再生します。

設定例(制御入力を使用して再生する場合)

設定項目	設定内容	設定メニュー	参照ページ
再生モード	単独再生	「3-9. 制御入力」	116

CMプレイリスト再生例

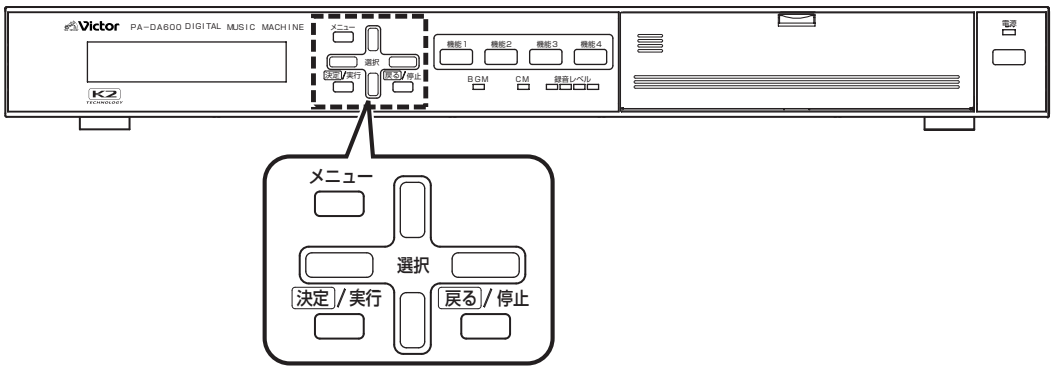


※ 制御入力が入るごとにメッセージを1つずつ再生

メモ

- パターンの設定(タイマー制御)では、「再生モード」は常に連続再生に設定されます。

CM プレイリストを設定する（つづき）



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM プレイリスト名を変更する

・プレイリスト名は最大8文字まで入力可能です。
・工場出荷時のプレイリスト名は"P+ 3桁の数字"(例:『P001』)で設定されています。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

*3.*CM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-1. プレイリストメイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
```

< CM プレイリストメニュー画面>

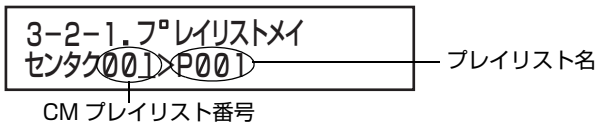
▼

```
3-2-1.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾒｲ
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

< CM プレイリスト選択画面>

4. 名前をつけたい CM プレイリストを選択する。

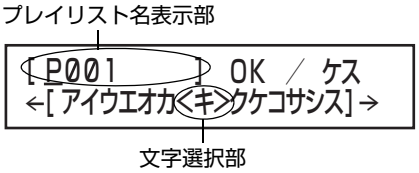
選択上、下ボタンで、名前をつけたいCMプレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



< CM プレイリスト選択画面>

5. 選択した CM プレイリストの名前を変更する。

・文字選択部から任意の文字を選択して入力します。
・選択上、下ボタンでカーソルを「文字選択部」⇔「OK」⇔「ケス」⇔「プレイリスト名表示部」の順に移動できます。



プレイリスト名表示部 :文字選択部から選択した任意の文字をカーソル(_)のある位置に挿入します。選択左、右ボタンでカーソルの位置を移動します。

『OK』 :入力が終了したら、『OK』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部の内容を確定します。

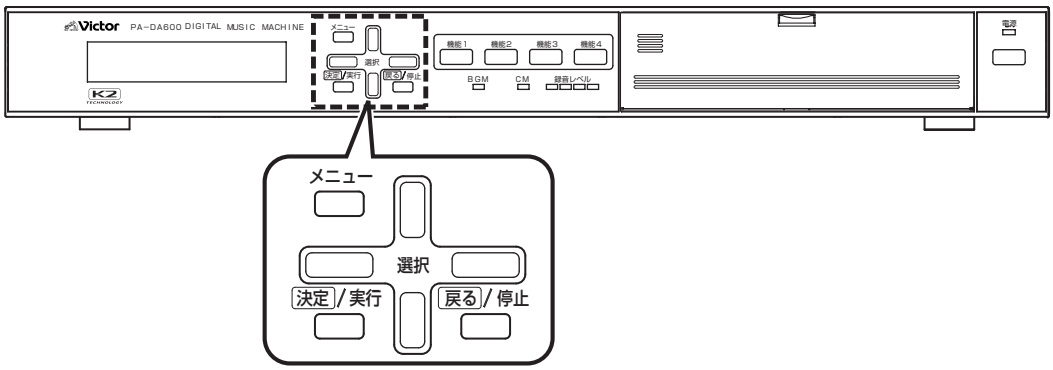
『ケス』 :『ケス』を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置の文字が削除されます。

文字選択部 :文字を選択するときは、選択上、下ボタンでカーソルを文字選択部に移動し、選択左、右ボタンで文字を選択します。画面中央の<>カーソル内にある文字が現在選択されている文字です。決定/実行ボタンを押すと、プレイリスト名表示部のカーソルのある位置に入力されます。

6. プレイリスト名を確定する。

・入力が終了したら、『ＯＫ』を選択して決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押さずに、戻る / 停止ボタンを押すと、プレイリスト名を確定せずにCMプレイリスト選択画面に戻ります。
・入力したプレイリスト名が確定すると、自動的に CM プレイリスト選択画面に戻ります。

CM プレイリストを設定する（つづき）



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

メッセージを追加する

・メッセージを追加し、CM プレイリストの設定を行います。
・1つの CM プレイリストには最大 100 個のメッセージが登録できます。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから、選択上、下ボタンで『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

*3.*CM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-2-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ
```

< CM プレイリストメニュー画面>

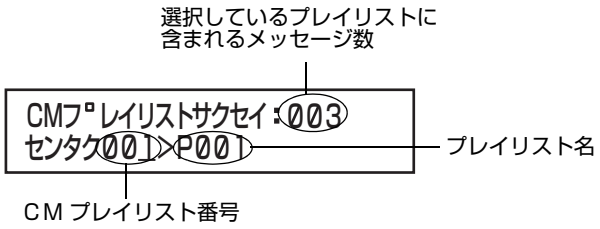
▼

```
CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:003
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

< CM プレイリスト選択画面>

4. 設定する CM プレイリストを選択する。

選択上、下ボタンで作成する CM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



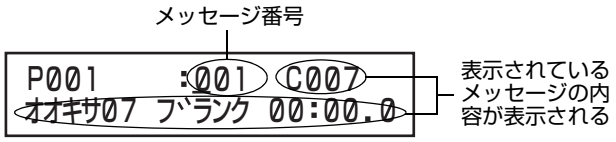
＜ CM プレイリスト選択画面＞

メモ

- 選択したCMプレイリストに１つもメッセージが登録されていない場合は、約１０秒『シンキツイカシマス』と表示され、自動的にメッセージ設定画面(手順 ***7.***)が表示されます。

5. 追加したいメッセージの前または後ろのメッセージ番号を選択する。

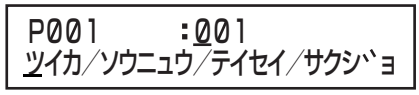
メッセージ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜メッセージ選択画面＞

6. メッセージ項目を選択する。

『ツイカ』または『ソウニュウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜メッセージ項目選択画面＞

『ツイカ』　:手順 ***5.*** で選択したメッセージの後ろに新規メッセージが登録されます。

『ソウニュウ』:手順 ***5.*** で選択したメッセージの前に新規メッセージが登録されます。

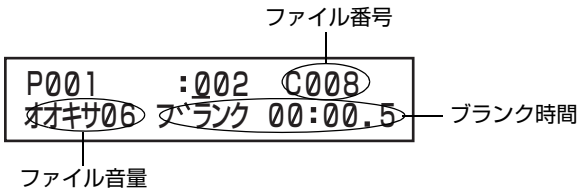
メモ

- メッセージがすでに 100 個あるときは、メッセージを新規登録できません。『* ステップスウガサイダイデス』と、約10秒表示され、メッセージ項目選択画面(手順**6.**)に戻ります。

7. メッセージを設定する。

・選択左、右ボタンで設定項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。

・設定の終了後、決定 / 実行ボタンを押し、設定内容を確定します。



＜メッセージ設定画面(例:手順 **6.** で『ツイカ』を選択した場合)＞

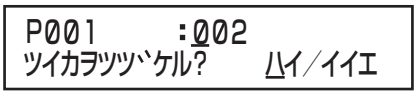
ファイル番号　:再生する CM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する CM ファイルを複数のCMプレイリストに登録することができます。

ファイル音量　:CM プレイリストに登録した各 CM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の CM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-2-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)

ブランク時間(分 / 秒 / コンマ 5 秒)　:CM ファイル再生時、次の CM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00. 0』)

メモ

- 設定内容を確定すると、継続登録確認画面が表示されます。『ハイ』または『イイエ』を選択し、決定/実行ボタンを押してください。

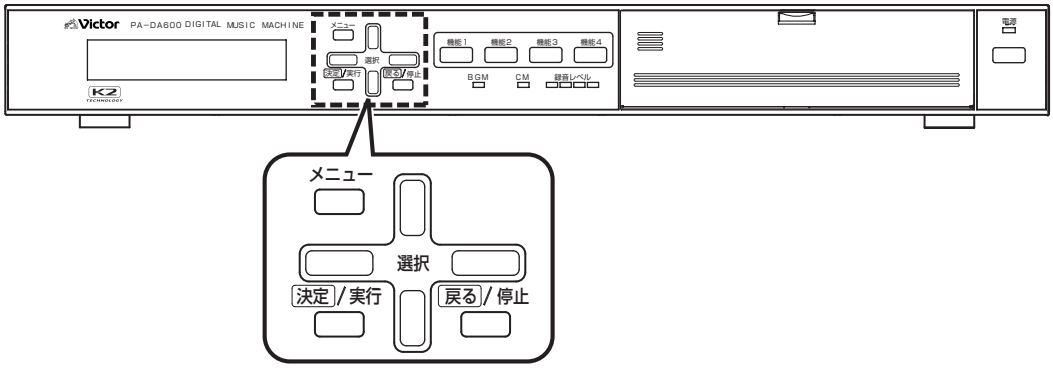


＜継続登録選択画面(例:手順**6.**で『ツイカ』を選択した場合)＞

『ハイ』　:メッセージを続けて登録します。メッセージ設定画面(手順 ***7.***)に戻ります。

『イイエ』:メッセージ登録を終了します。メッセージ選択画面(手順 ***5.***)に戻ります。

CMプレイリストを設定する（つづき）



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

メッセージを修正する

選択したメッセージの設定内容を修正します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

*3.*CM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-2-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ
```

< CM プレイリストメニュー画面>

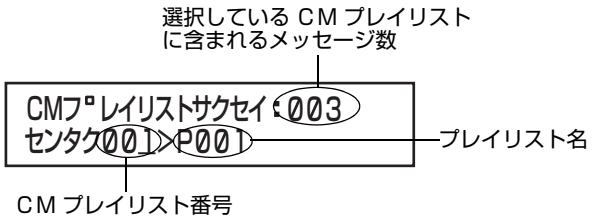
▼

```
CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:003
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

< CM プレイリスト選択画面>

4. 修正したいメッセージが登録されている CM プレイリストを選択する。

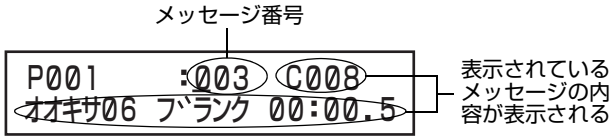
選択上、下ボタンで修正する CM プレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



< CM プレイリスト選択画面>

5. 修正するメッセージ番号を選択する。

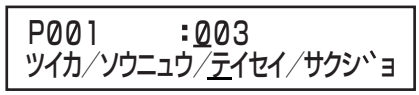
メッセージ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<メッセージ選択画面>

6. メッセージ項目を選択する。

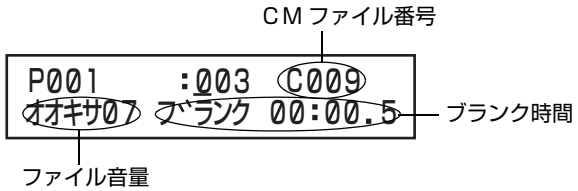
『テイセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<メッセージ項目選択画面>

7. メッセージを修正する。

・選択左、右ボタンで修正する項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・修正終了後、決定 / 実行ボタンを押し、修正内容を確定します。



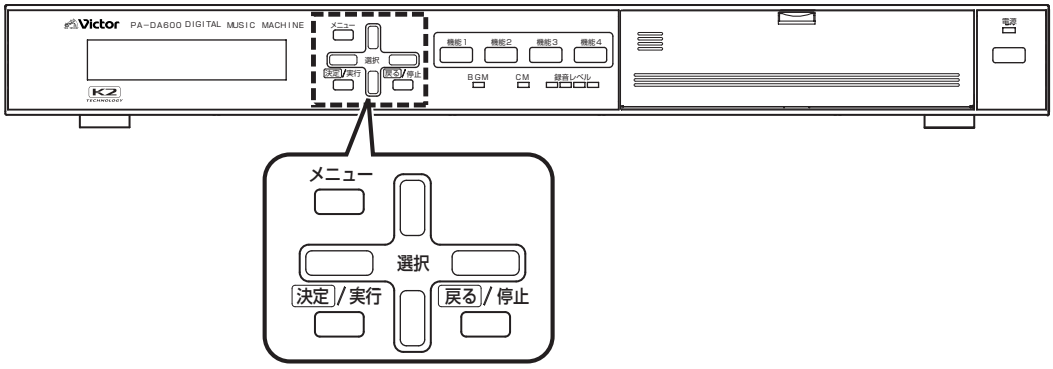
<メッセージ設定画面(例:手順 **6.** で『テイセイ』を選択した場合)>

ファイル番号　:再生する CM ファイルを選択します。
※チャイム音など、共通で使用する CM ファイルを複数の CM プレイリストに登録することができます。

ファイル音量　:CM プレイリストに登録した各 CM ファイルの音量のばらつきを調整する場合や、意図的に一部の CM ファイル音量を変更したいときなどに設定します。
※プレイリスト全体の音量を調整するときは、「3-2-3. 再生音量」で設定します。
(工場出荷時:『8』)

ブランク時間(分 / 秒 / コンマ 5 秒)　:CM ファイル再生時、次の CM ファイル再生開始までのブランク(間隔)時間を設定します。
0 秒から 99 分まで 0.5 秒毎に設定できます。メッセージを続けて再生する場合の間隔の調整や、一定間隔を空けてメッセージを順次再生することができます。
(工場出荷時:『00:00. 0』)

CMプレイリストを設定する（つづき）



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

メッセージを削除する

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

*3.*CM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-2. プレイリストサクセイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-2-2.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ
```

< CM プレイリストメニュー画面>

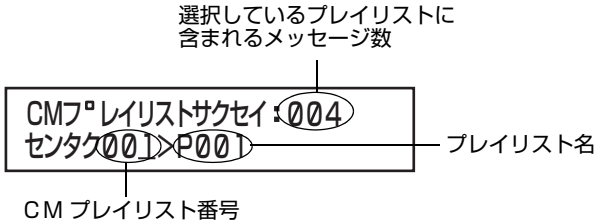
▼

```
CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｻｸｾｲ:003
ｾﾝﾀｸ001>P001
```

< CM プレイリスト選択画面>

4. 削除したいメッセージが登録されているCMプレイリストを選択する。

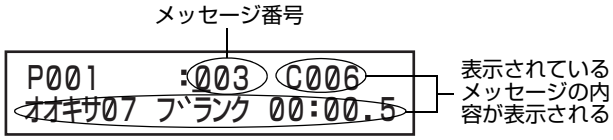
選択上、下ボタンで修正するCMプレイリスト番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜ CM プレイリスト選択画面＞

5. 削除するメッセージ番号を選択する。

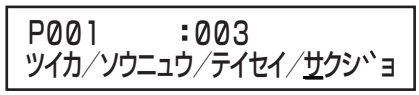
メッセージ番号を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜メッセージ選択画面＞

6. メッセージ項目を選択する。

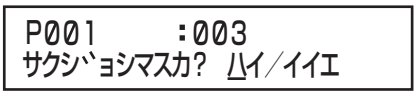
『サクジョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜メッセージ項目選択画面＞

7. メッセージを削除する。

・メッセージ削除確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・メッセージが削除されると、メッセージ選択画面（手順 ***5.***）に戻ります。
・削除を中止する場合は、『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押します。削除を中止すると、メッセージ項目選択画面（手順 **6.**）に戻ります。

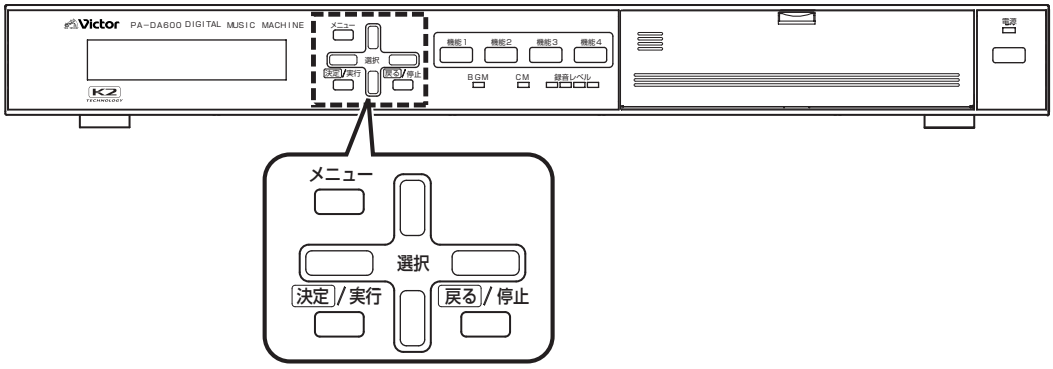


＜メッセージ削除確認画面＞

メモ

- 選択したメッセージを削除し、CM プレイリスト選択画面に戻ると、削除したメッセージの次のメッセージの番号が繰り上がって表示されます。

CMプレイリストを設定する（つづき）



用語について

CM ファイル　：録音した音声データ。(C001 ～ C999)

BGM ファイル：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)

メッセージ　：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

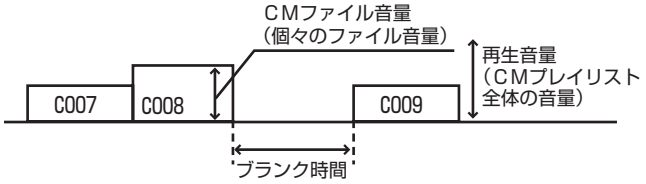
ミュージック　：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト　：CM プレイリスト（P001 ～ P499）：
再生させるメッセージを登録したリスト（一覧）のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト（P501 ～ P999）：
再生させるミュージックを登録したリスト（一覧）のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

再生音量レベルを設定する

CM プレイリスト全体の音量を設定します。



1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3.CM プレイリスト選択画面を表示する。

・プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-3. サイセイオンリョウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・メッセージが登録されていない CM プレイリストは表示されません。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

▼

```
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-2-3.ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ
```

＜ CM プレイリストメニュー画面＞

▼

```
3-2-3.ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ
ｾﾝﾀｸ001>P001      :09
```

現在の出力レベル

＜ CM プレイリスト選択画面＞

4. 出力レベルを設定する。

・選択上、下ボタンで0～9の範囲で選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押し、出力レベルを確定すると、CM プレイリスト選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。
・戻る / 停止ボタンを押すと、出力レベルを変更せずに CM プレイリスト選択画面(手順 ***3.***)に戻ります。

```
ｻｲｾｲｵﾝﾘｮｳ P001
ｵｵｷｻ:07
```

<出力レベル設定画面>

『オオキサ』: CM プレイリストの再生音量を設定します。
0(最小音量)～9(最大音量)の範囲で設定します。
(工場出荷時:『9』)

CM プレイリストをコピーする

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. コピー元プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-4. プレイリストコピー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-2-4.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｺﾋﾟｰ
```

< CM プレイリストメニュー画面>

▼

```
3-2-4.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰﾓﾄ 001>ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｰ
```

プレイリスト名

CM プレイリスト番号

<コピー元プレイリスト選択画面>

メモ

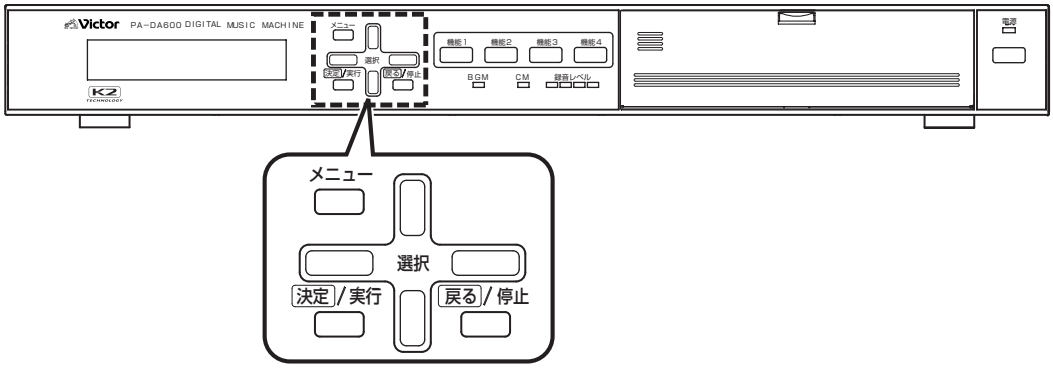
- 下記の状態の場合は、コピーすることができません。
  - すでに 499 個の CM プレイリストが作成されている場合。LCD 画面に約 10 秒間『* アキプレイリストナシ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。
  - プレイリスト名が表示されない CM プレイリストは未設定のためコピーできません。LCD 画面に約 10 秒間『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』と表示し、コピー元プレイリスト選択画面に戻ります。

4. コピー元のプレイリストを選択してコピーする。

・選択上、下ボタンでコピーする CM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、コピーを実行します。
・戻る / 停止ボタンを押すと、プログラムメニュー画面に戻ります。
・一番小さい空きプレイリスト番号に自動的にコピーされます。
・コピーが終了すると、LCD 画面に約 10 秒間『コピーシマシタ』と表示し、プログラムメニュー画面に戻ります。

```
ｺﾋﾟｰｼﾏｼﾀ
ｺﾋﾟｰｻｷ 002>ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｰ
```

CMプレイリストを設定する（つづき）



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

CM プレイリストを消去する

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3.CM プレイリスト選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、選択上、下ボタンで『3-2.CM プレイリスト』→『3-2-5. プレイリストショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

▼

```
3-2.CMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
3-2-5.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｼｮｳｷｮ
```

＜ CM プレイリストメニュー画面＞

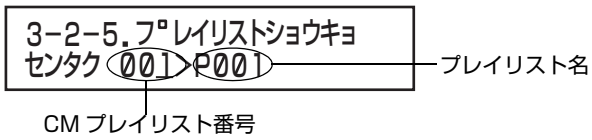
▼

```
3-2-5.ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄｼｮｳｷｮ
ｾﾝﾀｸ 001>P001
```

＜ CM プレイリスト選択画面＞

4. 消去するプレイリストを選択する。

選択上、下ボタンで消去するCMプレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



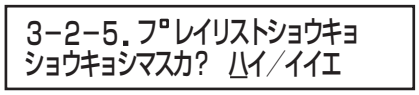
< CM プレイリスト選択画面>

5. 消去をする。

・消去確認画面で『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、消去せずに CM プレイリスト選択画面(手順 ***2.***)に戻ります。

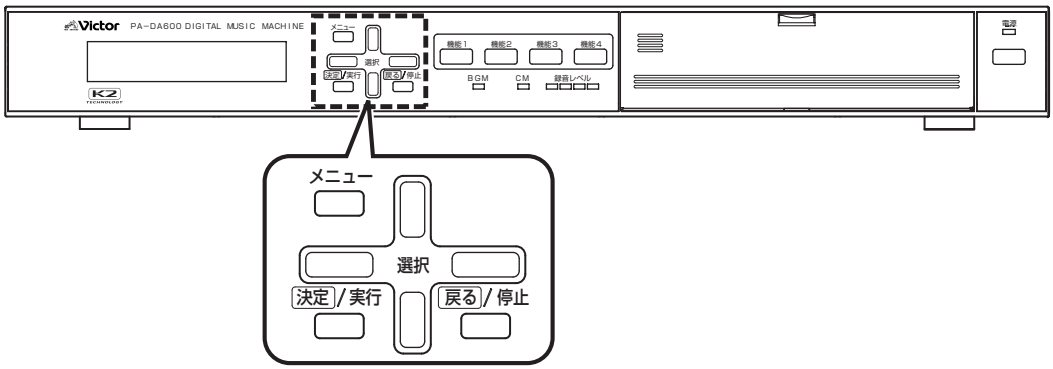
・プレイリストを消去すると、LCD 画面に約 10 秒『ショウキョシマシタ』と表示し、プレイリスト選択画面に戻ります。



<消去確認画面>

制御入力端子に動作を割り当てる

・本機背面の制御入力端子に機能を設定します。
・「プレイリスト」を設定した場合、再生するプレイリスト、再生動作（再生モード、再生回数など）の設定をします。



用語について

CM ファイル	：録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	：CM プレイリスト（P001 ～ P499）： 再生させるメッセージを登録したリスト（一覧）のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト（P501 ～ P999）： 再生させるミュージックを登録したリスト（一覧）のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子の機能設定について

・制御入力 1 ～ 6 端子は、起動番号 E1 ～ E6 に対応しています。
・起動番号 E1 ～ E6 には、下表のいずれかの機能を設定することができます。
・「プレイリスト」を選択した場合、再生するプレイリスト、再生動作（再生モード、再生回数など）の設定をします。

制御入力端子	起動番号	設定内容
1	E1	「なし」、「パターン開始」、「パターン停止」、「リレーオン」、「リレー停止」、「プレイリスト」、「BGM 停止」、「CM 停止」、「フェード」、「CM 録音」、「CM 消去」のどれかを選択可能。
2	E2	
3	E3	
4	E4	
5	E5	
6	E6	上記と「時計校正」のどれかを選択可能。

制御入力端子に動作を割り当てる

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

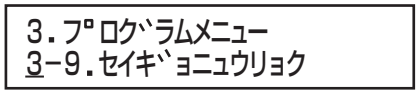
メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

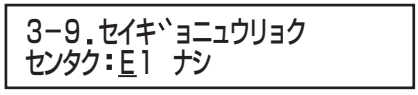
＜プログラムメニュー画面＞

3. 端子番号選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-9. セイギョニュウリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



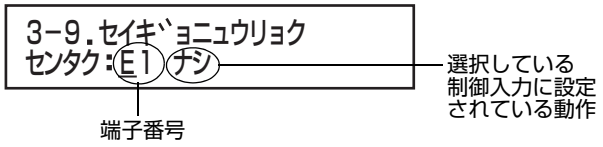
＜プログラムメニュー画面＞



＜端子番号選択画面＞

4. 設定する端子番号を選択する。

選択上、下ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



＜端子番号選択画面＞

5. 動作を割り当てる。

＜動作選択画面＞

・動作選択画面で『プレイリスト』を選択した場合のみ、手順 **6.**(☞ 119 ページ)に進みます。

・動作選択画面から、選択上、下ボタンで下記のいずれかの動作を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、端子番号選択画面に戻ります。

『ナシ』	:信号が入力されても動作しません。『E1』～『E6』で選択可能。
『パターンテイシ』	:信号が入力されると、パターンの動作を停止します。『E1』～『E6』で選択可能。
『リレーテイシ』	:信号が入力されると、制御出力端子(リレー)に接続している外部機器の作動を停止します。
『BGM テイシ』	:信号が入力されると、BGM 再生動作を停止します。『E1』～『E6』で選択可能。
『CM テイシ』	:信号が入力されると、CM 再生動作を停止します。『E1』～『E6』で選択可能。
『フェード』	:信号が入力されると、最優先音源をミキシングレベルまで下げます。『E1』～『E6』で選択可能。
『トケイコウセイ』	:信号が入力されると、本機内蔵の時計を校正します。『E6』でのみ設定可能。(☞ 24 ページ「時刻補正機器を接続する」参照)

・動作選択画面から、選択上、下ボタンで下記のいずれかの動作を選択して決定 / 実行ボタンを押すと、選択した動作の詳細設定画面が表示されます。

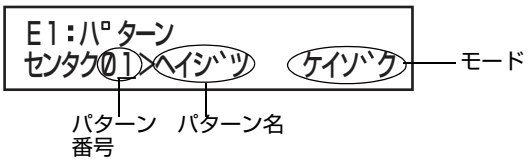
・『プレイリスト』　・『パターンカイシ』
・『リレーオン』　・『CM ロクオン』
・『CM ショウキョ』

■『プレイリスト』を選択した場合

・信号が入力されると、プレイリストを再生します。
・制御入力1～6端子(『E1』～『E6』)へ機能設定が可能です。
☞ 手順 **6.**(119 ページ)へ進む。

■『パターンカイシ』を選択した場合

・信号が入力されると、パターンの動作を開始します。
・制御入力1～6端子(『E1』～『E6』)へ機能設定が可能です。
・パターン開始・詳細設定画面から、選択左、右ボタンで項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定して端子番号選択画面に戻ります。

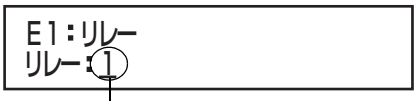


＜パターン開始・詳細設定画面＞
(例:制御入力 1 端子に、パターン 01(ヘイジツ)を『ケイゾク』モードで割り当てる)

パターン番号　:割り当てたいパターンを選択。
モード　:『イチニチ』または『ケイゾク』を選択。
『イチニチ』;割り当てたパターンを、翌日に自動的に解除する。
『ケイゾク』;手動で解除する。

■『リレーオン』を選択した場合

・信号が入力されると、制御出力端子(リレー)に接続している外部機器が作動します。
・制御入力1～6端子(『E1』～『E6』)へ機能設定が可能です。
・リレーオン・詳細設定画面から、選択上、下ボタンで制御出力端子(リレー)番号を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定して端子番号選択画面に戻ります。

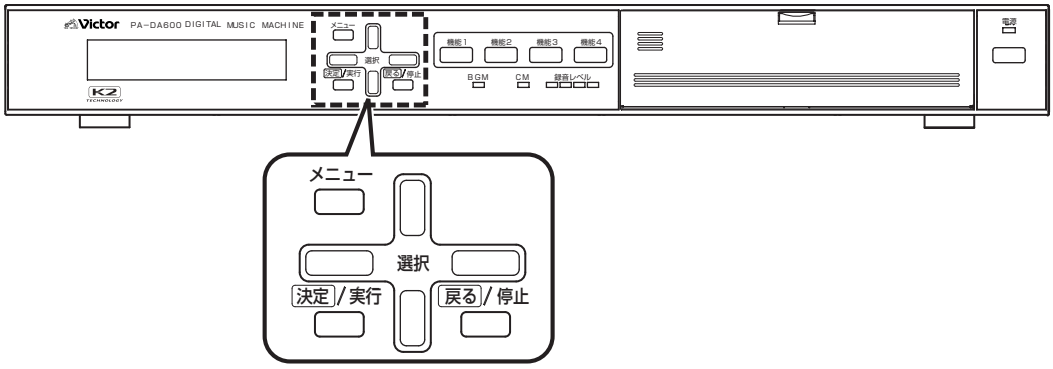


制御出力端子(リレー)番号
＜リレーオン・詳細設定画面＞

メモ

- 制御出力4、5の機能が「CM連動」または「BGM連動」になっている場合は、『4』、『5』は表示されません。
制御出力設定をしたい場合は、制御出力 4、5 の機能を「制御出力」に設定してください。

制御入力端子に動作を割り当てる(つづき)



用語について

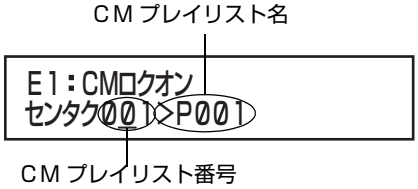
CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子に動作を割り当てる(つづき)

5. 動作を割り当てる。(つづき)

■『CM ロクオン』を選択した場合

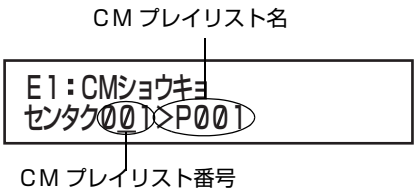
- 信号が入力されると、設定した CM プレイリストに録音します。
- 制御入力1～6端子(『E1』～『E6』)へ機能設定が可能です。
- CM 録音・詳細設定画面から、選択上、下ボタンで CM プレイリスト番号を設定します。
- メッセージが一つ以上登録されている CM プレイリストのみ選択できます。
- 決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定して端子番号選択画面に戻ります。



< CM 録音・詳細設定画面>

■『CM ショウキョ』を選択した場合

- 信号が入力されると、設定した CM プレイリストのメッセージをショウキョします。
- 設定した CM プレイリストに複数のメッセージが登録されている場合は、メッセージ1に登録されている CM ファイルを消去します。
- 制御入力1～6端子(『E1』～『E6』)へ機能設定が可能です。
- CM 消去・詳細設定画面から、選択上、下ボタンで CM プレイリスト番号を設定します。
- 決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定して端子番号選択画面に戻ります。



< CM 消去・詳細設定画面>

6.BGM/CM 選択画面を表示する。

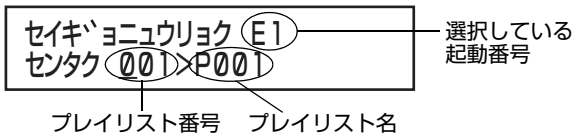
選択左、右ボタンで『BGM』または『CM』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

```
ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ E1
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

< BGM/CM 選択画面>

7.選択した端子番号で再生するプレイリストを選択する。

・選択上、下ボタンでプレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・メッセージまたはミュージックが入力されているプレイリストが表示されます。



<プレイリスト選択画面>

メモ

- 設定されていないプレイリストを選択すると、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』とエラー表示されます。

8. 起動番号の詳細設定をする。

・プレイリスト再生に関する各設定を行います。
・起動番号の詳細設定は、再生モード設定から行います。

設定項目	選択項目(工場出荷時設定)	参照ページ
再生モード	連続 / 単独(連続)	119
再生回数	1回～99回、エンドレス(1回)	120
再生インターバル	分:0分～99分まで1分毎 秒:0秒～50秒まで10秒毎(0分0秒)	120
シャッフル	オン / オフ(オフ)	121
通常・緊急優先設定	通常 / 緊急(通常) ※ CM プレイリストにのみ設定可能。	121

■再生モード設定

・選択左、右ボタンで、『レンゾク』または『タンドク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押し、設定を確定すると、次の設定画面に進みます。

```
E1:CM P001
ｻｲｾｲﾓｰﾄﾞ:ﾚﾝｿﾞｸ/ﾀﾝﾄﾞｸ
```

<再生モード選択画面>

『レンゾク』:1 回の制御入力信号でプレイリスト内のメッセージやミュージックをすべて再生します。
(☞ 120 ページ「再生回数設定」へ進む)

『タンドク』:制御入力信号が入力されるごとに、プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを 1 つずつ順番に再生します。
(☞ 121 ページ「シャッフル設定」へ進む)

(工場出荷時:『レンゾク』)

連続再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…

制御入力
すべてのメッセージを続けて再生

単独再生の動作イメージ

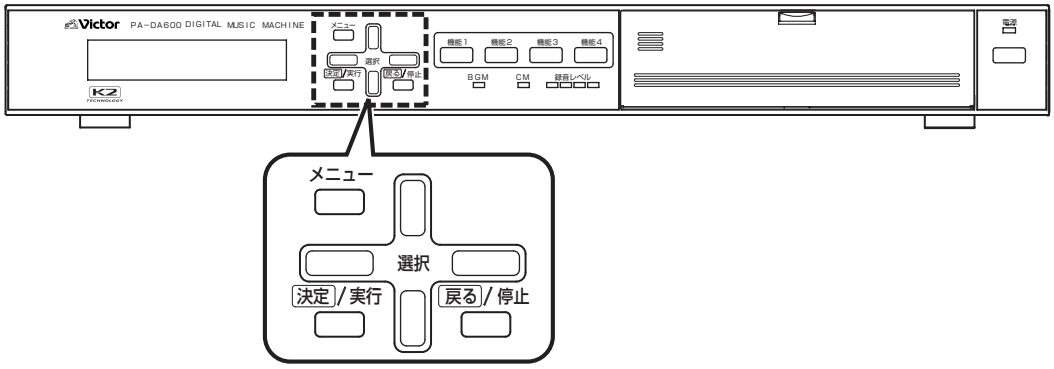
プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容	
001	始業時間です。朝礼の…	制御入力
002	10時になりました。10分間の休憩…	制御入力
003	12時です。お昼休み…	制御入力
004	3時です。おやつの時間です…	制御入力
005	本日の業務ご苦労様でした。	制御入力

※

※ 制御が入るごとにメッセージを1つずつ再生

制御入力端子に動作を割り当てる(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子に動作を割り当てる(つづき)

8. 端子番号の詳細設定をする。(つづき)

■再生回数設定

選択上、下ボタンで、再生回数(1回～ 99 回)または『エンドレス』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
E001:CM P001
ｻｲｾｲｶｲｽｳ: 01
```

<再生回数選択画面>

再生回数　:プレイリスト内のすべてのメッセージまたはミュージックの再生を繰り返す回数を設定します。
1回～ 99 回まで設定できます。
(☞ 2回以上に設定した場合、120 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)
※再生回数を1回に設定した場合のみ、「シャッフル設定」へ進みます。(☞ 121 ページ)

『エンドレス』:停止信号が入力されるまで再生を繰り返します。
(☞ 120 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)

(工場出荷時:1回)

メモ

- 再生回数の設定は、再生モードが「連続再生」のときに対応します。「単独再生」のときは設定できません。

■再生インターバル時間設定

・プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
・選択左、右ボタンで、分と秒を切り換えます。
・選択上、下ボタンで、分または秒の値を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、「シャッフル設定」へ進みます。
(☞ 121 ページ)

```
E1:CM P001
ｻｲｾｲｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ 00:00
```

<再生インターバル時間設定画面>

分　:0分～ 99 分まで1分毎に設定できます。

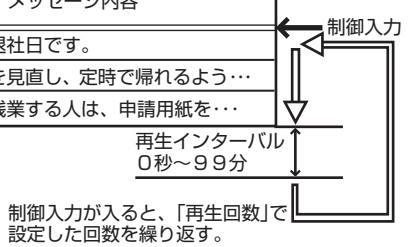
秒　:0秒～ 50 秒まで 10 秒毎に設定できます。

(工場出荷時:0秒)

「再生回数」と「再生インターバル」設定時の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容
001	本日は定時退社日です。
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう…
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を…



■シャッフル設定

・選択左、右ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、「通常・緊急優先設定」へ進みます。
(☞ 121 ページ)

```
E1:CM P001
ｼｬｯﾌﾙ:ｵﾝ/ｵﾌ
```

<シャッフル設定画面>

『オン』　:プレイリストに登録されているメッセージやミュージックを、メッセージ番号またはミュージック番号の順番に関係なく、ランダムに再生します。

『オフ』　:プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを番号順に再生します。

(工場出荷時:『オフ』)

■通常・緊急優先設定

・選択左、右ボタンで『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『キンキュウ』に設定したプレイリストは、信号入力の順番に関係なく『ツウジョウ』に設定したプレイリストよりも優先して再生されます。

```
E1:CM P001
ﾂｳｼﾞｮｳ/ｷﾝｷｭｳ
```

<通常・緊急優先先設定画面>
(工場出荷時:『ツウジョウ』)

ご注意

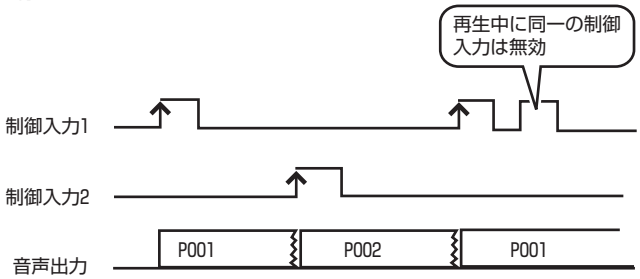
- BGM プレイリストには、「緊急」を設定できません。

メモ

- CM 連動出力端子を「緊急」に設定しておくと、「緊急」設定された制御入力端子番号のプレイリストを再生中に外部機器を制御することができます。
(☞ 127 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

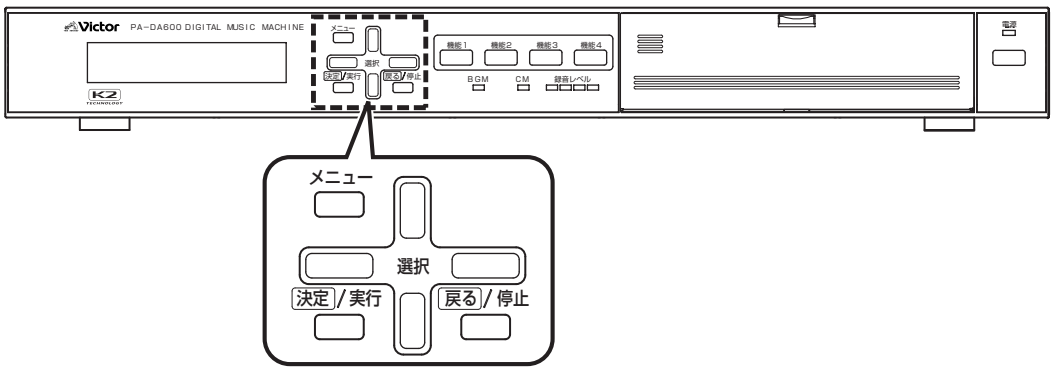
制御入力の優先順位について

・下記の内容は、制御入力 1 端子にプレイリスト P001、制御入力 2 端子にプレイリスト P002 を割り付けた場合を例として説明しています。
・再生中に制御信号が入力されると、再生中のプレイリストを停止し、次のプレイリストを再生します。
・パルス信号で制御します。1 回のパルス信号で 1 回再生します。
・「停止」信号を入力すると、再生中のプレイリストをすぐに停止します。



機能ボタンに動作を割り当てる

機能ボタンに動作を設定します。



用語について

CM ファイル　：録音した音声データ。(C001 ～ C999)

BGM ファイル：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)

メッセージ　　：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。

ミュージック　：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。

プレイリスト　：CM プレイリスト(P001 ～ P499)：
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。

BGM プレイリスト(P501 ～ P999)：
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3. 機能ボタン選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-8. キノウキー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-8.ｷﾉｳｷｰ
```

＜プログラムメニュー画面＞

▼

```
3-8.ｷﾉｳｷｰ
ｾﾝﾀｸ:F1 ﾅｼ
```

＜機能ボタン選択画面＞

4. 設定する機能ボタンを選択する。

選択上、下ボタンで設定する機能ボタンを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-8.ｷﾉｳｷｰ
ｾﾝﾀｸ:(F1) ﾅｼ
```

機能ボタン

＜機能ボタン選択画面＞

5. 動作を割り当てる。

・選択上、下ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『プレイリスト』を選択した場合のみ、手順 **6.** に進みます。
・『ナシ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押すと、機能ボタン選択画面に戻ります。

```
3-8.ｷﾉｳｷｰF1
ｾﾝﾀｸ:ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜動作選択画面＞

『パターンカイシ』:機能ボタンを押すと、パターンの動作を開始します。
『プレイリスト』 :機能ボタンを押すと、プレイリストを再生します。
『リレーオン』 :機能ボタンを押すと、制御出力端子(リレー)に接続している外部機器が作動します。
『ナシ』 :機能ボタンを押しても動作しません。

■『パターンカイシ』を選択した場合

・パターン開始・詳細設定画面から、選択左、右ボタンで項目を選択し、選択上、下ボタンで値を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定して機能ボタン選択画面に戻ります。

```
3-8.ｷﾉｳｷｰF1:ﾊﾟﾀｰﾝ
ｾﾝﾀｸ01 ﾍｲｼﾞﾂ ｹｲｿﾞｸ   ← モード
   ↑     ↑
パターン番号  パターン名
```

＜パターン開始・詳細設定画面＞
(例:機能１ボタンに、パターン 01(ヘイジツ)を『ケイゾク』モードで割り当てる)

パターン番号 :割り当てたいパターンを選択。
モード :『イチニチ』または『ケイゾク』を選択。
『イチニチ』;割り当てたパターンを、翌日に自動的に解除する。
『ケイゾク』;手動で解除する。

■『リレーオン』を選択した場合

・リレーオン・詳細設定画面から、選択上、下ボタンで制御出力端子(リレー)番号を設定します。
・決定 / 実行ボタンを押すと、設定が確定して機能ボタン選択画面に戻ります。

```
3-8.ｷﾉｳｷｰF1:ﾘﾚｰ
ﾘﾚｰ:1
```

制御出力端子(リレー)番号
＜リレーオン・詳細設定画面＞

メモ

- 制御出力4、5の機能が「CM連動」または「BGM連動」になっている場合は、『4』、『5』は表示されません。
  制御出力設定をしたい場合は、制御出力 4、5 の機能を「制御出力」に設定してください。

6.BGM/CM 選択画面を表示する。

選択左、右ボタンで、『BGM』または『CM』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-8.ｷﾉｳｷｰF1:ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
ｾﾝﾀｸ:BGM/CM
```

＜ BGM/CM 選択画面＞

7.選択した機能ボタンで再生するプレイリストを選択する。

・選択上、下ボタンでプレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・メッセージまたはミュージックが入力されているプレイリストが表示されます。

```
        選択している機能ボタン
            ↓
3-8.ｷﾉｳｷｰF1:ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
ｾﾝﾀｸ 00>P001 ← プレイリスト名
     ↑
プレイリスト番号
```

＜プレイリスト選択画面＞

メモ

- 設定されていないプレイリストを選択した場合、『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』とエラー表示されます。

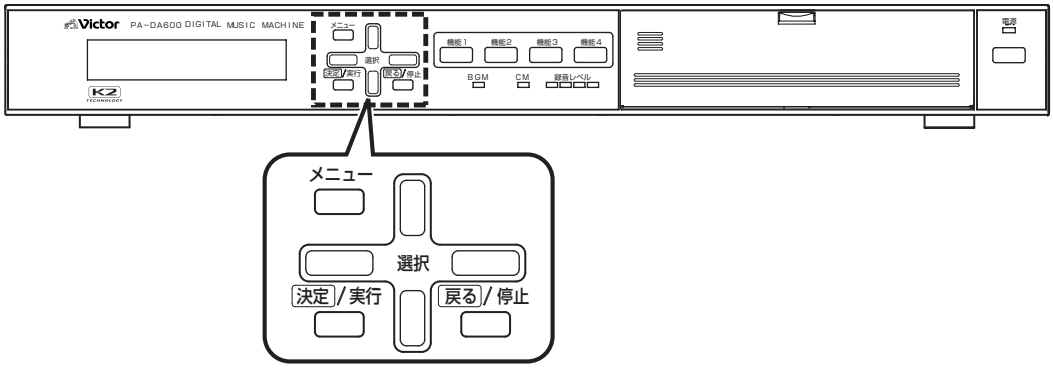
8. 機能ボタンの詳細設定をする。

・プレイリスト再生に関する各設定を行います。
・機能ボタンの詳細設定は、再生モード設定から行います。

設定項目	選択項目(工場出荷時設定)	参照ページ
再生モード	連続 / 単独(連続)	124
再生回数	1回～99回、エンドレス(1回)	125
再生インターバル	分:0分～99分まで1分毎 秒:0秒～50秒まで10秒毎(0分0秒)	125
シャッフル	オン / オフ(オフ)	125
通常・緊急優先設定	通常 / 緊急(通常)	125

次のページへつづく

機能ボタンに動作を割り当てる(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

8. 機能ボタンの詳細設定をする。(つづき)

■再生モード設定

・選択左、右ボタンで、『レンゾク』または『タンドク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・決定 / 実行ボタンを押し、設定を確定すると、次の設定画面に進みます。

```
F1:CM P001
ｻｲｾｲﾓｰﾄﾞ:ﾚﾝｿﾞｸ/ﾀﾝﾄﾞｸ
```

<再生モード選択画面>

『レンゾク』:機能ボタンを１回押すと、プレイリスト内のメッセージまたはミュージックをすべて再生します。
(☞ 125 ページ「再生回数設定」へ進む)

『タンドク』:機能ボタンを１回押すごとに、CM プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを1つずつ順番に再生します。
(☞ 125 ページ「シャッフル設定」へ進む)

(工場出荷時:『レンゾク』)

連続再生の動作イメージ

プレイリスト例

メッセージ番号	メッセージ内容	
001	本日は定時退社日です。	← 機能ボタンを押す
002	午後の業務を見直し、定時で帰れるよう･･･	↓ すべてのメッセージを続けて再生
003	やむをえず残業する人は、申請用紙を･･･	

単独再生の動作イメージ

プレイリスト例

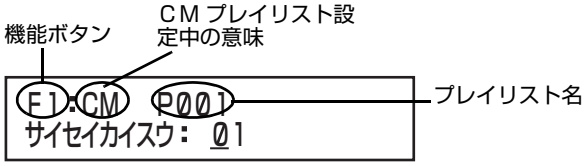
メッセージ番号	メッセージ内容	
001	始業時間です。朝礼の･･･	← 機能ボタンを押す
002	10時になりました。10分間の休憩･･･	← 機能ボタンを押す
003	12時です。お昼休み･･･	← 機能ボタンを押す
004	3時です。おやつの時間です･･･	← 機能ボタンを押す
005	本日の業務ご苦労様でした。	← 機能ボタンを押す

※

※機能ボタンを押すごとにメッセージを1つずつ再生

■再生回数設定

選択上、下ボタンで、再生回数(1回～ 99 回)または『エンドレス』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。



<再生回数選択画面>

再生回数　:プレイリスト内のすべての、メッセージまたはミュージックの再生を繰り返す回数を設定します。
1回～ 99 回まで設定できます。
(☞ 2回以上に設定した場合、125 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)
※再生回数を1回に設定した場合のみ、「シャッフル設定」へ進みます。(☞ 125 ページ)

『エンドレス』:戻る / 停止ボタンを押すまで、再生を繰り返します。
(☞ 125 ページ「再生インターバル時間設定」へ進む)

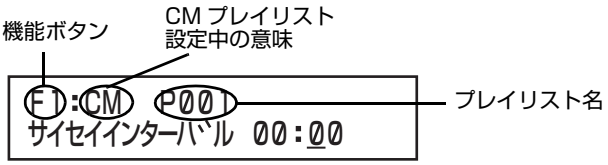
(工場出荷時:1回)

メモ

- 再生回数の設定は、再生モードが「連続再生」のときに対応します。「単独再生」のときは設定できません。

■再生インターバル時間設定

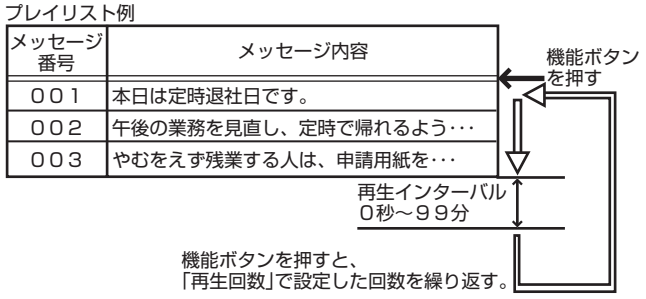
・プレイリストを繰り返し再生する場合の再生間隔を設定します。
・選択左、右ボタンで、分と秒を切り換えます。
・選択上、下ボタンで、分または秒の値を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、「シャッフル設定」へ進みます。
(☞ 125 ページ)



<再生インターバル時間設定画面>

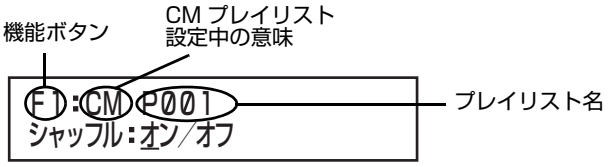
分　:0分～ 99 分まで1分毎に設定できます。
秒　:0秒～ 50 秒まで 10 秒毎に設定できます。
(工場出荷時:0秒)

「再生回数」と「再生インターバル」設定時の動作イメージ



■シャッフル設定

・選択左、右ボタンで選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、「通常・緊急優先設定」へ進みます。
(☞ 125 ページ)



<シャッフル設定画面>

『オン』　:プレイリストに登録されているメッセージまたはミュージックを、メッセージ番号またはミュージック番号の順番に関係なく、ランダムに再生します。

『オフ』　:プレイリスト内のメッセージまたはミュージックを番号順に再生します。

(工場出荷時:『オフ』)

■通常・緊急優先設定

・選択左、右ボタンで『ツウジョウ』または『キンキュウ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・「緊急」に設定したプレイリストは、機能ボタンを押す順番に関係なく「通常」に設定したプレイリストよりも優先して再生されます。

<通常・緊急優先先設定画面>
(工場出荷時:『ツウジョウ』)

ご注意

- BGM プレイリストには、「緊急」を設定できません。

メモ

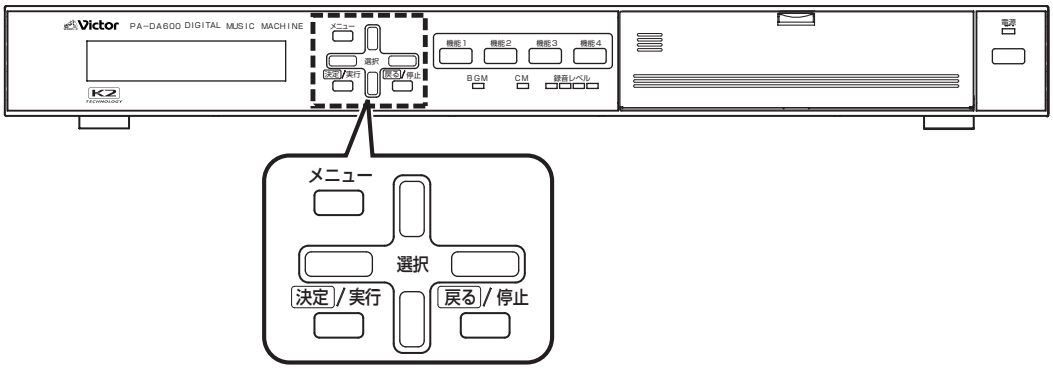
- CM 連動出力端子を「緊急」に設定しておくと、「緊急」設定された起動番号の CM プレイリストを再生中に外部機器を制御することができます。
(☞ 127 ページ「CM 連動出力設定をする」参照)

連動出力端子で外部機器を制御する

・本機背面の ＢＧＭ 連動出力端子または ＣＭ 連動出力端子に接続した外部機器を制御することができます。
・接続する外部機器に合わせて設定を行なってください。

ご注意

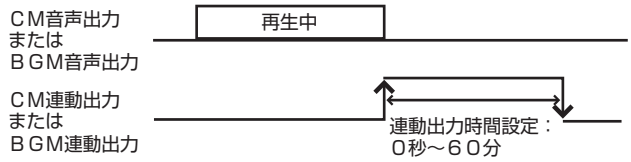
● ＢＧＭ 連動出力端子は、「緊急」、「ビジー」設定はできません。



外部機器の制御例

■再生終了後に外部機器を制御する（「2-9.BGM連動出力」または「2-10.CM連動出力」設定で『レンドウ』に設定）

・プレイリスト再生終了のタイミングで外部機器へ出力（メーク接点）します。
・連動出力時間を０秒～６０分まで設定できます。接続する外部機器に応じて設定してください。



■緊急指定したプレイリストの再生時に外部機器を制御する（「2-10.CM 連動出力」設定で『キンキュウ』に設定）

・「通常・緊急優先」設定を「緊急」に設定した起動番号が起動されると、外部機器を制御します。
・プレイリスト再生中は連続して出力（メーク接点）されます。

■録音 / 消去時のビジー出力として使用する（「2-10.CM 連動出力」設定で『ビジー』に設定）

・録音、ファイルの消去時に、録音 / 消去の状態表示をすることができます。
・詳しくは、「離れた場所から CM 録音を制御をする」（☞ 135 ページ）をご覧ください。

ＢＧＭ 連動出力設定をする

・信号が入力されると、BGM　連動端子に接続した外部機器を起動します。
・BGM 連動出力端子に設定できる機能は、「連動」のみです。連動時間を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. ＢＧＭ 連動出力設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-9.ＢＧＭ レンドウシュツリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-9.BGMﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

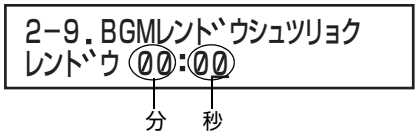
```
2-9.BGMﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
ﾚﾝﾄﾞｳ 00:00
```

＜ ＢＧＭ 連動出力設定画面＞

4. 連動出力設定をする。

・選択上、下ボタンで、『レンドウ』、『セイギョシュツリョク』のどちらかを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

『レンドウ』　:ファイル再生終了後に、BGM 連動端子に接続した外部機器を制御します。
連動時間を設定してください。



選択左、右ボタンで項目、分、秒を切り換えます。
選択上、下ボタンで値を切り換えます。
分;0 分から 60 分まで 1 分毎に設定可能。
秒;0 秒から 59 秒まで 1 秒毎に設定可能。
(工場出荷時:0 分 0 秒)

『セイギョシュツリョク』　:タイマー、本機の機能ボタンなどで制御します。

(工場出荷時:『レンドウ』)

CM 連動出力設定をする

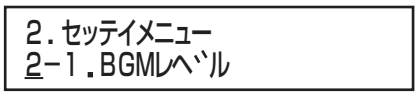
信号が入力されると、CM 連動端子に接続した外部機器を起動します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

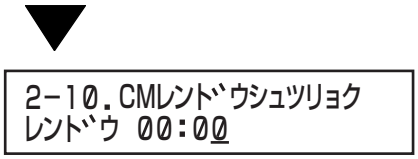


<設定メニュー画面>

3. CM 連動出力設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-10.CM レンドウシュツリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

<設定メニュー画面>

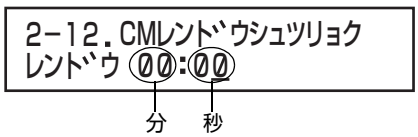


<連動出力設定画面>

4. 連動出力設定をする。

・選択上、下ボタンで、『レンドウ』、『キンキュウ』、『ビジー』、『セイギョシュツリョク』のどれかを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

『レンドウ』　:ファイル再生終了後に、CM 連動端子に接続した外部機器を制御します。
連動時間を設定してください。



選択左、右ボタンで項目、分、秒を切り換えます。
選択上、下ボタンで値を切り換えます。
分;0 分から 60 分まで 1 分毎に設定可能。
秒;0 秒から 59 秒まで 1 秒毎に設定可能。
(工場出荷時:0 分 0 秒)

『キンキュウ』　:緊急指定した CM プレイリスト再生時に、CM 連動端子に接続した外部機器を制御します。

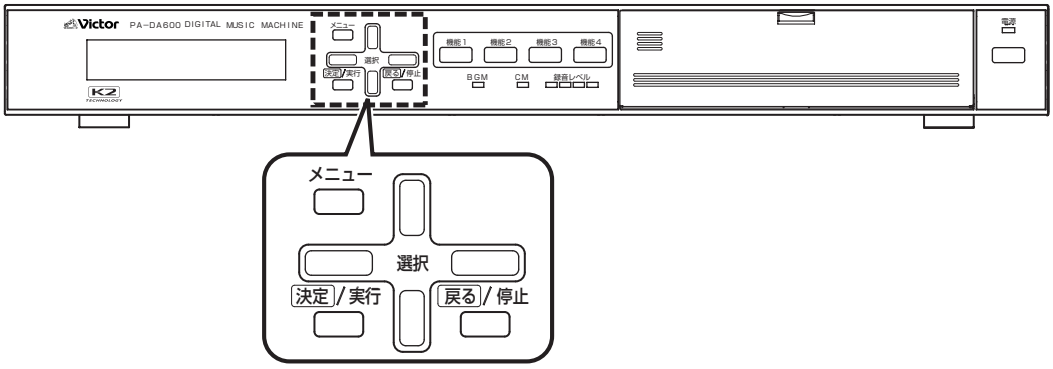
『ビジー』　:録音、ファイルの消去時に、録音 / 消去の状態表示をします。

『セイギョシュツリョク』　:タイマー、本機の機能ボタンなどで制御します。

(工場出荷時:『レンドウ』)

BGM、CM アンプ電源端子の動作を設定する

本機背面の BGM 電源端子または CM 電源端子の動作を設定します。



ブランク / インターバル期間の BGM アンプ電源制御を設定する

・本機背面の制御出力の BGM アンプ電源端子についての設定です。
・制御入力の起動番号設定での「再生インターバル時間」設定(☞ 116 ページ)および、BGM プレイリスト作成時の「ブランク時間」設定(☞ 46 ページ)で設定した、ファイルを再生していない間について、「BGM 電源制御」を出力(メーク)する / しないを設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

3. ブランク / インターバル設定画面を表示する。

設定メニューから『2-7.BGM ブランク / インターバル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-7.BGMﾌﾞﾗﾝｸ/ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

▼

```
2-7.BGMﾌﾞﾗﾝｸ/ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ
ｵﾝ/ｵﾌ
```

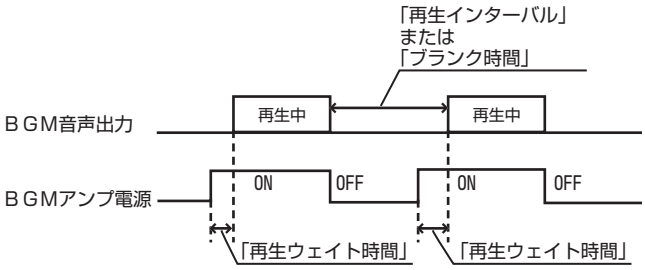
<ブランク / インターバル設定画面>

4. ブランク / インターバル設定をする。

・選択左、右ボタンで、『オン』または『オフ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『オン』 :ブランク / インターバル期間も出力(メーク)する。
『オフ』 :ブランク / インターバル期間は出力(メーク)しない。

・『オフ』に設定すると、ブランク、インターバル時間が１００秒以上のときに設定が有効になります。
・設定を確定すると、自動的にブランク / インターバル設定画面に戻ります。
(工場出荷時:『オフ』)

■『オフ』設定の場合の動作



メモ

- 「再生インターバル」および「ブランク時間」が、１００秒以上に設定されているときに有効となります。
１００秒未満のときは、ファイル再生していない間も連続で出力します。
- 「再生ウェイト時間」が設定されている場合は、ファイル再生開始より、設定した時間だけ早く出力されます。

ブランク / インターバル期間の CM アンプ電源制御を設定する

・本機背面の制御出力の CM アンプ電源端子についての設定です。
・制御入力の起動番号設定での「再生インターバル時間」設定(☞ 116 ページ)および、CM プレイリスト作成時の「ブランク時間」設定(☞102 ページ)で設定した、ファイルを再生していない間について、「CM 電源制御」を出力(メーク)する / しないを設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

3. ブランク / インターバル設定画面を表示する。

設定メニューから『2-8.CM ブランク / インターバル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-8.CMﾌﾞﾗﾝｸ/ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

▼

```
2-8.CMﾌﾞﾗﾝｸ/ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ
ｵﾝ/ｵﾌ
```

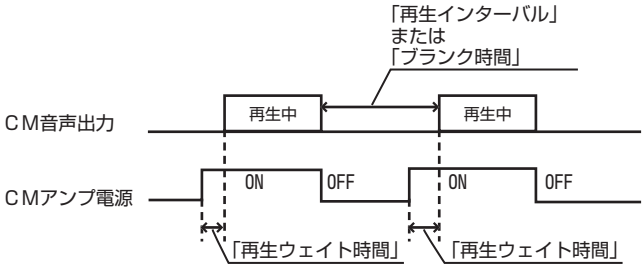
<ブランク / インターバル設定画面>

4. ブランク / インターバル設定をする。

・選択左、右ボタンで、『オン』または『オフ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
『オン』 :ブランク / インターバル期間も出力(メーク)する。
『オフ』 :ブランク / インターバル期間は出力(メーク)しない。

・『オフ』に設定すると、ブランク、インターバル時間が１００秒以上のときに設定が有効になります。
・設定を確定すると、自動的にブランク / インターバル設定画面に戻ります。
(工場出荷時:『オフ』)

■『オフ』設定の場合の動作



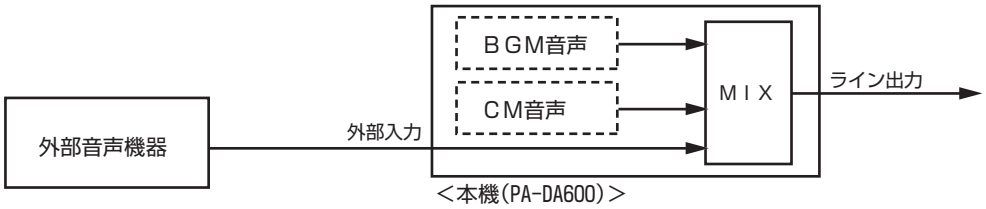
メモ

- 「再生インターバル」および「ブランク時間」が、１００秒以上に設定されているときに有効となります。
１００秒未満のときは、ファイル再生していない間も連続で出力します。
- 「再生ウェイト時間」が設定されている場合は、ファイル再生開始より、設定した時間だけ早く出力されます。

BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声をミキシング出力する

BGM 音声、CM 音声、本機背面の外部入力端子から入力された音声を、ミキシングして出力することができます。
また、優先順位、フェードイン / アウト時間など、用途に合わせて設定できます。

■ミキシング出力イメージ



■ミキシング出力に関する設定

設定項目	選択肢	工場出荷時設定	設定メニュー	参照ページ
優先音源	外部 >CM > BGM、外部> BGM > CM、CM >外部> BGM、CM > BGM >外部、BGM >外部> CM、BGM > CM >外部	CM >外部> BGM	『2-11. ユウセンオンゲン』	130
外部入力レベル	0 ～ 9	9	『2-12. ガイブニュウリョクレベル』	131
フェードイン	0 ～ 10 秒	0 秒	『2-13. フェードイン』	133
フェードアウト	0 ～ 10 秒	0 秒	『2-14. フェードアウト』	133
ミキシングレベル	0 %～ 100 % (10 % 毎に設定)	40 %	『2-15. ミキシングレベル』	134

優先音源を設定する

音声を優先して出力させる音源を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. 優先音源設定画面を表示する。

設定メニューから『2-11. ユウセンオンゲン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-11.ﾕｳｾﾝｵﾝｹﾞﾝ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

```
2-11.ﾕｳｾﾝｵﾝｹﾞﾝ
ｾﾝﾀｸ:CM>ｶﾞｲﾌﾞ>BGM
```

＜優先音源設定画面＞

4. 優先音源の設定をする。

・選択上、下ボタンで、下記の６種類から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

```
2-11.ﾕｳｾﾝｵﾝｹﾞﾝ
ｾﾝﾀｸ:CM>ｶﾞｲﾌﾞ>BGM
```

＜優先音源設定画面＞

選択項目	最優先音源	次優先音源	最下位音源
『ガイブ> CM > BGM』	外部音声	CM 音声	BGM 音声
『ガイブ> BGM > CM』	外部音声	BGM 音声	CM 音声
『CM >ガイブ> BGM』	CM 音声	外部音声	BGM 音声
『CM > BGM >ガイブ』	CM 音声	BGM 音声	外部音声
『BGM >ガイブ> CM』	BGM 音声	外部音声	CM 音声
『BGM > CM >ガイブ』	BGM 音声	CM 音声	外部音声

(工場出荷時:『ＣＭ >ガイブ> ＢＧＭ』)

外部入力レベルを設定する

外部音声機器を接続したときの音声入力レベルを設定します。

ご注意

- 優先音源設定が「外部」の場合、音声レベル信号を検知してフェードイン/アウトの制御をしています。外部音声機器の音声出力レベルを定格レベル(− 10 dBs)に設定し、本機の「外部入力レベル」設定で音量を調節してください。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

3. 外部入力レベル設定画面を表示する。

設定メニューから、選択上、下ボタンで『2-12. ガイブニュウリョクレベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-12.ｶﾞｲﾌﾞﾆｭｳﾘｮｸﾚﾍﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

▼

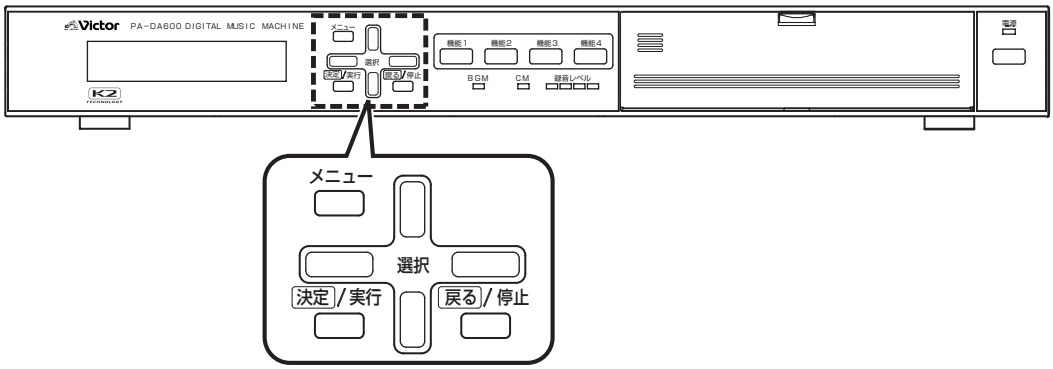
```
2-12.ｶﾞｲﾌﾞﾆｭｳﾘｮｸﾚﾍﾞﾙ
ｵｵｷｻ:09
```

<外部入力レベル設定画面>

4. 外部入力レベルの設定をする。

・選択上、下ボタンで、『0』(音量小)～『9』(音量大)の値から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
(工場出荷時:『9』)

BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声をミキシング出力する（つづき）



用語について

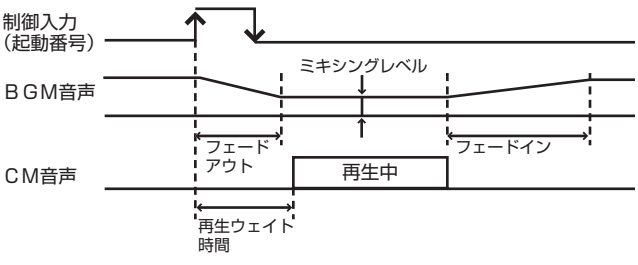
CM ファイル	：録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	：BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	：再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	：再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	：CM プレイリスト（P001 ～ P499）： 再生させるメッセージを登録したリスト（一覧）のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト（P501 ～ P999）： 再生させるミュージックを登録したリスト（一覧）のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミキシングの設定をする

- ミキシングの設定は 3 つあります。下記の 3 つの設定をしてください。
  - フェードイン設定（☞ 133 ページ）
  - フェードアウト設定（☞ 133 ページ）
  - ミキシングレベル設定（☞ 134 ページ）
- 本機のプレイリスト再生と外部音声機器の再生が重なったとき、「優先音源」の設定にしたがって、最優先に設定していない音源の音声を「ミキシングレベル」で設定したレベルまでフェードアウトします。
- BGM 音声、CM 音声、外部音声の3つが重なった場合、最下位に設定されている音声はミューティングされます。
- フェードアウトとフェードインの時間は個別に設定します。(例：フェードアウト 2 秒、フェードイン 4 秒)
- ミキシングレベルの設定が「100%」のときは、そのままの音量で出力され、「0%」のときはミューティングとなります。

BGM 音声、CM 音声の 2 つをミキシングする場合（優先音源設定：CM ＞ BGM ＞外部）

BGM プレイリスト（BGM 音声）を出力中に、タイマーや制御入力などから CM プレイリスト（CM 音声）再生の起動が入った場合、BGM 音声をミキシングレベルまでフェードアウトし、CM 音声の再生終了後に再び元のレベルまでフェードインします。

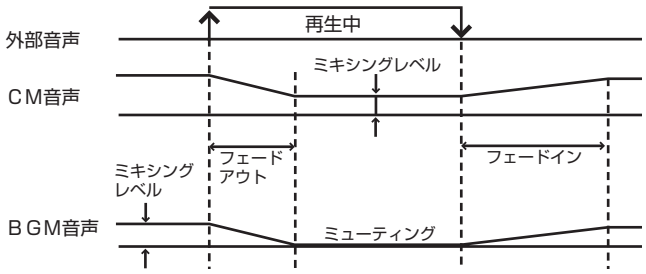


メモ

- 「フェードアウト時間」を「再生ウェイト時間」より短い時間に設定すると、音声が重ならないように放送できます。
- プレイリスト再生で、ブランク時間およびインターバル時間で設定した、ファイルを再生していない期間が 11 秒以上の場合、BGM 音声は元の音量に戻ります。

BGM 音声、CM 音声、外部音声の３つが重なった場合（優先音源設定：外部＞ CM ＞ BGM）

BGM 音声および CM 音声を再生中に、外部入力の音声信号を検出すると、CM 音声をミキシングレベルまでフェードアウトし、BGM 音声をミューティングします。外部入力の音声信号が停止した後、CM 音声を再び元のレベルまでフェードインし、BGM 音声をミキシングレベルまでフェードインします。



メモ

- 外部入力の音声は、音声信号のレベルを検知して制御しています。音声が重ならないようにしたい場合は、「フェードアウト」の時間を短く設定してください。
- 本体音声がフェードアウト→ミキシングレベルまたはミューティング→フェードインしている期間、本機前面の再生表示灯が点滅表示します。

■フェードイン設定

フェードイン時間を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. フェードイン設定画面を表示する。

設定メニューから『2-13. フェードイン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-13.ﾌｪｰﾄﾞｲﾝ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

```
2-13.ﾌｪｰﾄﾞｲﾝ
ﾋﾞｮｳ:00
```

＜フェードイン設定画面＞

4. フェードイン時間の設定をする

・選択上、下ボタンで、0 秒～ 10 秒から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
（工場出荷時：0 秒）

■フェードアウト設定

フェードアウト時間を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. フェードアウト設定画面を表示する。

設定メニューから『2-14. フェードアウト』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-14.ﾌｪｰﾄﾞｱｳﾄ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

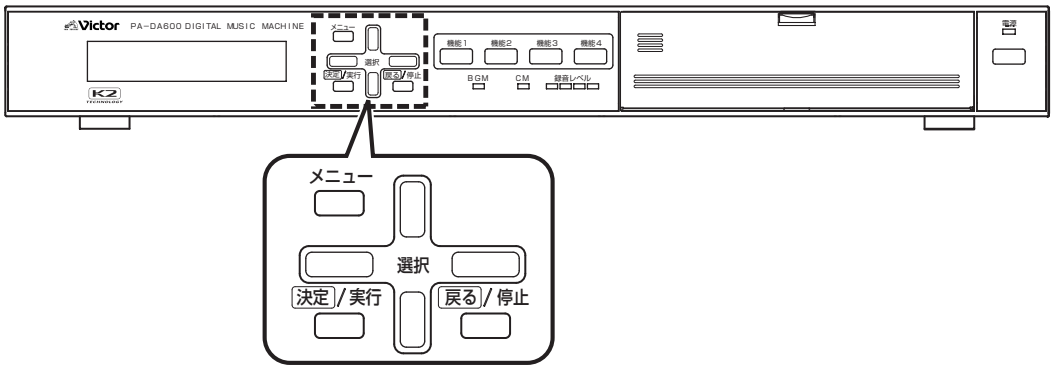
```
2-14.ﾌｪｰﾄﾞｱｳﾄ
ﾋﾞｮｳ:00
```

＜フェードアウト設定画面＞

4. フェードアウト時間の設定をする。

・選択上、下ボタンで、0 秒～ 10 秒から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。
（工場出荷時：0 秒）

BGM 音声、CM 音声、外部音声機器からの音声をミキシング出力する(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

ミキシングの設定をする(つづき)

■ミキシングレベル設定

下記のどちらかの状態になったときのミキシングレベルを設定します。

- 2つ以上の音源が重なったとき。
- 「フェード」設定にしている制御入力端子に信号が入力されたとき。

1. メインメニュー画面を表示する。

- スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
  (☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
- 待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

3. ミキシングレベル設定画面を表示する。

設定メニューから『2-15. ミキシングレベル』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-15.ﾐｷｼﾝｸﾞﾚﾍﾞﾙ
```

<設定メニュー画面>

▼

```
2-15.ﾐｷｼﾝｸﾞﾚﾍﾞﾙ
 40%
```

<ミキシングレベル設定画面>

4. ミキシングレベル値を設定をする。

- 選択上、下ボタンで、100%(音量を下げない)～ 0%(無音にする)から選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- 設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

(工場出荷時:40%)

離れた場所から CM 録音の制御をする

本機背面の制御入力端子に制御機器(スイッチなど)を接続して制御することで、本機から離れた場所で録音 / 消去ができます。接続方法は、26 ページをご覧ください。

■録音制御に関する設定

設定項目	設定値	設定メニュー	参照ページ
制御入力端子の機能設定	『CM ロクオン』 『CM ショウキョ』	『3-9. セイギョニュウリョク』	135
CM 連動出力端子の設定	『ビジー』	『2-10.CM レンドウシュツリョク』	137

ご注意

- CMファイルの消去が完了するまで録音を開始できません。本機のＬＣＤ画面表示を確認できないところでは、必ずビジー出力を使用して本機の状態を確認して操作してください。
- CMプレイリストに複数のCMファイルが登録されている場合でも、メッセージ番号001に設定されているCMファイルだけを消去 / 録音します。

制御入力端子に消去と録音の機能を設定する

信号が入力されると、ファイルの消去と録音を行うように設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

<プログラムメニュー画面>

3. 端子番号選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-9. セイギョニュウリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-9.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ
```

<プログラムメニュー画面>

▼

```
3-9.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ
ｾﾝｻｸ:E1 P001
```

<端子番号選択画面>

4.消去動作を割り当てたい制御入力端子番号を選択する。

端子番号選択画面から、選択上、下ボタンで『E 1』～『E6』のどれかを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3-9.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ
ｾﾝｻｸ:E1 P001
```

制御入力端子番号

<端子番号選択画面>

5. 制御入力端子に消去動作を割り当てる。

動作選択画面から、選択上、下ボタンで『CMショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ E1
ｾﾝｻｸ:CMｼｮｳｷｮ
```

<動作選択画面>

6. 消去するプレイリストを設定する。

・CM プレイリスト選択画面から、選択上、下ボタンで消去する CM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、端子番号選択画面に戻ります。

```
E1:CMｼｮｳｷｮ
ｾﾝｻｸ001>P001
```

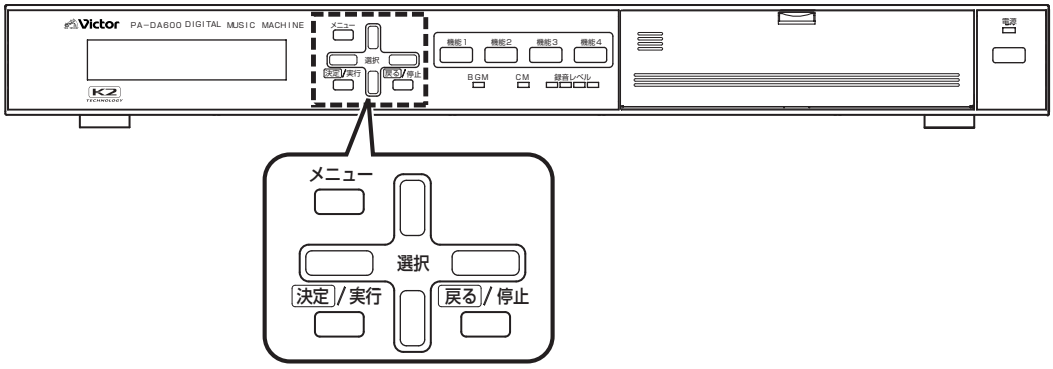
<消去プレイリスト選択画面>
(例:制御入力端子 1 に信号が入力されたときに、CM プレイリスト・P001 を消去する。)

メモ

- 消去する CM プレイリストに複数のメッセージが登録されている場合は、メッセージ 1 に登録されている CM ファイルを消去します。

☞ 次ページへつづく

離れた場所から CM 録音の制御をする(つづき)



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル	: BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ	:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック	:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト	:CM プレイリスト(P001 ～ P499): 再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。 BGM プレイリスト(P501 ～ P999): 再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子に消去と録音の機能を設定する(つづき)

7.録音動作を割り当てたい制御入力端子番号を選択する。

端子番号選択画面から、選択上、下ボタンで『E1』～『E6』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

8. 制御入力端子に録音動作を割り当てる。

選択上、下ボタンで『CMロクオン』を選択し、決定/実行ボタンを押します。

```
ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ E2
ｾﾝﾀｸ:CMﾛｸｵﾝ
```

<動作選択画面>

9. 録音するプレイリストを設定する。

- CM プレイリスト選択画面から、選択上、下ボタンで録音する CM プレイリストを選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
- メッセージが 1 つ以上登録されている CM プレイリストのみ選択できます。
- 設定を確定すると、端子番号選択画面に戻ります。

```
E2:CMｼｮｳｷｮ
ｾﾝﾀｸ002>P002
```

<録音プレイリスト選択画面>
(例:制御入力端子2に信号が入力されたときに、CMプレイリスト・P002 に録音する。)

CM 連動端子にビジー設定をする

録音または CM ファイルの消去が開始すると、CM 連動端子に接続した被制御機器が起動します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール 動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. 設定メニュー画面を表示する。

メインメニューから『2. セッテイメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-1.BGMﾚﾍﾞﾙ
```

＜設定メニュー画面＞

3. CM 連動出力設定画面を表示する。

設定メニューから『2-10.CM レンドウシュツリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
2.ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
2-10.CMﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
```

＜設定メニュー画面＞

▼

```
2-10.CMﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
ﾚﾝﾄﾞｳ 00:00
```

＜ CM 連動出力設定画面＞

4. 『ビジー』を選択する。

・選択上、下ボタンで『ビジー』選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、自動的に設定メニュー画面に戻ります。

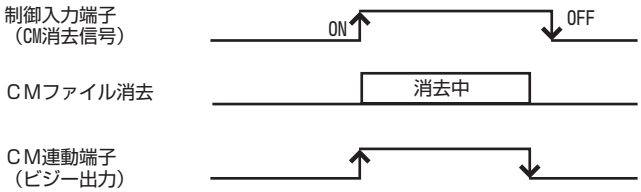
```
2-10.CMﾚﾝﾄﾞｳｼｭﾂﾘｮｸ
ﾋﾞｼﾞｰ
```

＜ CM 連動出力設定画面＞

CM ファイルを消去する

すでに録音済みの CM ファイルがある場合には、録音ができません。録音する前に CM ファイルを消去します。

CM ファイル消去イメージ



1. 本機を実行中にする。

・決定 / 実行ボタンを押します。
・システム動作を実行すると、実行中画面が表示されます。

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾍｲｼﾞｯ
```

＜実行中画面＞

2. CM ファイルを消去する。

・「CM 消去」に設定している制御入力端子(制御入力 1 ～ 6 端子)に接続されているスイッチをオンにします。
・「ビジー」に設定されている CM 連動端子にランプが接続されている場合は、ランプが点灯します。

メモ

- CM ファイルを消去すると、本機の LCD 画面に下記のように表示されます。

```
C001
ﾌｧｲﾙｼｮｳｷｮｼﾏｼﾀ
```

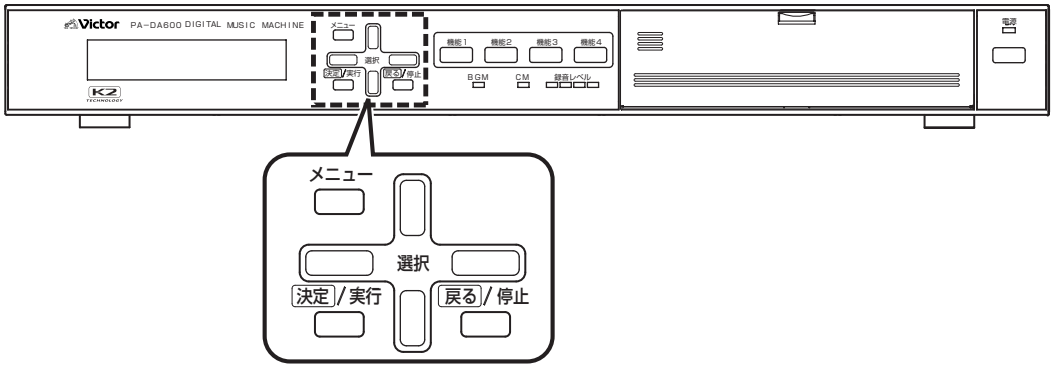
C001 — CM ファイル番号

- 消去する CM ファイルが存在しない場合や、対応するプレイリストが設定されていない場合は、ビジー出力はされません。
- CM プレイリストに複数の CM ファイルが登録されている場合でも、メッセージ番号 001 に設定されている CM ファイルだけを消去します。
- 消去中は、制御入力端子からの制御および機能ボタンは動作しません。

3. CM ファイルの消去を終了する。

・消去が終わったら、手順 **2.** でオンにしたスイッチをオフにします。
・「ビジー」に設定されている CM 連動端子にランプを接続している場合は、ファイルの消去が終了すると、ランプが消灯します。

離れた場所から CM 録音の制御をする(つづき)



用語について

CM ファイル　:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ　:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック　:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト　:CM プレイリスト(P001 ～ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ～ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

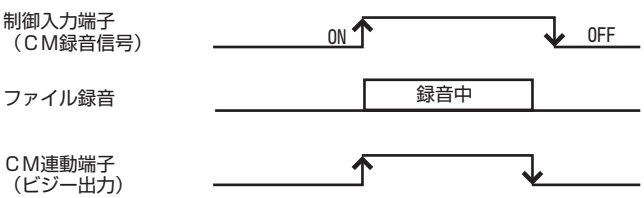
CM ファイルを録音する

CM ファイルを消去したことを確認してから、録音してください。

ご注意

- 録音モードに入る前に、制御入力端子に接続している外部機器(スイッチなど)の動作を停止してください。録音中に、タイマーなどから入力があると、正常に録音ができません。

CM ファイル録音イメージ



メモ

- 録音モード信号入力から制御入力信号を入力するまでの時間は 100 ms 以上空けてください。

1. 本機を実行中にする。

・決定 / 実行ボタンを押します。
・スケジュール動作を実行すると、実行中画面が表示されます。

```
  2006/12/15 Fri
13:02:03 ﾍｲｼﾞｯ
```

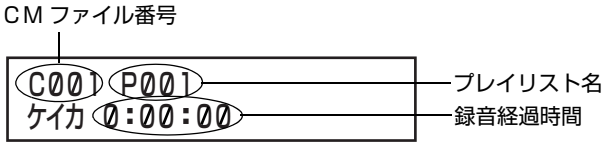
<実行中画面>

2. 録音をする。

・「CM 録音」に設定している制御入力端子(制御入力 1 ～ 6 端子)に接続されているスイッチをオンにします。
・「ビジー」に設定されている CM 連動端子にランプが接続されている場合は、ランプが点灯します。

メモ

- 録音中は、本機のＬＣＤ画面に下図のように表示されます。



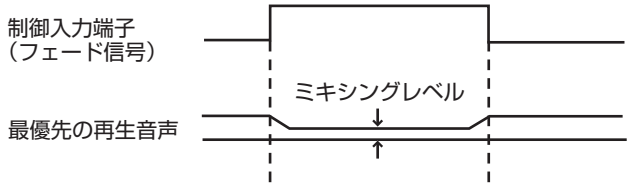
- 録音済みＣＭファイルが存在している場合や、対応するＣＭプレイリストが設定されていない場合は、ビジー出力はされません。
- ＣＭプレイリストに複数の ＣＭ ファイルが登録されている場合でも、録音したＣＭファイルはメッセージ番号 001 に登録されます。
- 録音中は、制御入力端子からの制御および機能ボタンは動作しません。

3. 録音を終了する。

・録音が終わったら、手順 **2.** でオンにしたスイッチをオフにします。
・「ビジー」に設定されている ＣＭ 連動端子にランプを接続している場合は、録音を終了すると、ランプが消灯します。

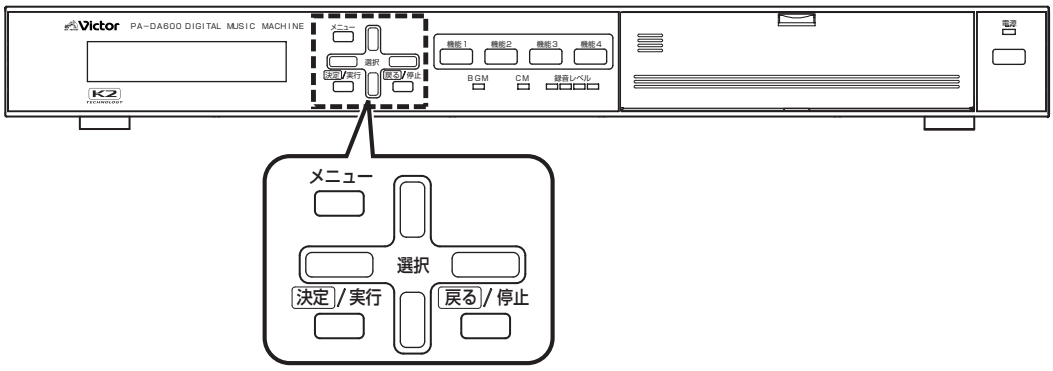
離れた場所から本機の出力音声をフェードアウトする

・本機背面の制御入力端子に制御機器(スイッチなど)を接続して制御することで、離れた場所で本機の出力音声をフェードアウトすることができます。
・制御入力端子の機能を『フェード』に設定した場合、「フェード」に設定した制御入力端子に信号が入力されると、再生中の音声で最も優先順位の高い音声を「ミキシングレベル」で設定したレベルまでフェードアウトします。
・「ミキシングレベル」の設定が 100 %のときは、そのままの音量で出力されます。0 % のときは、ミューティングされます。
・『フェード』に設定した制御入力端子に信号が入力されている間、フェードアウトされた音声はミキシングレベルを保持します。



■フェード制御に関する設定

設定項目	設定値	設定メニュー	参照ページ
制御入力端子の機能設定	『フェード』	『3-9. セイギョニュウリョク』	141
ミキシングレベル	0 % ～ 100 %(工場出荷時:40 %)	『2-15. ミキシングレベル』	134



用語について

CM ファイル　:録音した音声データ。(C001 ～ C999)
BGM ファイル:BGM 音楽データ。(B001 ～ B999)
メッセージ　:再生する CM ファイルと再生音量を設定したもの。
ミュージック　:再生する BGM ファイルと再生音量を設定したもの。
プレイリスト　:CM プレイリスト(P001 ～ P499):
再生させるメッセージを登録したリスト(一覧)のことです。複数のメッセージを登録し、組み合わせて再生することができます。
BGM プレイリスト(P501 ～ P999):
再生させるミュージックを登録したリスト(一覧)のことです。複数のミュージックを登録し、組み合わせて再生することができます。

制御入力端子に『フェード』機能を設定する

信号が入力されると、ライン出力からの音声をフェードアウトする機能を設定します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. プログラムメニュー画面を表示する。

メインメニューから『3. プログラムメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-1.BGMﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ
```

＜プログラムメニュー画面＞

3. 端子番号選択画面を表示する。

プログラムメニュー画面から、『3-9. セイギョニュウリョク』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
3.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒﾆｭｰ
3-9.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ
```

＜プログラムメニュー画面＞

▼

```
3-9.ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ
ｾﾝﾀｸ:E1 P001
```

＜端子番号選択画面＞

4. 任意の制御入力端子番号を選択する。

選択上、下ボタンで『E1』～『E6』のいずれかを選択し、決定/実行ボタンを押します。

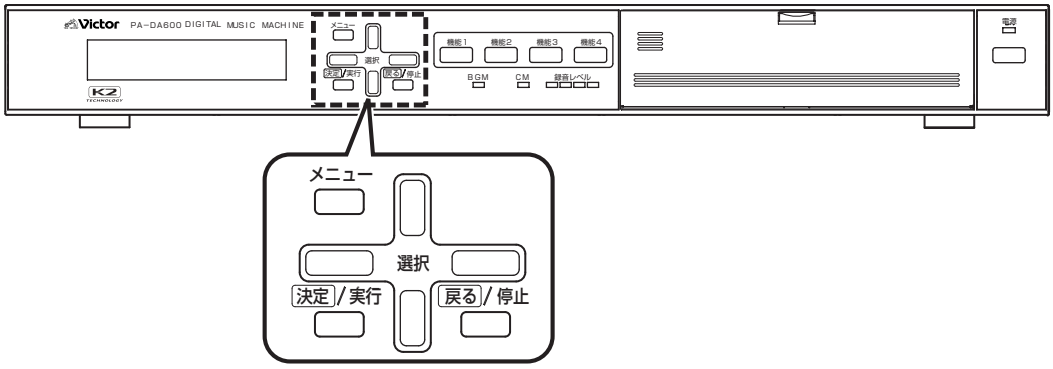
5. フェード動作を割り当てる。

・選択上、下ボタンで『フェード』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・設定を確定すると、端子番号選択画面に戻ります。

```
ｾｲｷﾞｮﾆｭｳﾘｮｸ E3
ｾﾝﾀｸ:ﾌｪｰﾄﾞ
```

＜動作選択画面＞

工場出荷時の設定に戻す



用語について

CM ファイル	:録音した音声データ。
CM カード	:アナウンスなどのメッセージデータ、スケジュール、設定データ、BGMプレイリスト、CMプレイリストを保存してあるメモリーカードです。 CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に入れて使用してください。
BGM カード	: 音楽などのミュージックデータを保存するメモリーカード。

工場出荷状態に戻す
(CM カードを初期化する)

CM カードに保存したすべての設定内容と録音済みの CM ファイルを削除し、工場出荷時の状態に戻します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. CM カード初期化確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-2.CM カードショキカ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-2.CMｶｰﾄﾞｼｮｷｶ
```

<メンテナンスメニュー画面>

▼

```
5-2.CMｶｰﾄﾞｼｮｷｶ
ｼｮｷｶ&ﾘｽﾀｰﾄ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

< CM カード初期化確認画面>

4. CM カードを初期化する。

・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る/停止ボタンを押すと、CMカードを初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・CM カードの初期化が終わると、再起動します。

ご注意

- CMカードに保存されている、BGMプレイリストもすべて削除されます。

設定メニュー内の設定を初期化する

「2. セッテイメニュー」内の設定を工場出荷時状態に戻します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

3. 設定初期化確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-3. セッテイショキカ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-3.ｾｯﾃｲｼｮｷｶ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

▼

```
5-3.ｾｯﾃｲｼｮｷｶ
ｼｮｷｶ&ﾘｽﾀｰﾄ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜設定初期化確認画面＞

4. 設定を初期化する。

・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、設定を初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・設定の初期化が終わると、再起動します。

ご注意

- 「2-1.ＢＧＭレベル」、「2-2.ＣＭレベル」、「2-3.CC コンバーター」の設定値は工場出荷時の状態に戻りません。

すべてのプログラムを初期化する

「3. プログラムメニュー」内の設定を工場出荷時状態に戻し、プレイリストを初期化します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

3. プログラム初期化確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-4. プログラムショキカ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-4.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｮｷｶ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

▼

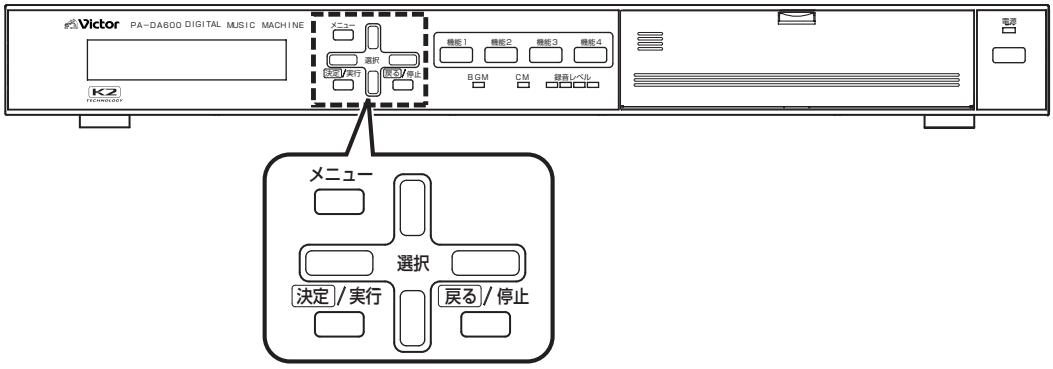
```
5-4.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｮｷｶ
ｼｮｷｶ&ﾘｽﾀｰﾄ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜プログラム初期化確認画面＞

4. プログラムを初期化する。

・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、プログラムを初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・プログラムの初期化が終わると、再起動します。

工場出荷時の設定に戻す（つづき）



用語について

CM ファイル	：録音した音声データ。
CM カード	：アナウンスなどのメッセージデータ、設定データ、BGM プレイリスト、CM プレイリストを保存してあるメモリーカードです。 CM カードは、本機の CM 用メモリーカード挿入口に入れて使用してください。
BGM カード	： 音楽などのミュージックデータを保存するメモリーカード。

スケジュールデータを初期化する

スケジュールデータを工場出荷時状態に戻します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
（☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照）
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

3. スケジュール初期化確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-5. スケジュールショキカ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-5.ｽｹｼﾞｭｰﾙｼｮｷｶ
```

＜メンテナンスメニュー画面＞

▼

```
5-5.ｽｹｼﾞｭｰﾙｼｮｷｶ
ｼｮｷｶ&ﾘｽﾀｰﾄ ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜スケジュール初期化確認画面＞

4. スケジュールデータを初期化する。

・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、プログラムを初期化せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・プログラムの初期化が終わると、再起動します。

すべての CM ファイルを消去する

CM カードに保存されている録音済みの音声ファイルをすべて消去します。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. CM ファイル消去確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-6. ゼン CM ファイルショウキョ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-6.ｾﾞﾝCMﾌｧｲﾙｼｮｳｷｮ
```

<メンテナンスメニュー画面>

▼

```
5-6.ｾﾞﾝCMﾌｧｲﾙｼｮｳｷｮ
ｼｮｳｷｮ          ﾊｲ/ｲｲｴ
```

< CM ファイル消去確認画面>

4. ファイルを消去する。

・選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る/停止ボタンを押すと、CMファイルを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。
・CM ファイルの消去が終わると、自動的にメンテナンスメニュー画面に戻ります。

バージョン表示

現在使用中のソフトウェアとハードウェアのバージョンを確認することができます。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

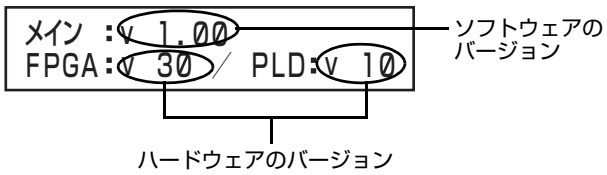
3. バージョン確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-10. バージョン』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-10.ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ
```

<メンテナンスメニュー画面>

▼

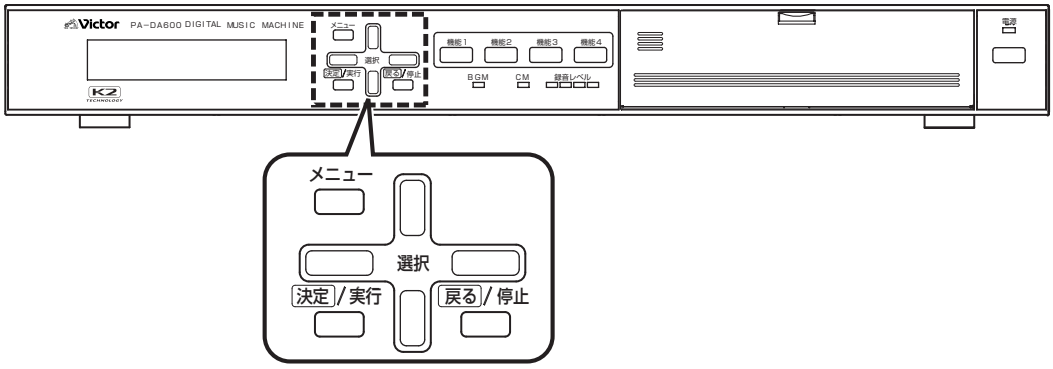


<バージョン確認画面>

メモ

- 決定/実行ボタンまたは戻る/停止ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

ログ管理について



動作ログを確認する

本機が行なった動作記録を確認することができます。

メモ

- 本機に記録できる動作ログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古い動作ログが消去されます。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. 動作ログ確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-7. ドウサログ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-7.ﾄﾞｳｻﾛｸﾞ
```

<メンテナンスメニュー画面>

▼

```
5-7.ﾄﾞｳｻﾛｸﾞ
001/100 001
```

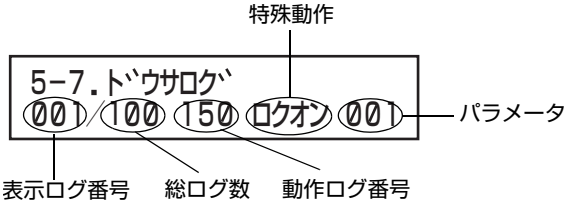
<動作ログ確認画面>

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

4. 確認したいログを表示する。

・選択上、下ボタンでログをスクロールします。
・戻る / 停止ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。



<動作ログ確認画面>

表示ログ番号 : 現在表示しているログ番号です。
001:最新ログ
↓
100:最古ログ

総ログ数 : 本機に登録されているログの総数です。
最大１００個まで登録されます。

動作ログ番号 : 実行した動作です。(☞ 147 ページ「動作ログパターン表」参照)

特殊動作 : 制御入力、録音、ファイル消去の動作のときに表示されます。
『キドウ』 :制御入力の場合
『ロクオン』 :録音の場合
『ショウキョ』:ファイル消去の場合

パラメータ : 特殊動作のときに表示します。
『キドウ』時 :起動番号を表示
『ロクオン』時 :ファイル番号を表示
『ショウキョ』時:ファイル番号を表示

動作ログを削除する

本機に記録されている動作ログをすべて削除します。

1. 動作ログ確認画面が表示されていることを確認する。

```
5-7.ﾄﾞｳｻﾛｸﾞ
001/100 001
```

＜動作ログ確認画面＞

2. ログ消去確認画面を表示する。

機能 1 ボタン→選択右ボタン→機能 2 ボタン→選択右ボタン→機能 3 ボタン→選択右ボタン→機能 4 ボタン→選択右ボタンの順番に押します。

```
ﾄﾞｳｻﾛｸﾞﾜ、ｼｮｳｷｮｼﾏｽｶ?
ﾊｲ/ｲｲｴ
```

＜ログ消去確認画面＞

3. ログを消去する。

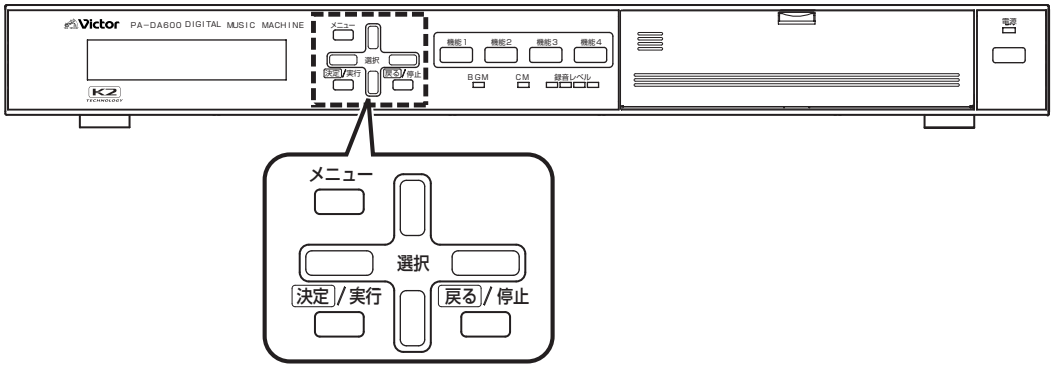
・ログ消去確認画面から、選択左、右ボタンで『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ログを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。

動作ログパターン表

動作ログ番号	パラメーター	動作内容
001		電源オン
002		システム動作を開始
003		システム動作を停止
017		機能ボタン 1 実行
018		機能ボタン 2 実行
019		機能ボタン 3 実行
020		機能ボタン 4 実行
033		機能ボタン 1 実行(PC より)
034		機能ボタン 2 実行(PC より)
035		機能ボタン 3 実行(PC より)
036		機能ボタン 4 実行(PC より)
051	キドウ ###	制御入力実行
081		PC 通信開始
082		PC 通信終了
097		ボタンロック設定
098		ボタンロック解除
114	CM カード /BGM カード	メモリーカード取り出し
115	CM カード /BGM カード	メモリーカード挿入
129		設定メニュー変更
146		時刻設定を実行
147		時刻校正を実行
150	ロクオン C ***	録音開始
151	ショウキョ C ***	録音ファイル消去

※ パラメーター欄の”＊＊＊”部分は、ファイル番号が表示されます。
※ パラメーター欄の”＃＃＃”部分は、制御入力番号が表示されます。

ログ管理について(つづき)



エラーログを確認する

本機の動作中に発生したエラーを確認することができます。

ご注意

- 本機に記録できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超える場合は、一番古いエラーログが消去されます。

1. メインメニュー画面を表示する。

・スケジュール動作実行中の場合は、必ずスケジュール動作を停止し、待機画面を表示させます。
(☞ 11 ページ「スケジュールを停止する」参照)
・待機中画面を表示し、メニューボタンを押します。

2. メンテナンスメニュー画面を表示する。

メインメニューから『5. メンテナンスメニュー』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-1.CFﾃｲｼ
```

<メンテナンスメニュー画面>

3. エラーログ確認画面を表示する。

メンテナンスメニュー画面から、『5-8. エラーログ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。

```
5.ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ
5-8.ｴﾗｰﾛｸﾞ
```

<メンテナンスメニュー画面>

▼

```
5-8.ｴﾗｰﾛｸﾞ
001/100 E001
```

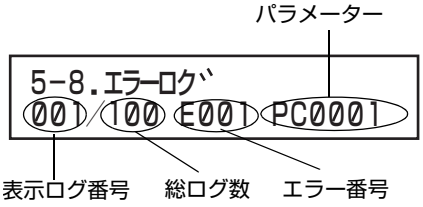
<エラーログ確認画面>

メモ

- ログが一つも記録されていない場合は、『ログハアリマセン』と表示されます。

4. 確認したいログを表示する。

・選択上、下ボタンでログをスクロールします。
・戻る / 停止ボタンを押すと、メンテナンスメニュー画面に戻ります。



<エラーログ確認画面>

表示ログ番号 : 現在表示しているログ番号です。
001:最新ログ
↓
100:最古ログ

総ログ数 : 本機に登録されているログの総数です。
最大１００個まで登録されます。

エラー番号 : 発生したエラーです。(☞ 149 ページ「エラーログパターン表」参照)

パラメーター : 発生したエラーの詳細です。
『ＰＣ』 :PC エラー時に表示
『サイセイ』 :再生エラー時に表示
『ロクオン』 :録音失敗時に表示
『ショウキョ』:消去失敗時に表示
(☞ 149 ページ「エラーログパターン表」参照)

エラーログを削除する

本機に記録されているエラーログをすべて削除します。

1. エラーログ確認画面が表示されていることを確認する。

＜エラーログ確認画面＞

2. ログ消去確認画面を表示する。

機能 1 ボタン→選択右ボタン→機能 2 ボタン→選択右ボタン→機能 3 ボタン→選択右ボタン→機能 4 ボタン→選択右ボタンの順番に押します。

＜ログ消去確認画面＞

3. ログを消去する。

・『ハイ』を選択し、決定 / 実行ボタンを押します。
・『イイエ』を選択または戻る / 停止ボタンを押すと、ログを消去せずにメンテナンスメニュー画面に戻ります。

エラーログパターン表

エラー番号	パラメーター	エラー内容	対応
E001		ハードエラー	①
E002			
E003			
E004	CM カード / BGM カード	本機の動作中にメモリーカードを抜いた	②
E005		設定データの読み込みエラー	③
E006		設定データの書き込みエラー	③
E033	CM カード / BGM カード	起動時に、メモリーカードが本機に挿入されていない	②
E034		ステップ(リレー)が重複している	⑤
E035		ステップ(CM)が重複している	⑤
E036	PC0048	PC 通信時エラー	④
	PC4192		
	PC0001		
	PC0003		
	PC4097		
	PC4098		
	PC4099		
E037	サイセイ C ＊＊＊	CM ファイル再生エラー	②
E038	サイセイ C ＊＊＊		
E039	サイセイ C ＊＊＊		
E040	サイセイ C ＊＊＊		
E041	サイセイ C ＊＊＊		
E042	サイセイ B ＊＊＊	BGM ファイル再生エラー	②
E043	サイセイ B ＊＊＊		
E044	サイセイ B ＊＊＊		
E045	サイセイ B ＊＊＊		
E046	サイセイ B ＊＊＊		
E047	サイセイ B ＊＊＊		
E050	ロクオン C ＊＊＊	録音エラー	③
E051	ショウキョC ＊＊＊	消去エラー	③
E052		ステップ(BGM)が重複している	⑤
E065		時計が初期化された	⑥

※ パラメーター欄に記載されているものは、LCD 画面に表示される内容です。記載がないものは、LCD 画面には何も表示されません。
※ パラメーター欄の"＊＊＊"部分は、ファイル番号が表示されます。
※「対応」に記載されている番号の詳細は下記のとおりです。

① :販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。
② :メモリーカードを正しく挿入してください。
③ :メモリーカードに異常がある可能性があります。正常なデータが保存されているか確認してください。指定のメモリーカードを使用していない場合は、指定のメモリーカードを使用してください。
④ :通信用ケーブルの接続、接続した外部機器に異常が無いかを確認してください。
⑤ :パターン(1 日のスケジュール)の設定を確認してください。(☞ 72 ページ)
⑥ :時計を設定してください。(☞ 39 ページ)

※②、③、④、⑤、⑥ の対応を行なっても、再度エラーが発生する場合は、販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

こんなときは

ご使用中に「故障かな？」と思ったら下表または「各種エラー表示」(☞ 151 ページ)を参考に確認をしてください。それでも直らない場合は、販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

症　状	確　認	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源コードが抜けていませんか。	電源コードを接続してください。	−
ボタンを押しても反応がない	ボタンをロックしていませんか。	ボタンのロックを解除します。	14
LCD 画面が見にくい	バックライトが消灯していませんか。	バックライトの設定を『テントウ』にしてください。	40
CM 録音中にヘッドホンから音声が聞えない	本機の仕様です。録音中の音声を聞くことはできません。	録音を停止すると、録音したファイルを保存する前に試聴することができます。	45
録音または設定中にメッセージが表示される	表示されている内容を確認してください。	「各種エラー表示」を参考に対応してください。	151
FM ラジオチューナーでの時刻補正ができない	アンテナが接続されていますか。	アンテナ線を接続します。	24
	チャンネルが合っていますか。	受信チャンネルを設定します。	
	補正範囲を超えていませんか。	誤差± 15 秒に時計を合わせてください。	
スケジュールが実行できない	スケジュールにパターンが設定されていますか。	スケジュールにパターンを設定してください。	86 88
	エラー表示がでていませんか。	表示されているエラー内容を確認し、処置を行なってください。	151
		エラーログで確認し、販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。	148
電源を切ったあと、時計が狂ってしまう	内蔵のバッテリーが寿命です。	販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。	−

各種エラー表示

動作中のエラー表示

エラー表示	原因	処置	参照ページ
『*CF カクニン』	電源オン時に、メモリーカードが本機に挿入されていません。	メモリーカードを本機に正しく挿入してください。	33
『*CM カードイジョウ』、『BGM カードイジョウ』または『*CF カクニン』	メモリーカードのデータを正常に読み込めないときに表示されます。	正常なデータが保存されたメモリーカードを本機に再度挿入してください。	33
	指定のメモリーカード以外を使用したときに表示されます。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
『スケジュールヲセッテイシテクダサイ』	週間スケジュール、年間スケジュール、機能ボタン、制御入力端子のいずれにもパターンが設定されていません。	週間スケジュール、年間スケジュール、機能ボタン、制御入力端子のいずれかを設定してください。	86 88 116
『E』	再生時に、メモリーカードのデータが正常に読み込めなかったときに表示されます。	正常なデータが保存されたメモリーカードを本機に再度挿入してください。	33
	再生中のプレイリストに、録音していないファイル番号が設定されていませんか。	録音済みのファイル番号を設定してください。	46 102
	2 つ以上のステップで、同時に同一のリレーや同種のプレイリストを設定していませんか。	動作中のパターン内容を確認してください。	76
『* エラーハッセイ SRAM』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—
『* エラーハッセイ FPGA』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—
『* エラーハッセイ CPLD』	本機が故障している可能性があります。	販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—

録音中のエラー表示

エラー表示	原因	処置	参照ページ
『*CF ホゾンエラー』	CM 録音時に、データをメモリーカードに保存できなかったときに表示します。	メモリーカードに異常がある可能性があります。	—
	指定品以外のメモリーカードを使用していませんか。	指定のメモリーカードを使用してください。	3
『* アキプレイリストナシ』	CM 録音時、すでに 499 個のプレイリストを作成済みで空きがありません。	不要なCMプレイリストを削除してください。	114
『* アキヨウリョウガタリマセン』	CM録音中に、CMカードの空き容量が無くなりました。	不要なCMファイルを削除してください。	101
『* アキファイルナシ』	CM 録音時、すでに 999 個のファイルを作成済みで空きがありません。	不要なCMファイルを削除してください。	101
『* ファイルヲサクジョシテクダサイ』	制御入力による録音時に、ファイルが消去されていません。	録音する前にファイルを消去してください。	137
『* ファイルガアリマセン』	制御入力による消去時に、すでに CM ファイルが消去されています。	必要に応じて CM の録音を行なってください。	138

各種エラー表示(つづき)

設定、編集中のエラー表示

エラー表示	原因	処置	参照ページ
『トケイヲセッテイシテクダサイ』	現在、設定されている日時が 2006 年 2 月以前のとき、起動時に約 10 秒表示します。	時計設定で現在の日時に設定してください。	39
『* モジヲニュウリョクシテクダサイ』	パターン名編集時に、パターン名が空白になっています。	パターン名には空白以外の文字を入力してください。	74
『フセイナジカンシテイデス』	ステップ入力時、開始時間を終了時間より遅い時間に設定しています。	開始時間を終了時間より早い時間に修正します。	81
『リレーチョウフク シュウセイ / トリケシ』	ステップを入力時、同一パターン内の他のステップのリレーの動作時間と重複しています。	同一パターン内にある他のステップと同じリレーの動作時間が重ならないように設定してください。	77
『CM チョウフク シュウセイ / トリケシ』	ステップを入力時、同一パターン内の他のステップの CM 再生時間と重複しています。	同一パターン内にある他のステップと同じ CMの再生時間が重ならないように設定してください。	77
『BGM チョウフク シュウセイ / トリケシ』	ステップを入力時、同一パターン内の他のステップの BGM 再生時間と重複しています。	同一パターン内にある他のステップと同じ BGMの再生時間が重ならないように設定してください。	77
『* トウロクパターンナシ』	パターンコピー時、どのパターンにもステップが入力されていません。	パターンを作成してください。	77
『* アキパターンナシ』	パターンコピー時、すでに99パターンすべてにステップが入力されています。	使用しないパターンを削除してください。	85
『* アキステップガアリマセン』	すでに入力できるステップ数がすでに最大になっている場合に表示されます。 パターンをコピーした結果、ステップの最大入力数を超えてしまう場合に表示されます。	使用しないステップを削除してください。	83
『* パターンヲセッテイシテクダサイ』	リハーサル実行時、どのパターンにもステップが入力されていない場合に表示されます。	週間スケジュールまたは年間スケジュールの設定をしてください。	86 88
『* エラー ケイゾク / シュウリョウ』	リハーサルの実行時に、リレーまたはチャイムの重複エラーが発生した場合に表示されます。	年間スケジュールまたは週間スケジュールのパターンが重複していないか確認してください。	74
『*CM チョウフク』	週間スケジュールの設定時に、設定している曜日の前後の曜日と CM のステップが重複しているときに表示されます。	CM が重複しないように、パターンを修正してください。	81
『*BGM チョウフク』	週間スケジュールの設定時に、設定している曜日の前後の曜日と BGM のステップが重複しているときに表示されます。	BGMが重複しないように、パターンを修正してください。	81
『* リレーチョウフク』	週間スケジュールの設定時に、設定している曜日の前後の曜日とリレーのステップが重複しているときに表示されます。	リレーが重複しないように、パターンを修正してください。	81
『* トウロクパターンナシ』	機能ボタンにパターンを設定するとき、どのパターンにもステップが入力されていない場合に表示されます。	パターンにステップを入力してください。	74
『* ファイルエラー』	操作メニューの設定時やプレイリスト再生時に、メモリーカードに該当のデータが保存されていなかったりファイルが破損していると表示されます。	メモリーカードに該当のデータが保存されているか確認してください。 メモリーカードを正しく挿入してください	—
『*CF ホゾンエラー』	録音時に、データをメモリーカードに保存できなかったときに表示します。	メモリーカードに異常がある可能性があります。	—
	指定品以外のメモリーカードを使用していませんか。	指定のメモリーカードを使用してください。	3

エラー表示	原因	処置	参照ページ
『* プレイリストヲサクセイシテクダサイ』	設定および編集時、ファイルが登録されていないプレイリストを選択したときに表示されます。	ファイルが登録されているプレイリストを選択してください。	102 46
『* ステップスウガサイダイデス』	プレイリスト作成時、1 つのプレイリストに登録するメッセージが 100 個を超える場合に表示されます。	別のプレイリストを作成してください。	46 102
	パターン作成時に、1 つのパターンに 999 ステップを超える場合に表示されます。 パターン作成時に、すべてのパターンに設定されているステップ数が4000ステップを超える場合に表示されます。	使用しないステップを削除してから、ステップを追加してください。	77 83
『* アキプレイリストナシ』	プレイリストのコピー時、すでに 499 個のプレイリストを作成済みで空きがありません。	不要なプレイリストを削除してください。	60 114
『* アキヨウリョウガタリマセン』	ファイル編集の処理中にメモリーカードの空き容量が無くなりました。 ファイル編集を行うには、選択したファイルと同程度の空き容量が必要です。	不要なファイルを削除してください。	―
『* ロクオンファイルナシ』	プレイリスト設定や、ファイル編集中に、録音されていないファイル番号を選択していませんか。	ファイル番号を確認してください。	―
		録音済みのファイル番号を選択してください。	―
『* コノファイルハヘンカンデキマセン』	フォーマット変換の設定で、変換元のファイルを「ロング - モノラル」形式のファイルを選択していませんか。	「ロング - モノラル」形式のファイルは他のフォーマットに変換できません。 フォーマットを統一する必要がある場合は、他のファイルのフォーマットを変換してください。	43
『* ファイルガスデニアリマス』	ファイル編集のファイルコピーで、録音済みのファイル番号をコピー先に選択していませんか。	空いているファイル番号を選択してください。	100
『* ファイルエラー』	『ファイルサイセイ』メニューで録音していないファイル番号を選択していませんか。	録音済みのファイル番号を選択してください。	62

保証とアフターサービスについて

証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	:デジタルミュージックマシン
品番	:PA-DA600
お買い上げ日	:
故障の状況	:故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

消耗部品について

下記は消耗部品です。消耗部品の交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	:バッテリー(ビクター品番:QAB0060-002)

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

●タイマー部

時計精度	:月差± 5 秒(+25 ℃)
基準発振	:水晶発振
停電補償	:時計;30 日以上(0 ℃～ +40 ℃)
時刻表示	:西暦年、月、日、曜日、時(24 時)、分、秒
総ステップ数	:4000 ステップ
パターン数	:99 パターン :(1パターンあたり最大999ステップ)
スケジュール	:週間 / 年間スケジュール設定可能

● CM カード部

サンプリング 周波数(Fs)	:44.1 kHz, 22.05 kHz
信号処理方式	:16 Bit リニア PCM、8 Bit μ-law
チャンネル数	:ステレオ(Fs=22.05 kHz のみ)、 モノラル
最大記録時間 (512 MB カード 使用時)	:約 1 時間 30 分 (ハイ - スタンダード - モノラル) 約 6 時間(ロング - モノラル)
最大録音ファイル数	:999
最大プレイリスト数	:499(1プレイリストあたり最大100 ファイル登録可能)
メモリーカード	:デジタルメモリーカード(別売) 品番:QAM0961-001 (128 MB) QAM0961-002 (512 MB)

● BGM カード部

サンプリング 周波数(Fs)	:44.1 kHz
再生可能 フォーマット	:WMA フォーマットに準拠(本機のみ で再生可のプロテクトあり) スタンダード - ステレオ:128 kbps ロング - ステレオ : 64 kbps ロング - モノラル : 32 kbps
記録時間 (512 MB カード 使用時)	:スタンダード-ステレオ 約7時間30分 ロング - ステレオ 約 15 時間 ロング - モノラル 約 30 時間
最大録音ファイル数	:999
最大プレイリスト数	:499(1プレイリストあたり最大100 ファイル登録可能)
メモリーカード	:デジタルメモリーカード(別売) 品番:QAM0961-001 (128 MB) QAM0961-002 (512 MB)

●音声出力部

ライン出力

端子	:RCA ピンジャック L/R(モノラル使用時は L に接続)
出力 インピーダンス	:500 Ω 不平衡(適合負荷 10 kΩ 以上)
出力レベル	:基準 − 10 dBs 最大 8.2 dBs(メインボリューム最大)
周波数特性	:20 Hz ～ 20 kHz ± 2 dB

ヘッドホン出力

端子	:ϕ3.5 複式ミニジャック
出力レベル	:3 mW + 3 mW / 32 Ω (適合負荷 8 Ω ～ 1 kΩ)

モニタースピーカー :100 mW

●音声入力部

外部入力

端子	:RCA ピンジャック、 L/R(モノラル使用時は、L に接続)
入力レベル / インピーダンス	:− 10 dBs/5 kΩ 不平衡

録音入力

端子	:ϕ3.5 複式ミニジャック、 ステレオ入力時 L/R ミックス
入力レベル / インピーダンス	:マイク時;− 54 dBs / 10 kΩ 不平衡 ライン時;− 10 dBs / 10 kΩ 不平衡

●制御入出力部

時計校正入力	:30 秒式親時計± 24 V、ネジ式端子
	音声入力(10 kΩ、− 10 dBs)、 ネジ式端子
制御入力(× 6)	:無電圧メーク接点およびオープンコ レクタ出力に適合、ネジ式端子
制御出力	:CM電源制御出力、BGM電源制御出力、 制御出力、CM 連動出力、 BGM 連動出力; リレー接点(DC 30 V, 1 A, ネジ式端子)
通信ポート	:USB B タイプ(前面) RS-232C, D-SUB 9ピンオス(背面)

●操作部

表示	:LCD 表示; 20 文字× 2 行(バックライト付き) 電源表示;LED × 1 CM 再生動作表示;LED × 1 BGM 再生動作表示;LED × 1 録音レベル表示;LED × 4
操作スイッチ	:電源ボタン 選択上、下、右、左ボタン、 機能 1,2,3,4 ボタン、 メニューボタン、 決定/ 実行ボタン 戻る/ 停止ボタン

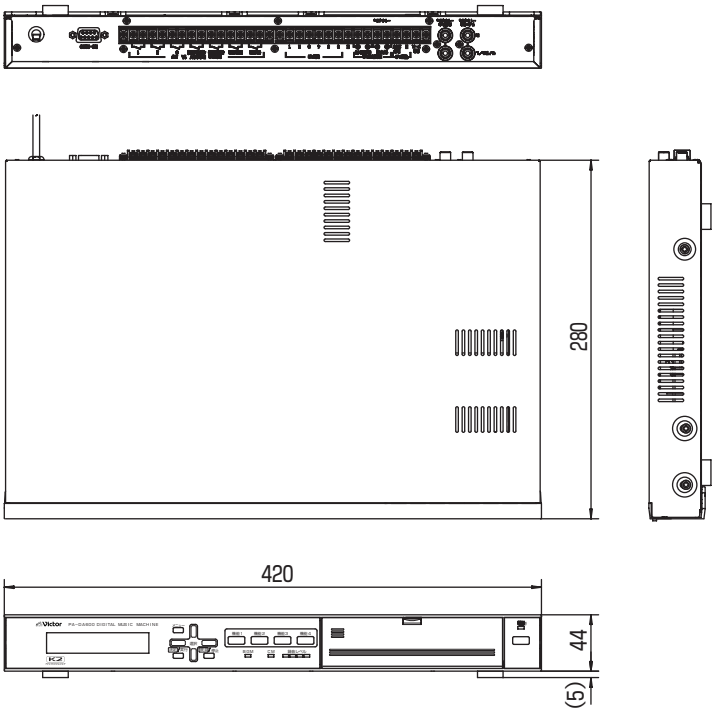
仕様(つづき)

●総合部

電源	:AC 100 V 50 Hz/60 Hz、DC 24 V
消費電力	:13 W
使用温度範囲	:0 ℃～ 40 ℃
質量	:約 3.4 kg
寸法	:420 mm × 44 mm × 280 mm (幅×高さ×奥行き)、(突起部含まず)
仕上げ	
フロントパネル	:ライトグレーABS 樹脂(マンセル 3Y6/0.6 近似、日塗工 CN-65(2005 年) 近似)
トップカバー	:ライトグレー塗装鋼板(マンセル 3Y6/0.6 近似、日塗工 CN-65(2005 年) 近似)
適合ラックマウント金具	:ラックマウント金具 PA-U11(EIA 1U)

●付属品・添付物 取扱説明書(本書)× 1
保証書× 1
安全上のご注意× 1
ビクターサービス窓口案内× 1

■外形寸法図(単位:mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<コピーしてお使いください>

■プレイリスト設定シート

プレイリスト番号				
プレイリスト名				
メッセージ番号 または ミュージック番号	ファイル番号	音量	ブランク時間	内　容

<コピーしてお使いください>

■パターン(1 日のスケジュール)チャート

パターン番号:　　パターン名:

ステップ番号	開始時間	終了時間	プレイリスト名	回数	インターバル	シャッフル	リレー(制御出力)番号	備考
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	
							1 2 3 4 5	

<コピーしてお使いください>

■週間スケジュールチャート

曜日	パターン番号	パターン名	備考
月曜日(Mon)			
火曜日(Tue)			
水曜日(Wed)			
木曜日(Thu)			
金曜日(Fri)			
土曜日(Sat)			
日曜日(Sun)			

■年間スケジュールチャート

年

日にち	パターン番号	パターン名	備考
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			
月　日			

PA－DA600　デジタルミュージックマシン

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7203

© 2007 Victor Company of Japan, Limited

LST0478-001A